

美濃加茂市
介護に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和5年3月
美濃加茂市

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の設計と回収状況.....	1
3 報告書の見方.....	1
II 調査の結果.....	2
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	2
(1) 調査対象者について.....	2
(2) 家族や生活状況等について.....	4
(3) からだを動かすことについて.....	7
(4) 食べることについて.....	12
(5) 毎日の生活について.....	15
(6) 地域での活動について.....	18
(7) たすけあいについて.....	20
(8) 健康について.....	27
(9) 認知症について.....	32
(10) 在宅医療・終末期医療について.....	36
(11) 介護保険について.....	40
(12) 高齢者施策について.....	46
(13) 災害に対する備えについて.....	52
2 生活機能評価等に関する分析.....	57
(1) 機能別リスク該当者割合の分析.....	57
(2) 日常生活.....	64
(3) 社会参加.....	65
3 在宅介護実態調査.....	67
(1) 調査対象者について.....	67
(2) 主な介護者について.....	90
4 高齢者実態調査（ケアマネジャー及び長寿支援センター調査）.....	104
(1) 自身と所属する事業所について.....	104
(2) ケアプランについて.....	107
(3) 業務について.....	115
(4) 困難事例について.....	117
(5) ケアマネジメントの質の向上について.....	120
(6) 介護保険・高齢者施策について.....	122

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和5年度の「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」の策定に向けて、本市の高齢者等支援施策の検討の基礎資料とするために実施しました。

2 調査の設計と回収状況

調査の設計と回収状況は、下表に示すとおりです。

	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査	高齢者実態調査 (ケアマネジャー及び長寿支援センター調査)
調査地域	美濃加茂市内		
調査対象	美濃加茂市在住の要介護認定を受けていない65歳以上の方	美濃加茂市在住の要介護認定を受け在宅で生活されている方及びそのご家族	ケアマネジャー及び長寿支援センターの方
調査方法	郵送配布、郵送回収・Web回収		
調査期間	令和5年1月13日～2月6日		
標本サイズ	2,400件	1,300件	50件
有効回収数※	1,441(84)件	578(79)件	39(12)件
有効回収率	60.0%	44.5%	78.0%

※()内は、うちWeb回収数。

3 報告書の見方

- 1) 比率を求める際の基数となるべき実数は、「件数(n)」として掲載しました。したがって比率は件数を100%として算出しています。
- 2) 比率はすべて%で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、比率の合計が100.0%にならないことがあります。
- 3) 複数回答が可能な設問の場合は、その項目を選んだ人が回答者全体のうち何%なのかという見方をします。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超えています。
- 4) 本報告書中の表、グラフ及び本文における回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に一部を省略して掲載している場合があります。
- 5) クロス集計表内の数値の単位は、「件数」の列(件数)以外は「%」です。また、各行において最も高い割合を網掛けで示しています。

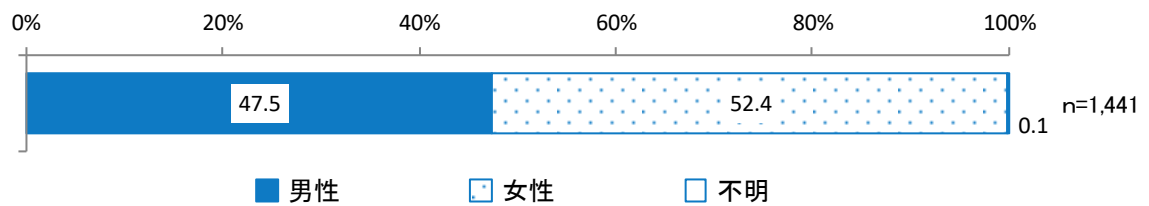
Ⅱ 調査の結果

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

(1) 調査対象者について

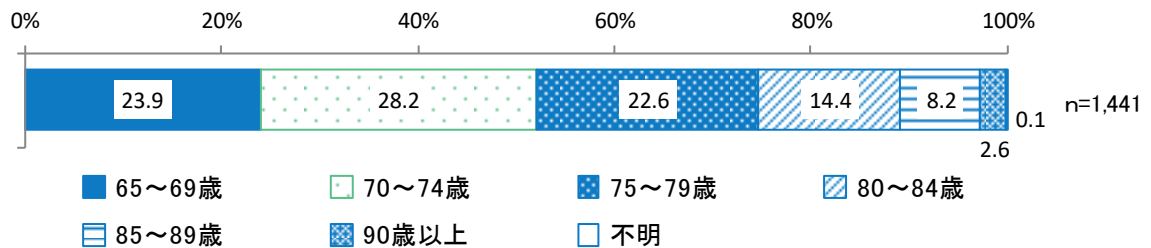
調査対象者の性別（被保険者データより）

「男性」が47.5%、「女性」が52.4%となっています。



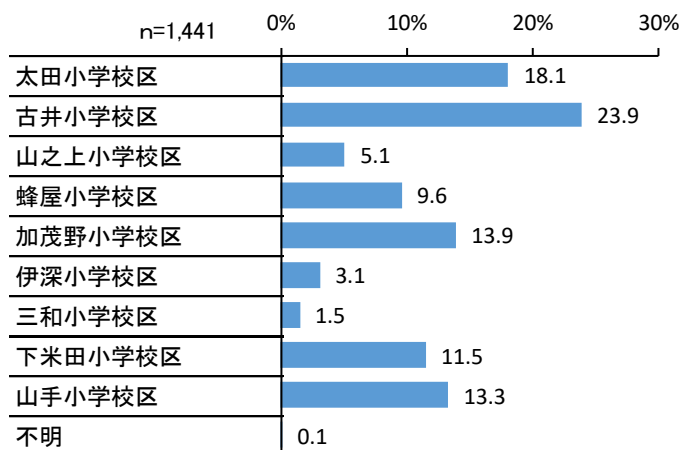
調査対象者の年齢（被保険者データより）

「70～74 歳」（28.2%）が最も高く、次いで「65～69 歳」（23.9%）、「75～79 歳」（22.6%）となっています。



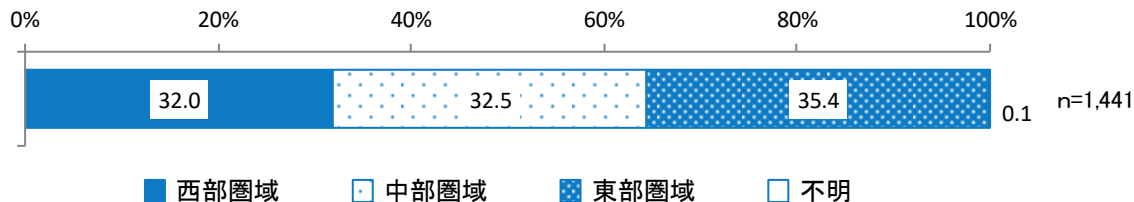
調査対象者の居住地区（小学校区）（被保険者データより）

「古井小学校区」(23.9%)が最も高く、「三和小学校区」(1.5%)が最も低くなっています。



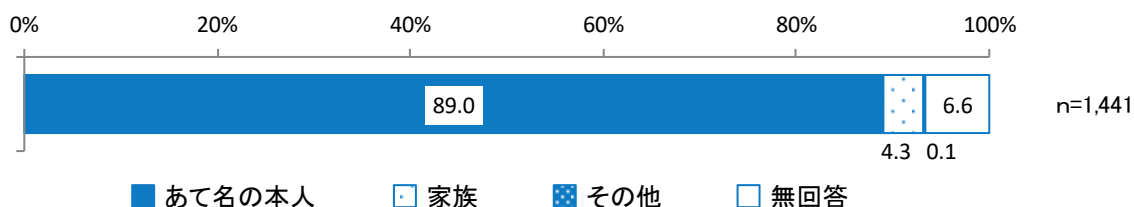
調査対象者の日常生活圏域（長寿支援センター管轄）（被保険者データより）

「西部圏域」が32.0%、「中部圏域」が32.5%、「東部圏域」が35.4%となっています。



調査票に記入されるのはどなたですか。○をつけてください。

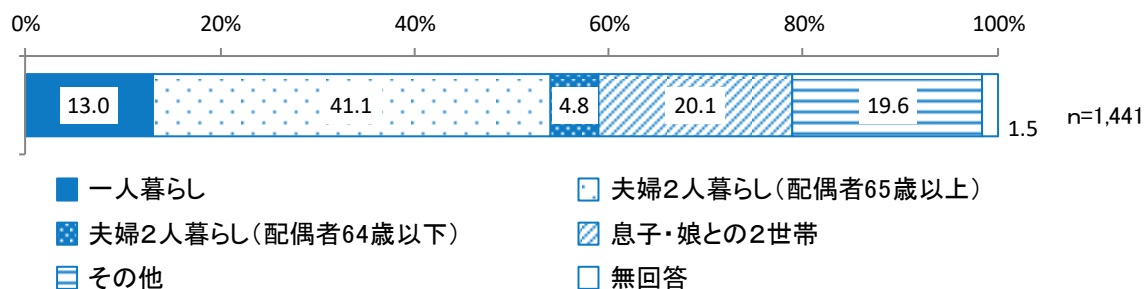
「あて名の本人」が89.0%、「家族」が4.3%となっています。



(2) 家族や生活状況等について

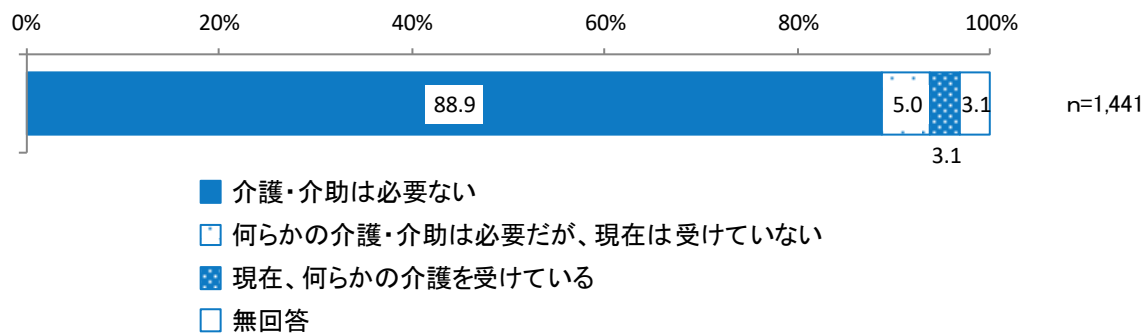
問1 家族構成をお教えてください。(1つを選択)

「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」(41.1%) が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」(20.1%)、「その他」(19.6%)、「一人暮らし」(13.0%) となっています。



問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つを選択)

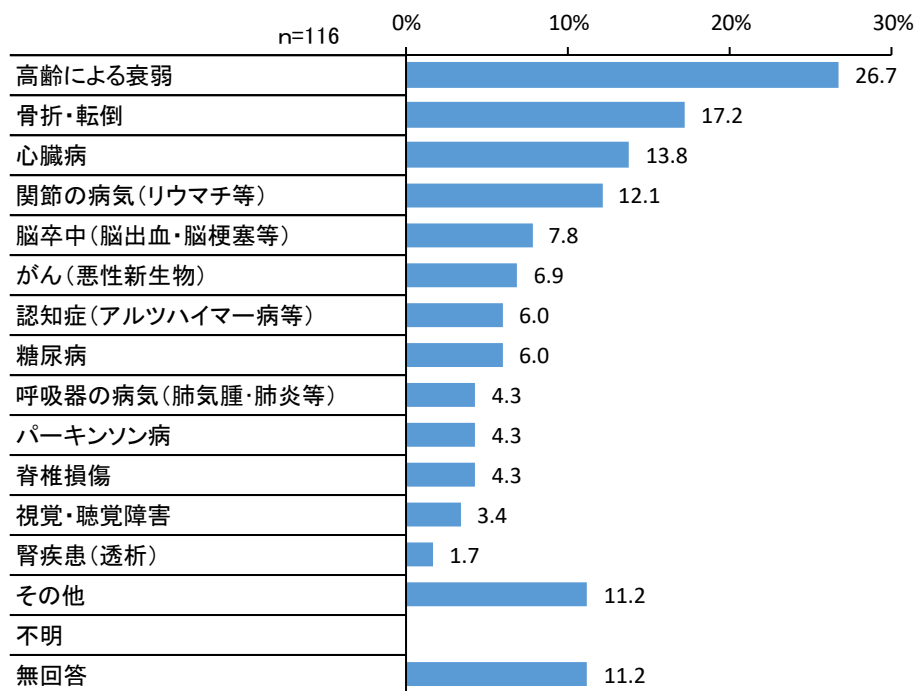
「介護・介助は必要ない」(88.9%) が最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(5.0%)、「現在、何らかの介護を受けている」(3.1%) となっています。



問2で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方におうかがいします。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（いくつでも）

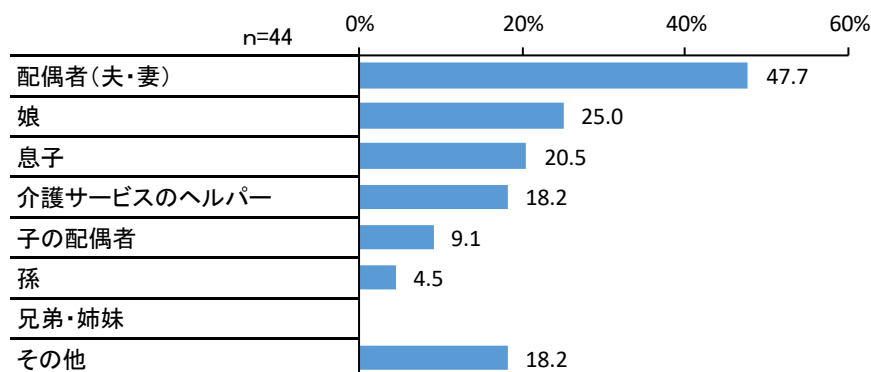
「高齢による衰弱」(26.7%) が最も高く、次いで「骨折・転倒」(17.2%)、「心臓病」(13.8%)、「関節の病気(リウマチ等)」(12.1%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(7.8%)となっています。



問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におうかがいします。

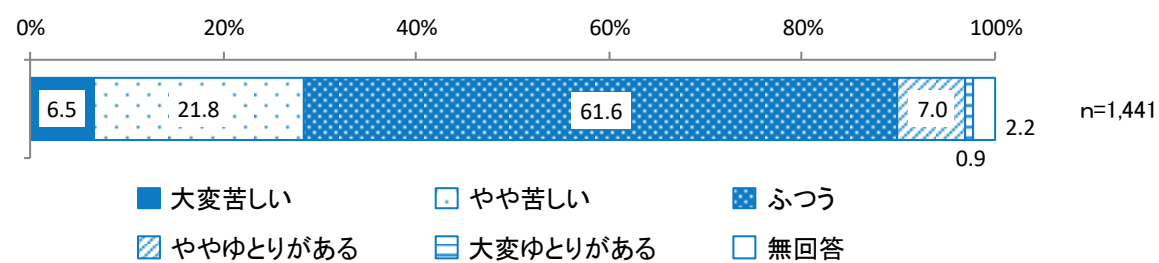
問2-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。（いくつでも）

「配偶者(夫・妻)」(47.7%) が最も高く、次いで「娘」(25.0%)、「息子」(20.5%)、「介護サービスのヘルパー」(18.2%)となっています。



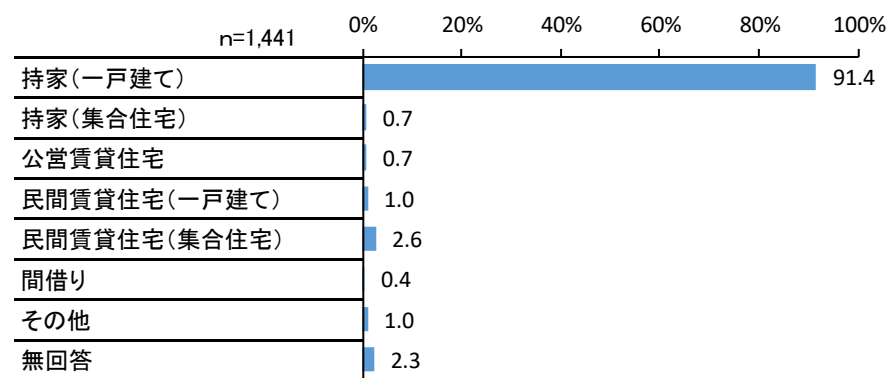
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つを選択)

「ふつう」(61.6%) が最も高く、『苦しい』(「大変苦しい」「やや苦しい」の計) は 28.3%、
『ゆとりがある』(「大変ゆとりがある」「ややゆとりがある」の計) は 7.9%となっています。



問4 お住まいは次のうちどちらですか。(1つを選択)

「持家（一戸建て）」(91.4%) が最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」(2.6%) となっています。



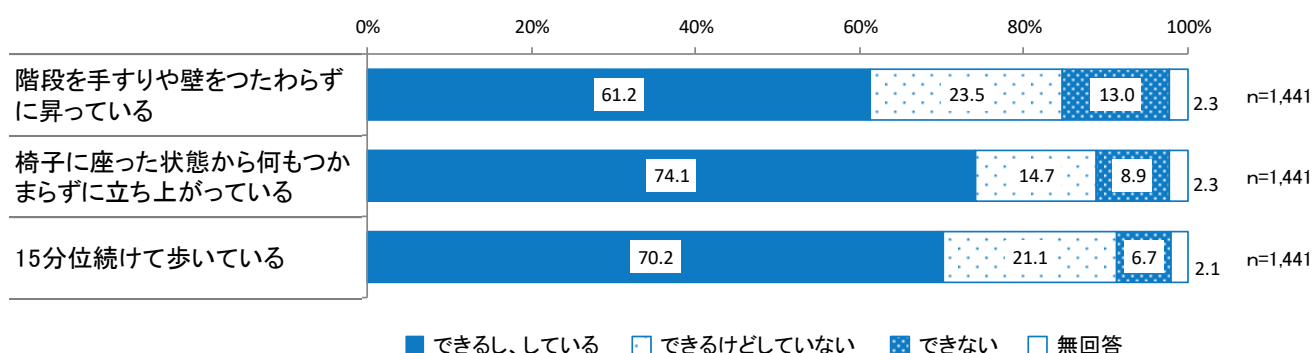
(3) からだを動かすことについて

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つを選択)

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つを選択)

問7 15分位続けて歩いていますか。(1つを選択)

「できない」は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」で13.0%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」で8.9%、「15分位続けて歩いている」で6.7%となっています。



地域活動への参加状況(問41)別でみると、参加している人の方が「できるし、している」の割合が高くなっています。

問5 階段や手すりや壁をつたわずに昇っている

	件数	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,441	61.2	23.5	13.0	2.3
参加している	1,150	66.0	22.7	9.3	2.0
参加していない	252	43.3	26.6	27.8	2.4

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている

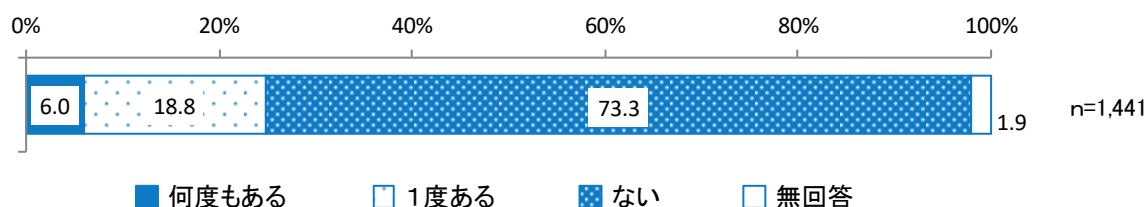
	件数	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,441	74.1	14.7	8.9	2.3
参加している	1,150	77.7	13.9	6.3	2.1
参加していない	252	62.7	16.3	19.8	1.2

問7 15分位続けて歩いている

	件数	できるし、している	できるけどしていない	できない	無回答
全 体	1,441	70.2	21.1	6.7	2.1
参加している	1,150	73.0	20.3	4.5	2.1
参加していない	252	59.1	25.0	15.1	0.8

問8 過去1年間に転倒した経験がありますか。(1つを選択)

「ない」(73.3%)が最も高く、『ある』(「何度もある」「1度ある」の計)は24.8%となっています。

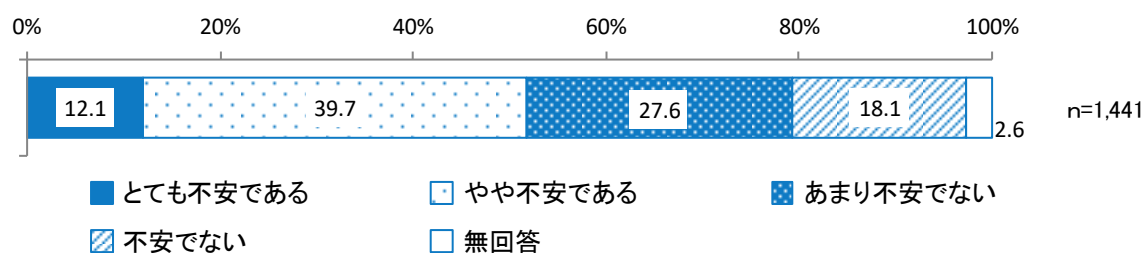


地域活動への参加状況別でみると、参加している人の方が「ない」の割合が高くなっています。

	件数	何度もある	1度ある	ない	無回答
全 体	1,441	6.0	18.8	73.3	1.9
参加している	1,150	4.8	18.0	75.5	1.7
参加していない	252	11.1	19.8	67.9	1.2

問9 転倒に対する不安は大きいですか。(1つを選択)

「やや不安である」(39.7%)が最も高く、『不安である』(「とても不安である」「やや不安である」の計)は51.8%となっています。

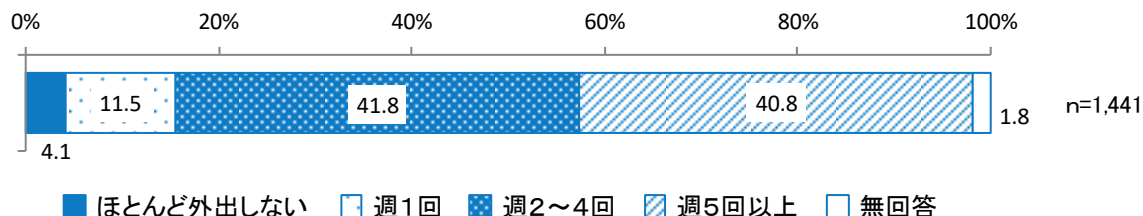


地域活動への参加状況別でみると、参加している人の方が『不安である』の割合が低くなっています。

	件数	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
全 体	1,441	12.1	39.7	27.6	18.1	2.6
参加している	1,150	9.2	39.1	29.9	19.4	2.3
参加していない	252	24.6	39.7	19.0	14.3	2.4

問10 週に1回以上は外出していますか。(1つを選択)

「週2～4回」(41.8%)が最も高く、『週1回以下』(「ほとんど外出しない」「週1回」の計)は15.6%となっています。

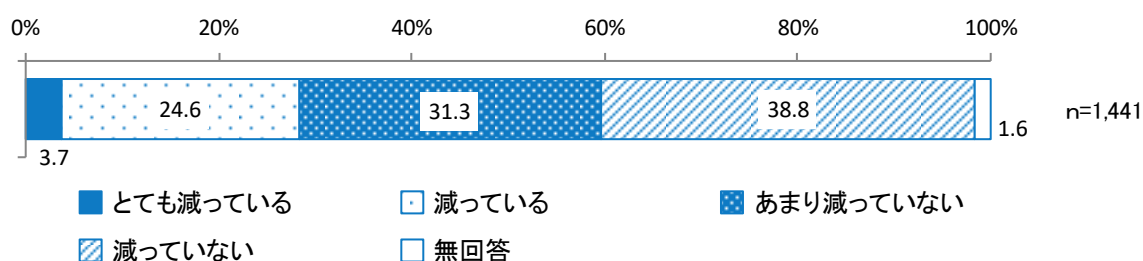


地域活動への参加状況別でみると、参加している人の方が「週5回以上」の割合が高くなっています。

	件数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体	1,441	4.1	11.5	41.8	40.8	1.8
参加している	1,150	2.1	8.4	42.9	45.0	1.6
参加していない	252	13.1	24.2	38.1	23.0	1.6

問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つを選択)

「減っていない」(38.8%)が最も高く、『減っている』(「とても減っている」「減っている」の計)は28.3%となっています。

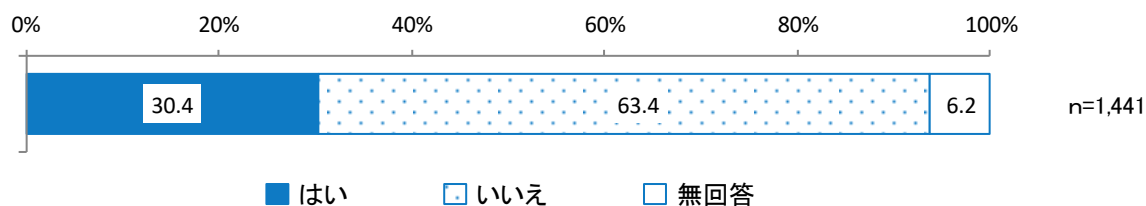


地域活動への参加状況別でみると、参加している人の方が『減っている』の割合が低くなっています。

	件数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体	1,441	3.7	24.6	31.3	38.8	1.6
参加している	1,150	2.1	22.2	31.0	43.1	1.7
参加していない	252	10.7	32.1	34.5	22.2	0.4

問 12 外出を控えていますか。(1つを選択)

「はい」が30.4%、「いいえ」が63.4%となっています。



地域活動への参加状況別でみると、参加していない人では「はい」が「いいえ」を上回っています。

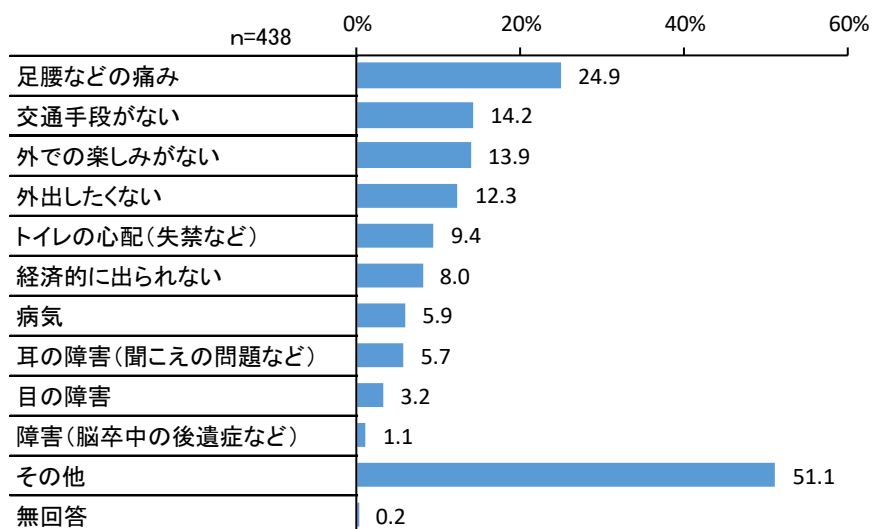
	件数	はい	いいえ	無回答
全 体	1,441	30.4	63.4	6.2
参加している	1,150	25.5	68.5	6.0
参加していない	252	50.4	44.0	5.6

問 12 で「1. はい」と回答した方におうかがいします。

問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

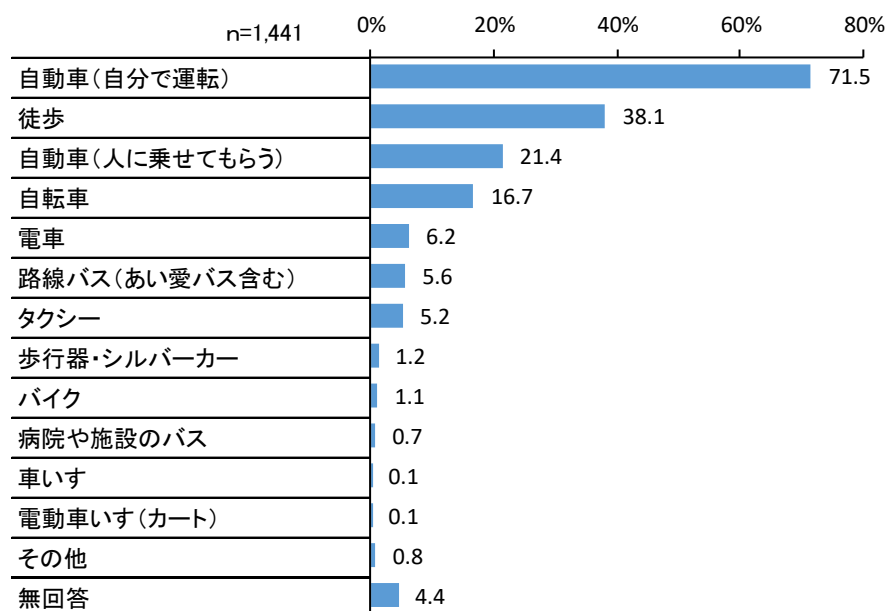
「その他」(51.1%)が最も高く、次いで「足腰などの痛み」(24.9%)、「交通手段がない」(14.2%)、「外での楽しみがない」(13.9%)、「外出したくない」(12.3%)となっています。

「その他」の内訳は、“新型コロナウイルス感染の心配”が多くなっています。



問 13 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

「自動車（自分で運転）」(71.5%) が最も高く、次いで「徒歩」(38.1%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(21.4%)、「自転車」(16.7%) となっています。



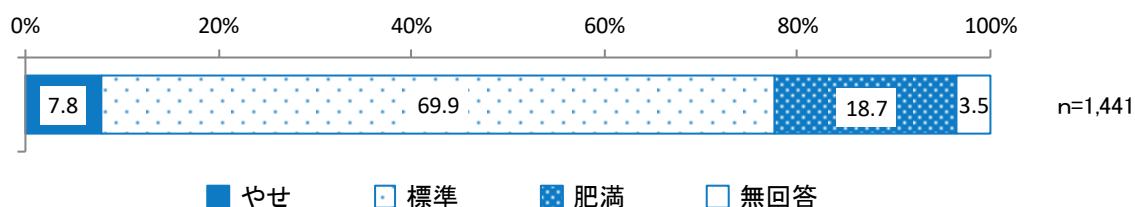
地域活動への参加状況別でみると、参加していない人では「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」の割合が高くなっています。

	件数	自動車（自分で運転）	徒歩	自動車（人に乗せてもらう）	自転車	電車	路線バス（あい愛バス含む）	タクシー	歩行器・シルバーカー	バイク	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	その他	無回答
全 体	1,441	71.5	38.1	21.4	16.7	6.2	5.6	5.2	1.2	1.1	0.7	0.1	0.1	0.8	4.4
参加している	1,150	77.7	39.4	17.7	17.3	6.5	4.6	3.4	0.9	1.2	0.4	-	-	0.3	4.1
参加していない	252	49.6	34.5	34.5	15.1	5.2	8.7	11.9	2.0	0.4	1.6	0.4	0.8	2.4	4.4

(4) 食べることについて

問 14 身長・体重をご記入ください。

身長と体重からBMIを算出してその判定をみると、「やせ」が7.8%、「肥満」が18.7%、「標準」が69.9%となっています。



性別でみると、男性では「肥満」が女性より高くなっています。
地域活動への参加状況別でみると、大きな差はみられませんでした。

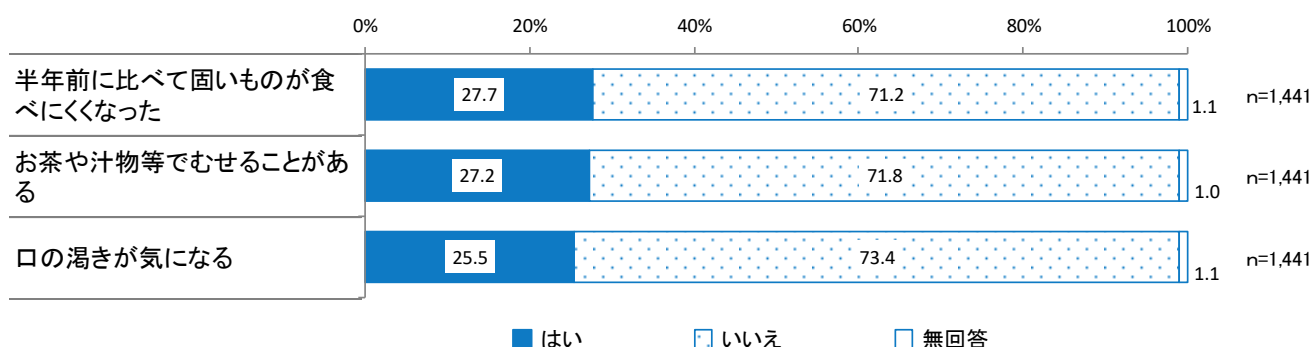
	件数	やせ	標準	肥満	無回答
全 体	1,441	7.8	69.9	18.7	3.5
性 別					
男性	685	6.1	68.9	22.0	2.9
女性	755	9.4	70.7	15.8	4.1
活 地					
動 域					
参加している	1,150	7.2	70.8	19.7	2.3
参加していない	252	11.1	67.1	15.1	6.7

問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つを選択)

問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つを選択)

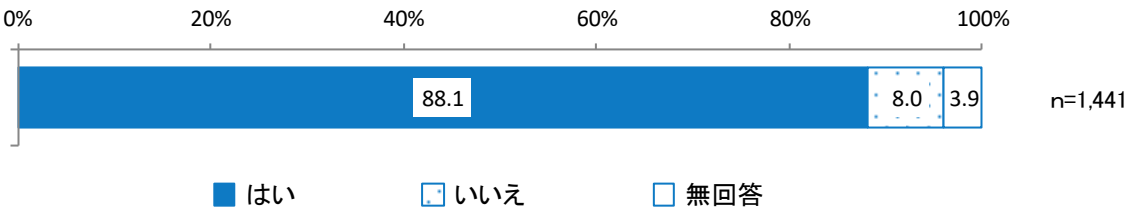
問 17 口の渇きが気になりますか。(1つを選択)

「はい」は、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」で27.7%、「お茶や汁物等でむせることがある」で27.2%、「口の渇きが気になる」で25.5%となっています。



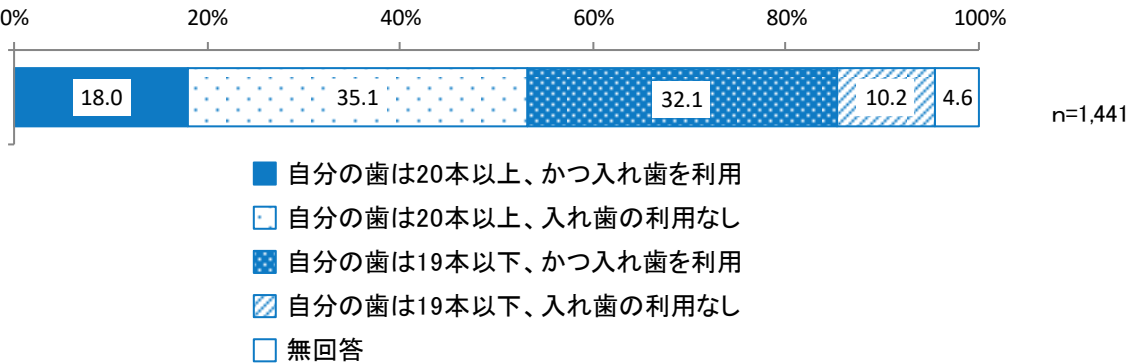
問 18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つを選択）

「はい」が88.1%、「いいえ」が8.0%となっています。



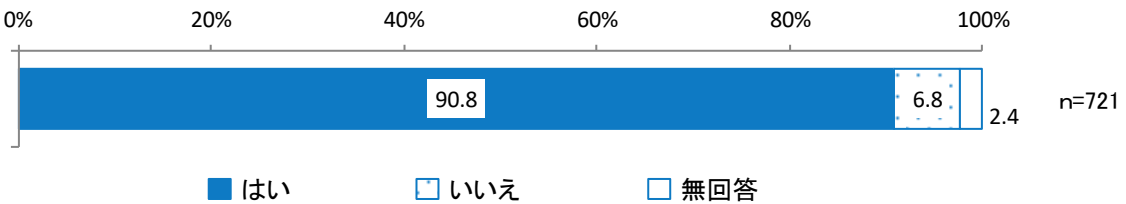
問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（1つを選択）

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」（35.1%）が最も高く、『入れ歯を利用している』（「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の計）は 50.1%となっています。



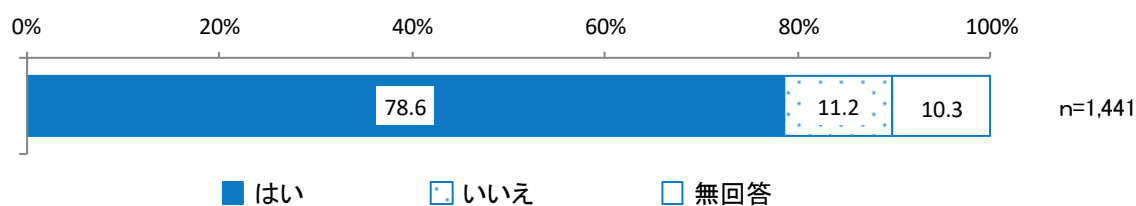
問 19 で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方におうかがいします。
問 19－1 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（1つを選択）

「はい」が90.8%、「いいえ」が6.8%となっています。



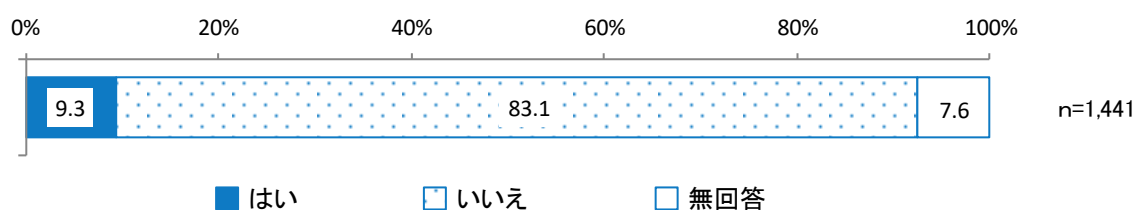
問 20 噛み合わせは良いですか。(1つを選択)

「はい」が78.6%、「いいえ」が11.2%となっています。



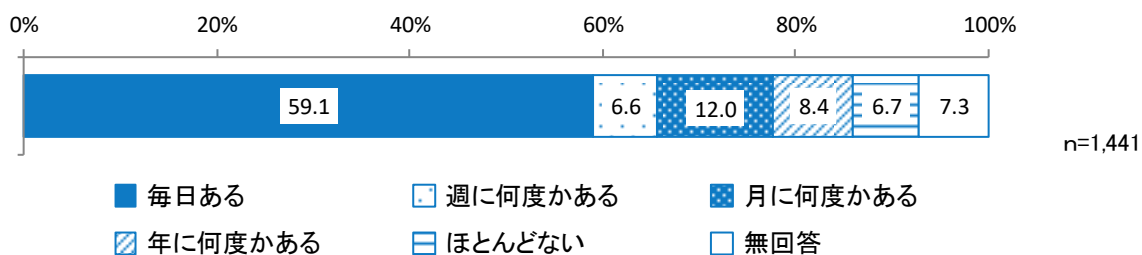
問 21 6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。(1つを選択)

「はい」が9.3%、「いいえ」が83.1%となっています。



問 22 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つを選択)

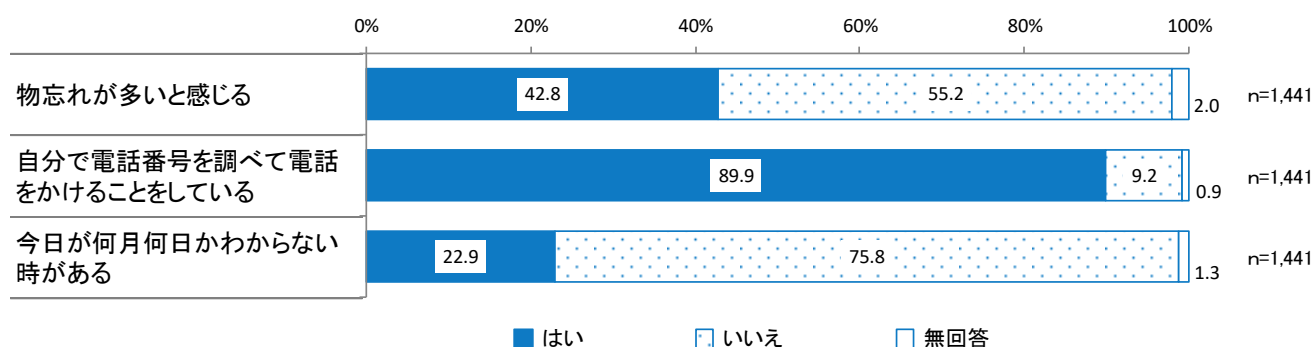
「毎日ある」(59.1%)が最も高く、次いで「月に何度かある」(12.0%)となっています。



(5) 毎日の生活について

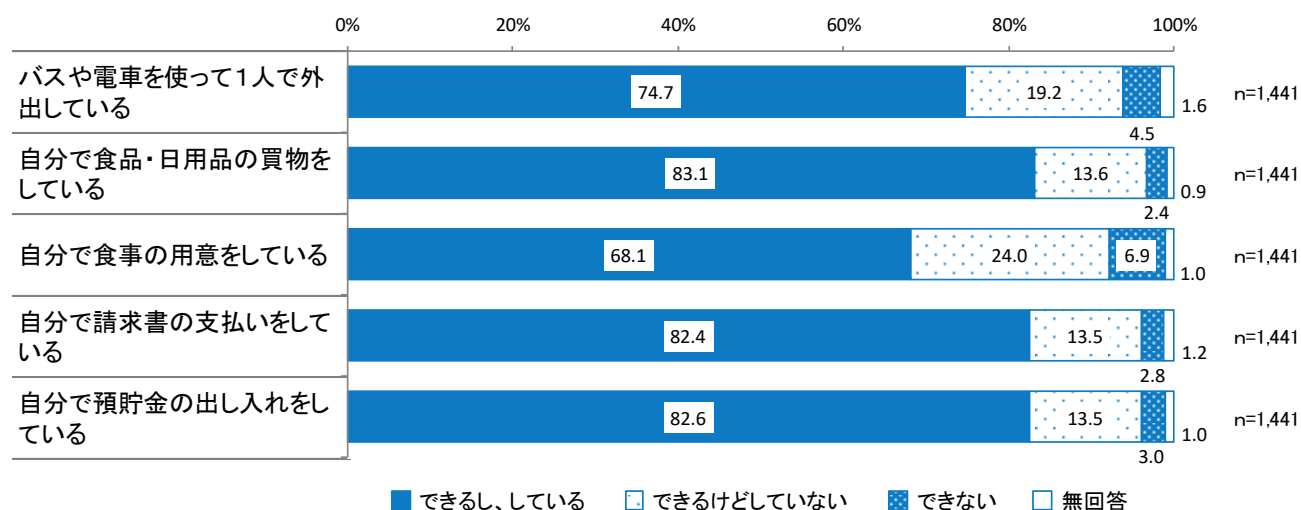
- 問 23 物忘れが多いと感じますか。(1つを選択)
 問 24 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つを選択)
 問 25 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つを選択)

「はい」は、「物忘れが多いと感じる」で42.8%、「今日が何月何日かわからない時がある」で22.9%となっています。また、「いいえ」は「自分で電話番号を調べて電話をかけることをしている」で9.2%となっています。



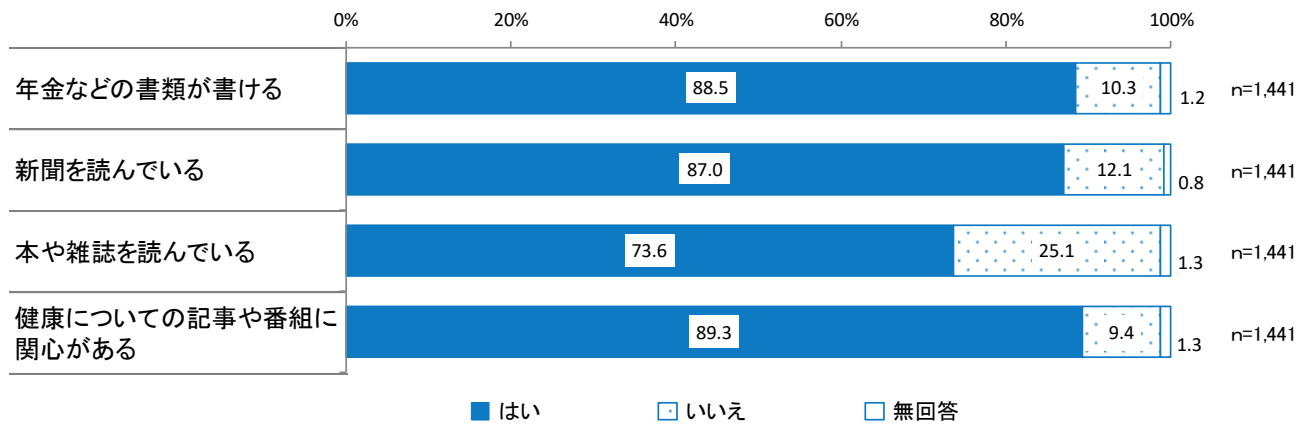
- 問 26 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (1つを選択)
 問 27 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つを選択)
 問 28 自分で食事の用意をしていますか。(1つを選択)
 問 29 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つを選択)
 問 30 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つを選択)

「できない」は、「自分で食事の用意をしている」で6.9%、「バスや電車を使って1人で外出している」で4.5%、「自分で預貯金の出し入れをしている」で3.0%、「自分で請求書の支払いをしている」で2.8%、「自分で食品・日用品の買物をしている」で2.4%となっています。



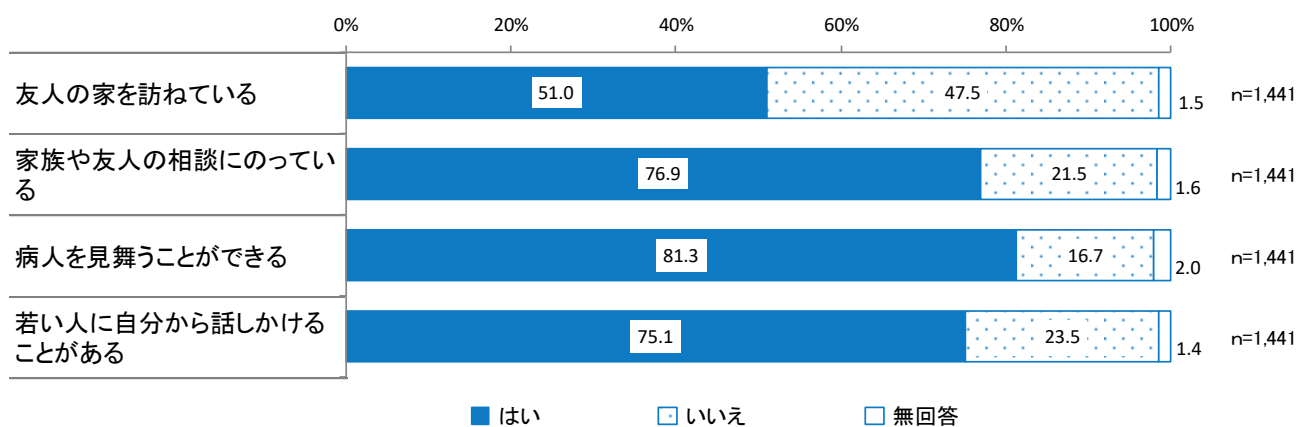
- 問 31 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）は自分で書いていますか。（1つを選択）
- 問 32 新聞を読んでいますか。（1つを選択）
- 問 33 本や雑誌を読んでいますか。（1つを選択）
- 問 34 健康についての記事や番組に関心がありますか。（1つを選択）

「いいえ」は、「本や雑誌を読んでいる」で 25.1%、「新聞を読んでいる」で 12.1%、「年金などの書類が書ける」で 10.3%、「健康についての記事や番組に関心がある」で 9.4%となっています。



- 問 35 友人の家を訪ねていますか。（1つを選択）
- 問 36 家族や友人の相談にのっていますか。（1つを選択）
- 問 37 病人を見舞うことができますか。（1つを選択）
- 問 38 若い人に自分から話しかけることがありますか。（1つを選択）

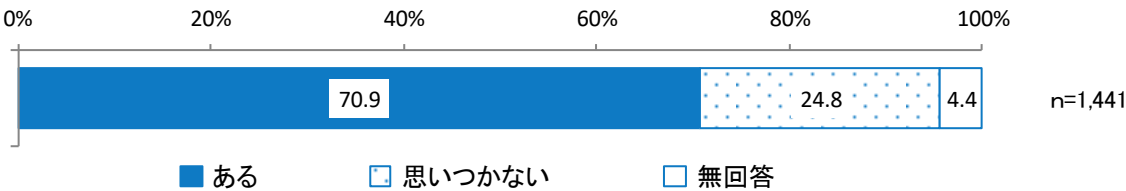
「いいえ」は、「友人の家を訪ねている」で 47.5%、「若い人に自分から話しかけることがある」で 23.5%、「家族や友人の相談にのっている」で 21.5%、「病人を見舞うことができる」で 16.7%となっています。



問 39 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。（1つを選択）

「ある」が70.9%、「思いつかない」が24.8%となっています。

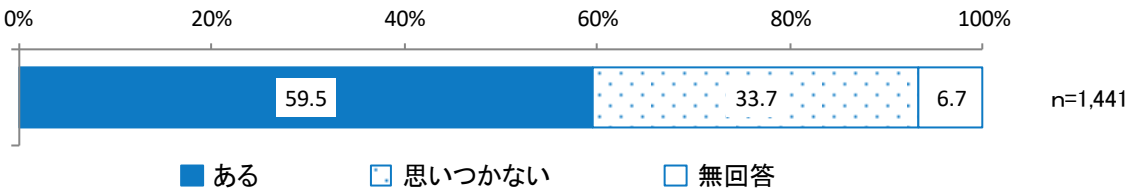
ある場合の具体的な内容は、ガーデニング・生け花・家庭菜園等、スポーツ、音楽（音楽鑑賞、カラオケ、楽器等）、読書（本、雑誌、新聞等）、手芸（編み物、和裁・洋裁、刺繍等）などとなっています。



問 40 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。（1つを選択）

「ある」が59.5%、「思いつかない」が33.7%となっています。

ある場合の具体的な内容は、趣味、孫、仕事、家族・親族、健康・元気・長生きなどとなっています。

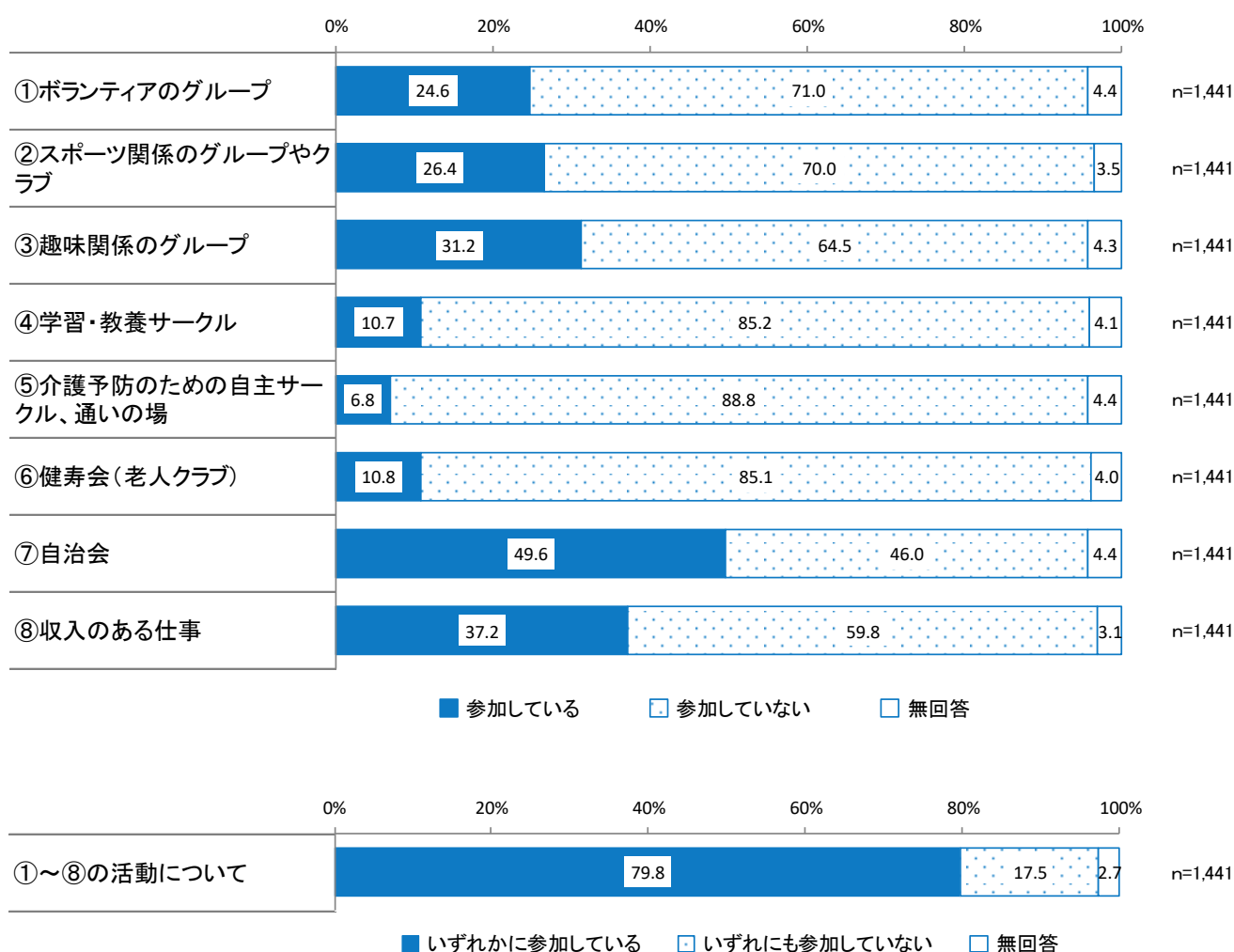


(6) 地域での活動について

問 41 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

『参加している』（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」「月1～3回」「年数回」の計）は、「自治会」（49.6%）で最も高く、次いで「収入のある仕事」（37.2%）、「趣味関係のグループ」（31.2%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（26.4%）、「ボランティアのグループ」（24.6%）となっています。一方、「参加していない」は「介護予防のための自主サークル、通いの場」（88.8%）、「学習・教養サークル」（85.2%）、「健寿会（老人クラブ）」（85.1%）で8割以上と高くなっています。

これらの活動のいずれにも参加していない人の割合は、17.5%となっています。



地区別でみると、『参加している』は山之上小学校区(87.7%)で最も高く、蜂屋小学校区(76.3%)で最も低くなっています。

家族構成別でみると、『参加している』はひとり暮らし(67.4%)で低く、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)(87.0%)で高くなっています。

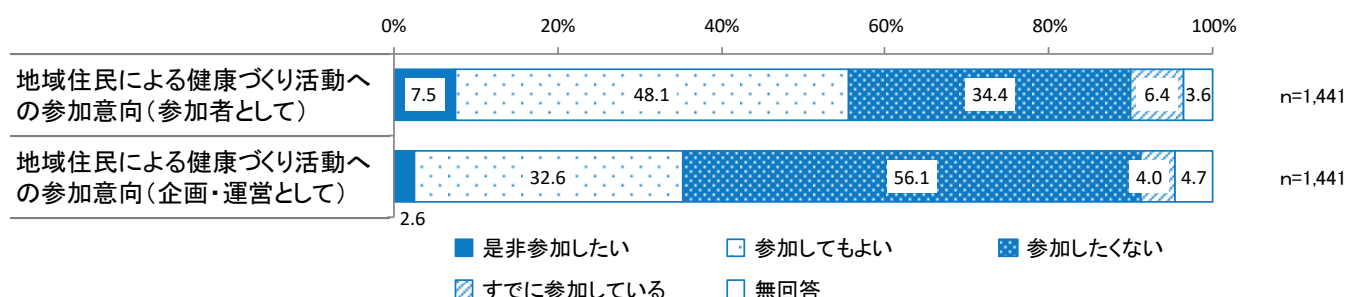
		件数	る参加している	な参加している	無回答
全 体		1,441	79.8	17.5	2.7
地 区	太田小学校区	261	79.3	19.2	1.5
	古井小学校区	344	81.1	15.4	3.5
	山之上小学校区	73	87.7	9.6	2.7
	蜂屋小学校区	139	76.3	20.1	3.6
	加茂野小学校区	200	78.0	20.0	2.0
	伊深小学校区	45	82.2	11.1	6.7
	三和小学校区	21	81.0	19.0	-
	下米田小学校区	166	81.3	16.9	1.8
	山手小学校区	191	77.5	19.4	3.1
家 族 構 成	ひとり暮らし	187	67.4	26.2	6.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	83.4	15.0	1.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	87.0	8.7	4.3
	息子・娘との2世帯	289	76.5	21.5	2.1
	その他	282	83.7	14.2	2.1

問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

問 43 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

“参加者として”では「参加してもよい」(48.1%)が最も高く、“企画・運営として”では「参加したくない」(56.1%)が最も高くなっています。

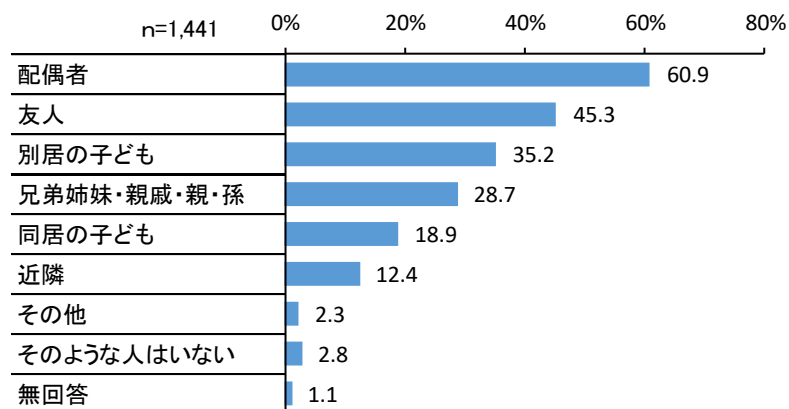
『参加意向がある』(「是非参加したい」「参加してもよい」「すでに参加している」の計)は、“参加者として”で62.0%、“企画・運営として”で39.2%となっています。



(7) たすけあいについて

問 44 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（いくつでも）

「配偶者」（60.9％）が最も高く、次いで「友人」（45.3％）、「別居の子ども」（35.2％）となっています。



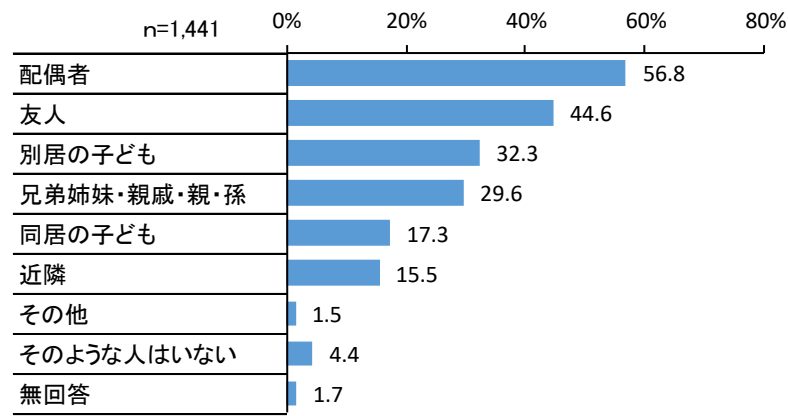
地域活動への参加別でみると、参加している人では「配偶者」「友人」、参加していない人では「同居の子ども」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「友人」（58.8％）が最も高くなっています。

		件数	配偶者	友人	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	近隣	その他	ない	そのような人はい	無回答
全 体		1,441	60.9	45.3	35.2	28.7	18.9	12.4	2.3	2.8	1.1	
活 地 動 域	参加している	1,150	64.5	47.4	35.1	28.3	17.7	12.1	2.2	2.2	0.9	
	参加していない	252	47.6	37.7	36.1	28.2	23.4	13.1	2.8	5.2	1.2	
家 族 構 成	ひとり暮らし	187	2.7	58.8	48.1	34.2	1.1	16.6	4.3	8.0	1.1	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	82.6	42.2	42.7	26.7	2.7	13.0	1.7	1.9	1.9	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	82.6	33.3	30.4	29.0	5.8	4.3	4.3	1.4	1.4	
	息子・娘との2世帯	289	56.7	45.7	25.6	27.7	50.5	14.9	1.4	1.7	－	
	その他	282	53.2	46.5	22.7	30.5	35.8	8.2	2.8	2.1	0.7	

問 45 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（いくつでも）

「配偶者」（56.8％）が最も高く、次いで「友人」（44.6％）、「別居の子ども」（32.3％）となっています。



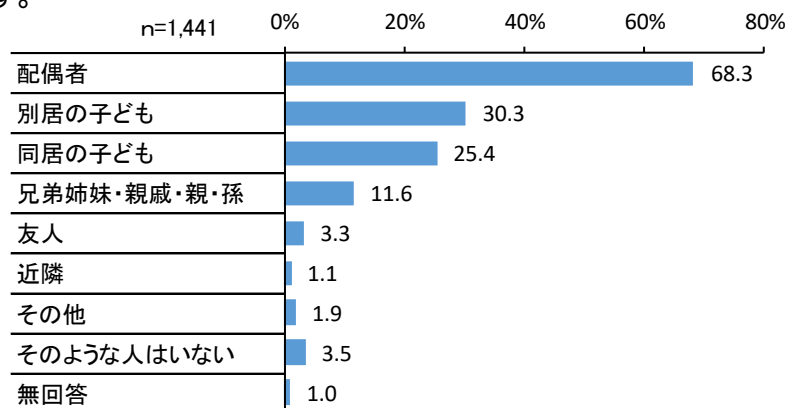
地域活動への参加別でみると、参加している人では「配偶者」「友人」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「友人」（58.8％）が最も高くなっています。

		件数	配偶者	友人	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのようない人は	無回答
全 体		1,441	56.8	44.6	32.3	29.6	17.3	15.5	1.5	4.4	1.7
活 地 動 域	参加している	1,150	60.7	46.8	33.8	29.7	17.0	15.7	1.4	3.0	1.4
	参加していない	252	43.3	36.9	27.8	28.6	18.3	13.5	2.0	9.5	1.2
家 族 構 成	ひとり暮らし	187	0.5	58.8	33.2	31.0	1.1	16.0	1.6	13.9	2.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	78.4	41.9	41.7	28.7	3.5	16.6	0.7	2.4	2.5
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	85.5	29.0	29.0	26.1	8.7	7.2	4.3	－	1.4
	息子・娘との2世帯	289	51.6	43.6	26.3	33.9	45.3	18.0	1.7	4.5	0.3
	その他	282	48.6	46.5	20.2	27.3	30.1	13.1	2.1	3.2	1.1

問 46 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(いくつでも)

「配偶者」(68.3%) が最も高く、次いで「別居の子ども」(30.3%)、「同居の子ども」(25.4%)
となっています。



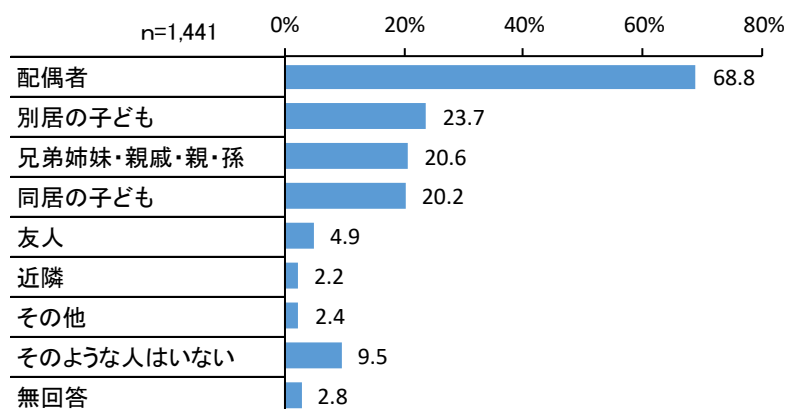
地域活動への参加別でみると、参加している人では「配偶者」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「別居の子ども」(52.9%)、息子・娘との2世帯では「同居の子ども」(67.1%) がそれぞれ最も高くなっています。

	件数	配偶者	別居の子ども	同居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	友人	近隣	その他	ない その ような 人はい	無回答
全 体	1,441	68.3	30.3	25.4	11.6	3.3	1.1	1.9	3.5	1.0
活 地 動 域	参加している	1,150	72.4	29.9	24.0	11.0	3.3	1.0	1.8	0.8
	参加していない	252	52.8	32.1	29.8	12.7	2.4	1.2	2.4	1.6
家 族 構 成	ひとり暮らし	187	2.7	52.9	1.1	25.1	10.7	3.2	4.8	19.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	92.9	36.3	4.2	7.8	2.4	1.4	0.8	0.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	94.2	21.7	7.2	7.2	1.4	—	—	1.4
	息子・娘との2世帯	289	62.6	17.3	67.1	10.7	0.7	0.7	1.7	0.3
	その他	282	60.3	19.1	47.2	12.4	3.5	—	3.2	2.8

問 47 反対に、看病や世話をしあげる人はどなたですか。(いくつでも)

「配偶者」(68.8%) が最も高く、次いで「別居の子ども」(23.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.6%) となっています。



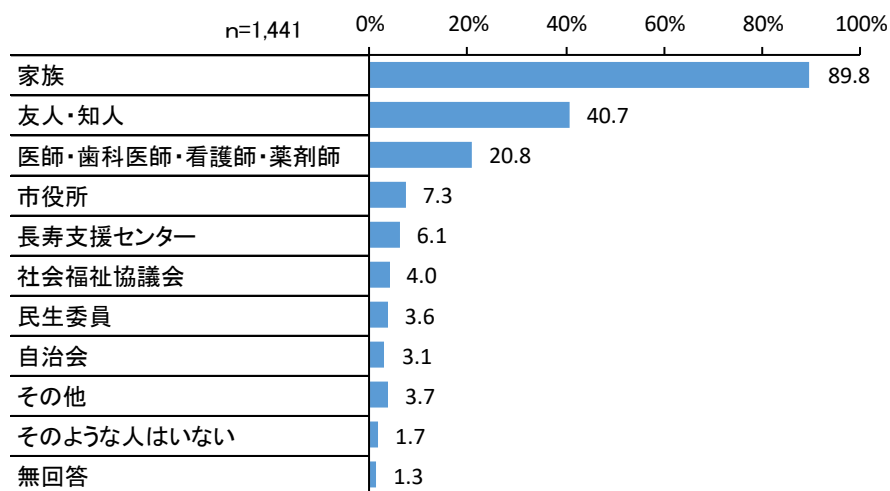
地域活動への参加別でみると、参加している人では「配偶者」「別居の子ども」、参加していない人では「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「そのような人はいない」(35.3%) が最も高くなっています。

	件数	配偶者	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	同居の子ども	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,441	68.8	23.7	20.6	20.2	4.9	2.2	2.4	9.5	2.8
活 地 動 域										
参加している	1,150	73.4	26.0	21.7	20.4	5.1	2.5	2.3	7.4	1.6
参加していない	252	52.8	15.1	14.3	19.0	3.6	0.8	2.0	18.7	6.7
家 族 構 成										
ひとり暮らし	187	2.1	33.2	25.1	0.5	14.4	4.8	4.3	35.3	4.8
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	92.9	28.2	17.2	4.2	3.4	1.9	1.0	3.0	1.9
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	88.4	24.6	20.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	2.9
息子・娘との2世帯	289	65.7	17.3	19.4	52.9	3.5	3.1	1.0	8.0	4.5
その他	282	62.1	14.9	25.9	37.2	4.3	0.7	5.7	9.9	2.1

問 48 何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

「家族」(89.8%) が最も高く、次いで「友人・知人」(40.7%)、「医師・歯科医師・看護師・薬剤師」(20.8%)、「市役所」(7.3%)、「長寿支援センター」(6.1%)となっています。

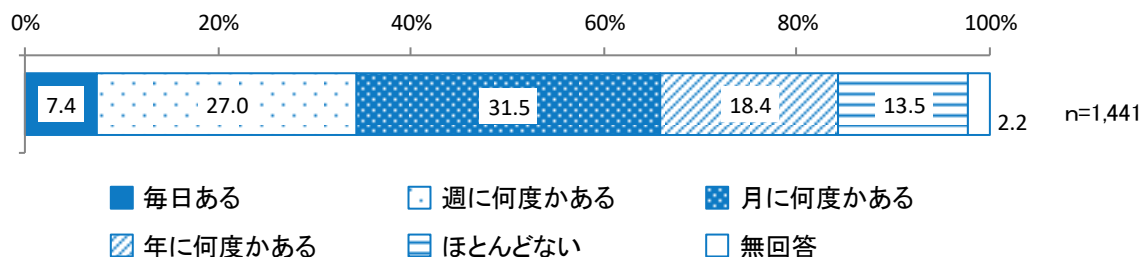


地域活動への参加別でみると、参加している人では「友人・知人」の割合が高くなっています。
家族構成別でみると、ひとり暮らしでは「友人・知人」「民生委員」がやや高くなっています。

	件数	家族	友人・知人	看護師・歯科医師・薬剤師	市役所	長寿支援センター	社会福祉協議会	民生委員	自治会	その他	ない そのような人はいない	無回答
全 体	1,441	89.8	40.7	20.8	7.3	6.1	4.0	3.6	3.1	3.7	1.7	1.3
活 地 動 域												
参加している	1,150	91.0	43.0	21.0	7.3	6.3	4.3	3.1	3.3	3.4	1.0	1.1
参加していない	252	84.5	30.6	19.8	7.5	4.4	3.2	6.0	2.0	4.8	4.4	2.4
家 族 構 成												
ひとり暮らし	187	59.4	48.1	18.2	5.3	9.6	3.7	10.7	2.7	8.6	7.5	2.1
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	94.8	38.2	22.3	7.9	6.3	4.7	2.7	3.0	3.0	0.7	1.9
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	97.1	42.0	14.5	7.2	4.3	5.8	2.9	4.3	1.4	—	—
息子・娘との2世帯	289	96.9	40.1	21.5	6.9	5.5	3.1	1.7	4.2	2.1	0.3	0.3
その他	282	91.5	42.9	19.5	7.4	4.6	2.8	3.2	2.1	4.3	1.4	0.7

問 49 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つを選択）

「月に何度かある」(31.5%) が最も高く、次いで「週に何度かある」(27.0%)、「年に何度かある」(18.4%) となっています。また、「ほとんどない」は 13.5% となっています。

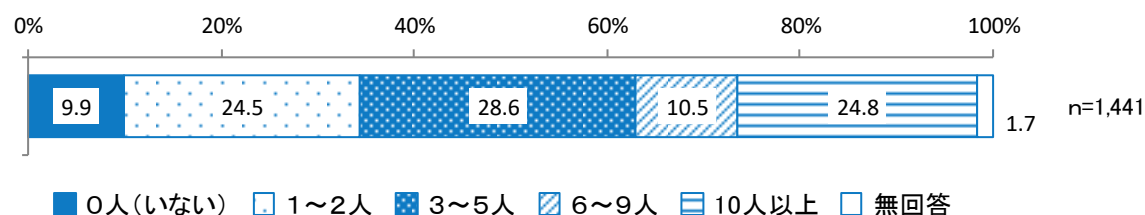


地域活動への参加別でみると、参加していない人では「ほとんどない」(32.5%) が最も高くなっています。

	件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全 体	1,441	7.4	27.0	31.5	18.4	13.5	2.2
参加している	1,150	8.3	29.4	32.1	18.8	9.4	2.0
参加していない	252	4.0	16.7	27.8	16.7	32.5	2.4

問 50 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。（1つを選択）

「3～5人」(28.6%) が最も高く、次いで「10人以上」(24.8%)、「1～2人」(24.5%) となっています。また、「0人(いない)」は 9.9% となっています。

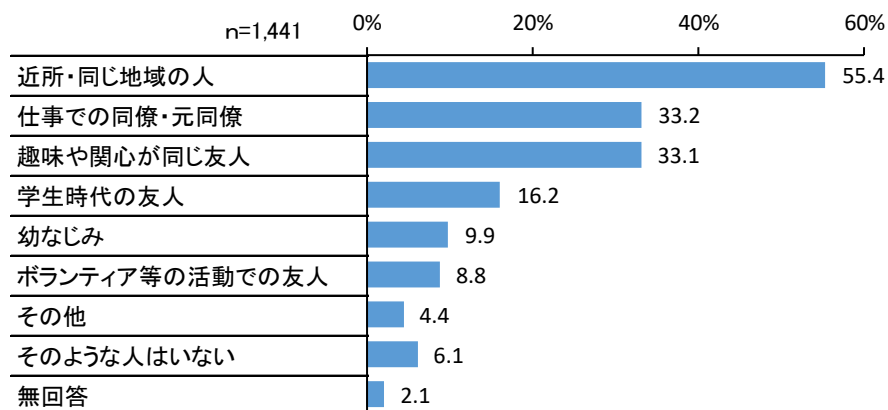


地域活動への参加別でみると、参加している人では「10人以上」(29.3%)、参加していない人では「1～2人」(31.0%) がそれぞれ最も高くなっています。

	件数	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
全 体	1,441	9.9	24.5	28.6	10.5	24.8	1.7
参加している	1,150	7.4	22.6	28.1	11.1	29.3	1.5
参加していない	252	22.2	31.0	30.6	8.3	6.3	1.6

問 51 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

「近所・同じ地域の人」(55.4%) が最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」(33.2%)、「趣味や関心が同じ友人」(33.1%) となっています。



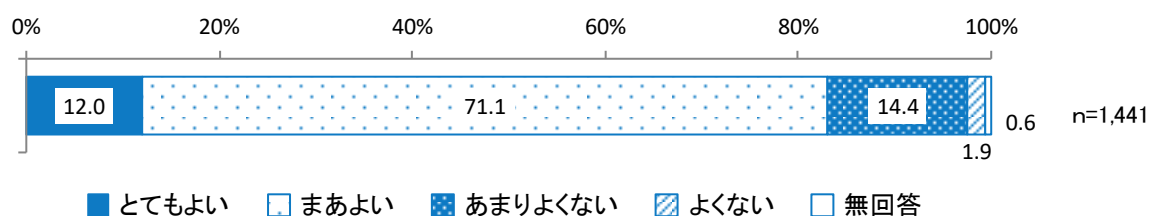
地域活動への参加別でみると、参加している人では「趣味や関心が同じ友人」「仕事での同僚・元同僚」、参加していない人では「そのような人はいない」がそれぞれ高くなっています。

	件数	近所・同じ地域の	仕事での同僚・元	友人趣味や関心が同じ	学生時代の友人	幼なじみ	ボランティア等の活動での友人	その他	そのような人はいない	無回答
全 体	1,441	55.4	33.2	33.1	16.2	9.9	8.8	4.4	6.1	2.1
参加している	1,150	55.1	35.6	38.0	15.7	10.2	10.1	4.0	4.5	1.4
参加していない	252	55.2	23.0	13.1	18.7	9.1	2.0	5.2	13.9	4.8

(8) 健康について

問 52 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

「まあよい」(71.1%) が最も高く、『よい』(「とてもよい」「まあよい」の計) は 83.1%、『よくない』(「よくない」「あまりよくない」の計) は 16.3%となっています。

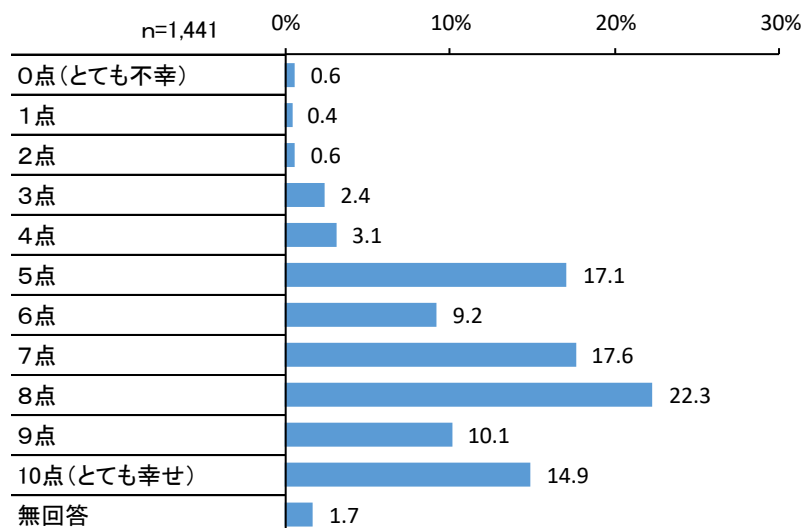


地域活動への参加別でみると、『よい』は参加している人で 86.7%、参加していない人で 66.2%と、参加している人の方が高くなっています。

	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1,441	12.0	71.1	14.4	1.9	0.6
参加している	1,150	13.1	73.6	11.7	1.0	0.5
参加していない	252	7.5	58.7	26.6	6.0	1.2

問 53 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「8点」（22.3%）が最も高く、次いで「7点」（17.6%）、「5点」（17.1%）、「10点（とても幸せ）」（14.9%）となっており、平均点は7.16点となっています。



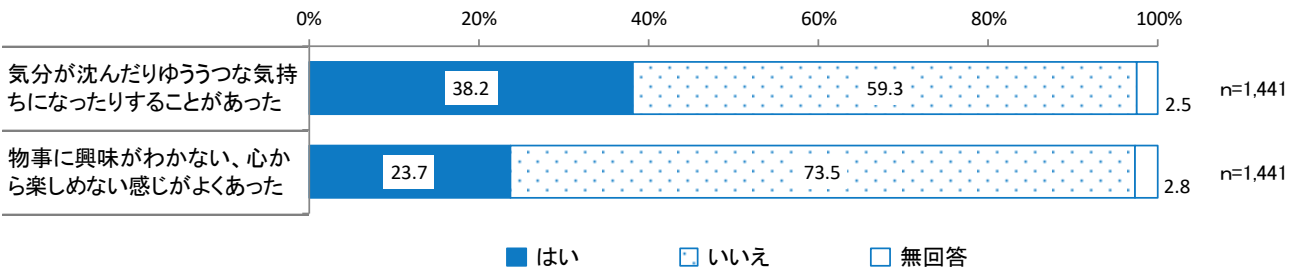
地域活動への参加別でみると、参加していない人では「5点」（23.0%）が最も高く、平均点は参加している人で7.21点、参加していない人で6.82点と、参加している人の方が0.39点高くなっています。

	件数	0点（とても不幸）	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点（とても幸せ）	無回答	平均点
全 体	1,441	0.6	0.4	0.6	2.4	3.1	17.1	9.2	17.6	22.3	10.1	14.9	1.7	7.16
参加している	1,150	0.6	0.2	0.6	2.2	2.8	16.3	9.8	17.7	23.1	10.7	14.7	1.4	7.21
参加していない	252	0.4	1.6	0.8	3.6	4.0	23.0	6.3	16.7	18.7	7.5	14.7	2.8	6.82

問 54 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
 (1つを選択)

問 55 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

「はい」は「気分が沈んだりゆううつな気持ちになったりすることがあった」で 38.2%、「物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあった」で 23.7%となっています。



地域活動への参加別でみると、「物事に興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあった」については、参加している人の方が「いいえ」(76.2%)が高くなっています。

問54 気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになること

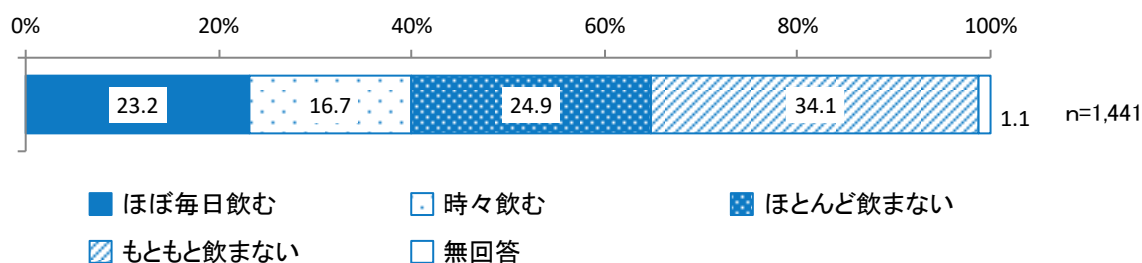
	件数	はい	いいえ	無回答
全 体	1,441	38.2	59.3	2.5
参加している	1,150	37.6	60.3	2.1
参加していない	252	42.1	56.0	2.0

問55 物事への興味がわかない、心から楽しめない感じ

	件数	はい	いいえ	無回答
全 体	1,441	23.7	73.5	2.8
参加している	1,150	21.4	76.2	2.4
参加していない	252	32.9	64.7	2.4

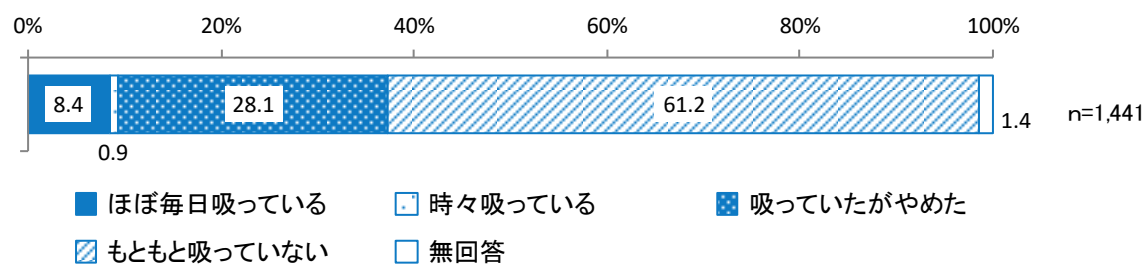
問 56 お酒は飲みますか。(1つを選択)

「もともと飲まない」(34.1%)が最も高く、『飲む』(「ほぼ毎日飲む」「時々飲む」の計)は39.9%となっています。



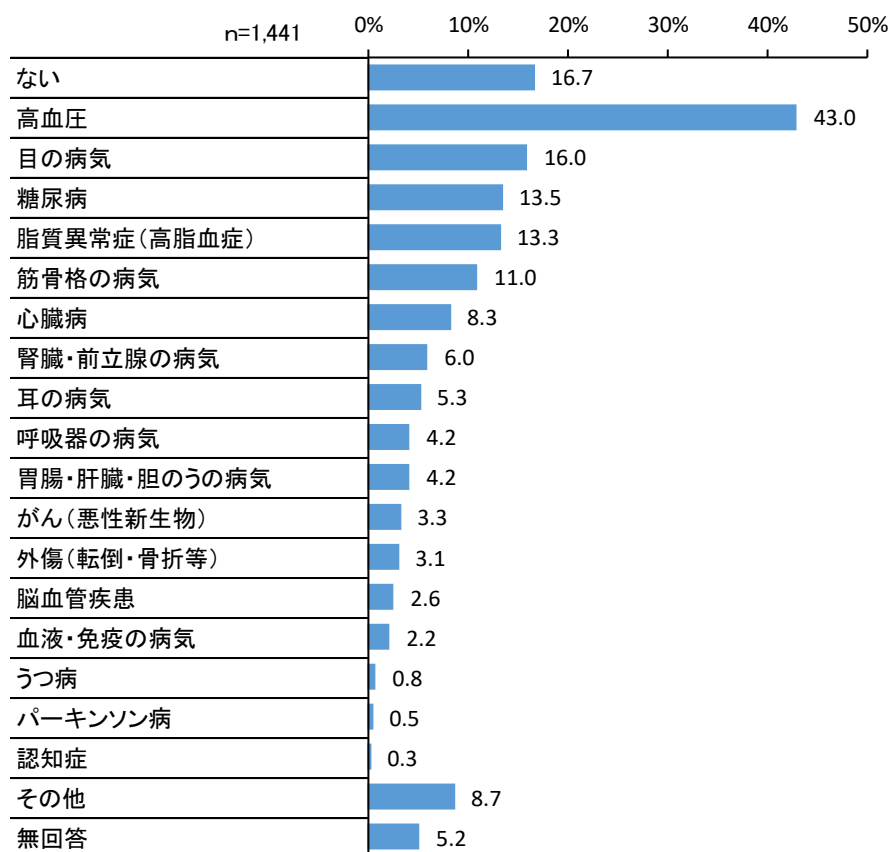
問 57 タバコは吸っていますか。(1つを選択)

「もともと吸っていない」(61.2%)が最も高く、『吸っている』(「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」の計)は9.3%となっています。



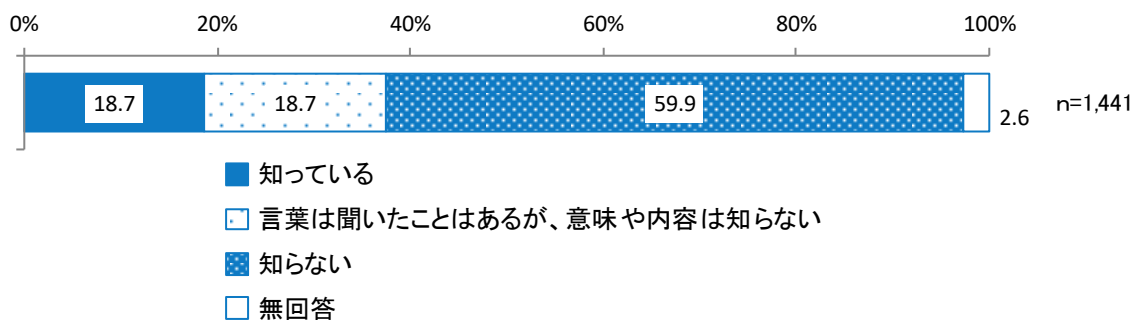
問 58 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

「ない」を除く具体的な病気としては「高血圧」(43.0%)が最も高く、次いで「目の病気」(16.0%)、「糖尿病」(13.5%)、「脂質異常症(高脂血症)」(13.3%)、「筋骨格の病気」(11.0%)となっています。また、「ない」は16.7%となっています。



問 59 「フレイル」という言葉を知っていますか

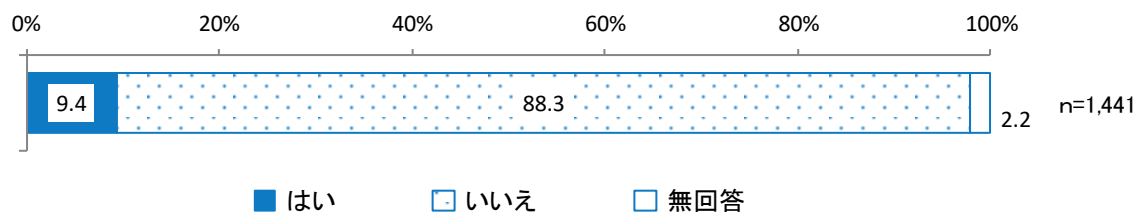
「知らない」(59.9%)が最も高く、「知っている」は18.7%、『名前は知っている』(「知っている」「言葉は聞いたことはあるが、意味や内容は知らない」の計)は37.4%となっています。



(9) 認知症について

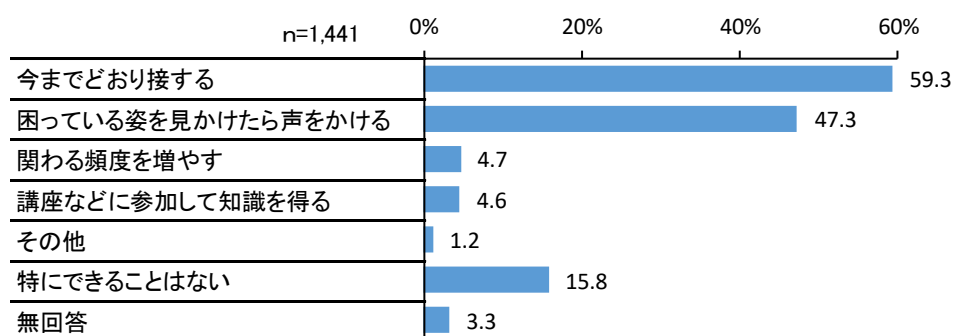
問 60 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つを選択)

「はい」が9.4%、「いいえ」が88.3%となっています。



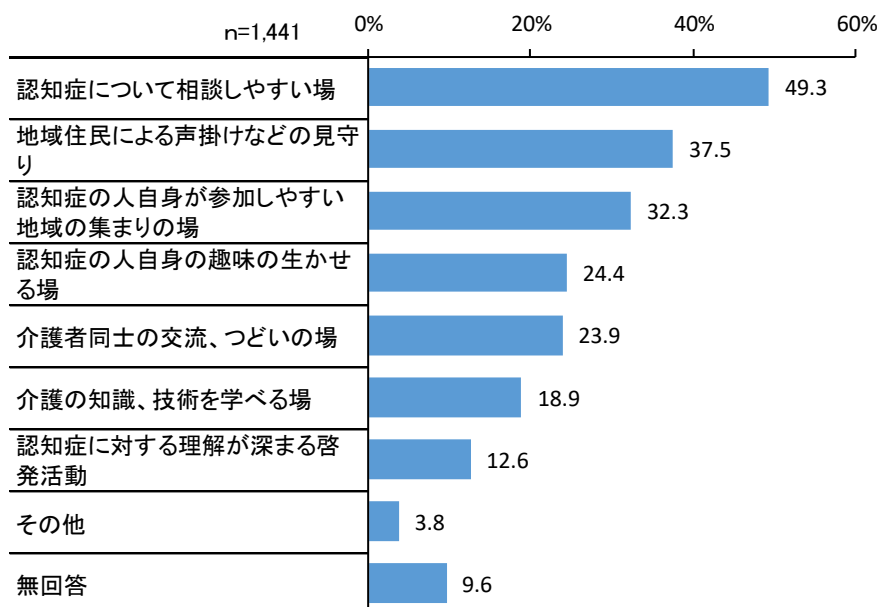
問 61 認知症かもしれないと思われる人が地域にいた場合、何かできそうなことはありますか。(いくつでも)

「今までどおり接する」(59.3%)が最も高く、次いで「困っている姿を見かけたら声をかける」(47.3%)となっています。また、「特にできることはない」が15.8%となっています。



問 62 認知症の人や家族に対し、どんな支援が必要だと思いますか。(いくつでも)

「認知症について相談しやすい場」(49.3%) が最も高く、次いで「地域住民による声掛けなどの見守り」(37.5%)、「認知症の人自身が参加しやすい地域の集まりの場」(32.3%)、「認知症の人自身の趣味の生かせる場」(24.4%)、「介護者同士の交流、つどいの場」(23.9%)となっています。

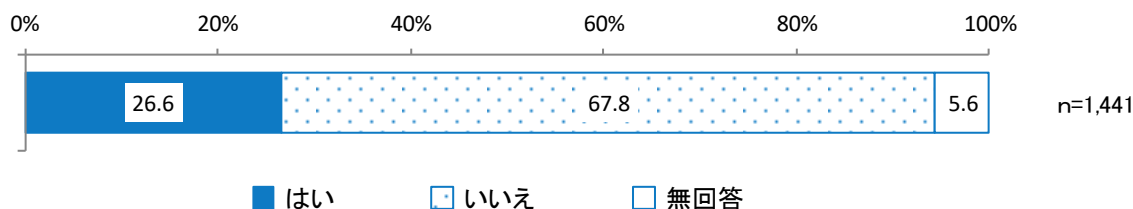


地区別でみると、伊深小学校区・三和小学校区では「地域住民による声掛けなどの見守り」が最も高くなっています。

	件数	認知症について相談しやすい場	地域住民による声掛けなどの見守り	認知症の人自身が参加しやすい地域の集まりの場	認知症の人自身の趣味の生かせる場	介護者同士の交流、つどいの場	介護の知識、技術を学べる場	認知症に対する理解が深まる啓発活動	その他	無回答
全 体	1,441	49.3	37.5	32.3	24.4	23.9	18.9	12.6	3.8	9.6
太田小学校区	261	52.1	32.2	29.1	24.1	23.8	16.1	11.1	3.4	8.0
古井小学校区	344	52.0	41.6	37.8	24.7	25.6	22.7	13.1	3.5	8.7
山之上小学校区	73	46.6	34.2	32.9	23.3	24.7	19.2	11.0	2.7	13.7
蜂屋小学校区	139	45.3	31.7	34.5	24.5	26.6	13.7	7.9	4.3	10.1
加茂野小学校区	200	53.0	35.0	30.0	27.0	22.0	21.5	14.0	4.0	9.0
伊深小学校区	45	44.4	55.6	37.8	31.1	15.6	17.8	20.0	6.7	6.7
三和小学校区	21	23.8	52.4	38.1	14.3	28.6	14.3	4.8	4.8	9.5
下米田小学校区	166	45.2	41.6	30.1	24.1	20.5	16.9	12.0	3.6	12.0
山手小学校区	191	48.7	35.6	27.2	22.0	25.7	19.9	15.7	4.2	10.5

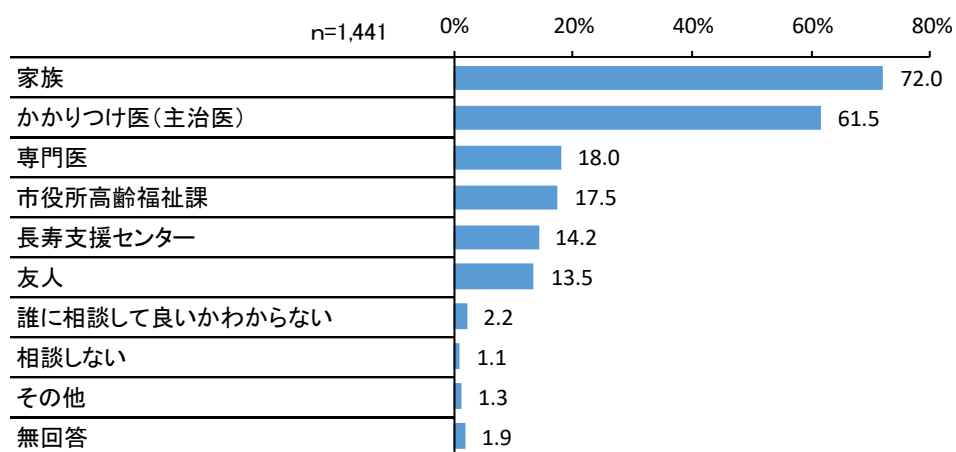
問 63 認知症に関する窓口を知っていますか。(1つを選択)

「はい」が26.6%、「いいえ」が67.8%となっています。



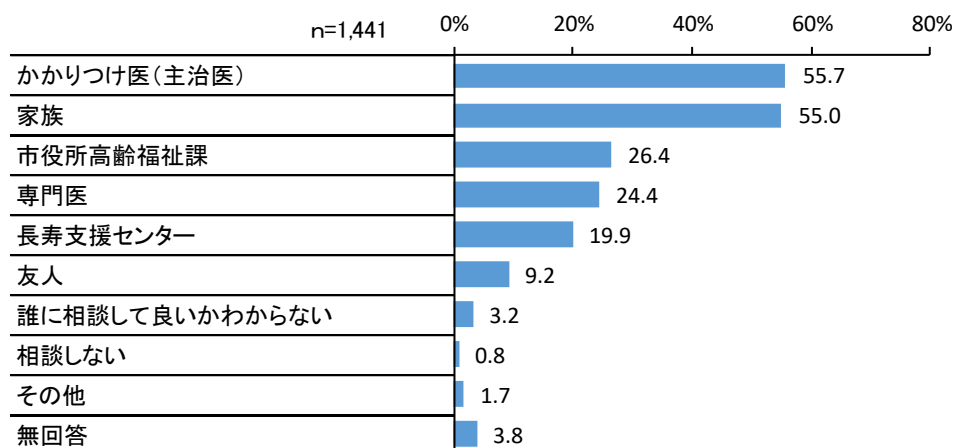
問 64 あなたが認知症になったのではないかと感じたら、誰に相談しますか。(いくつでも)

「家族」(72.0%)が最も高く、次いで「かかりつけ医(主治医)」(61.5%)、「専門医」(18.0%)、「市役所高齢福祉課」(17.5%)、「長寿支援センター」(14.2%)となっています。



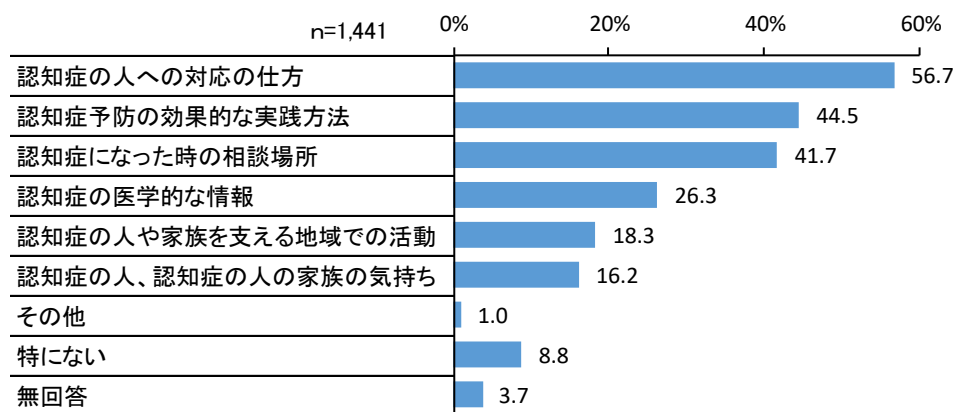
問 65 家族が認知症になったのではないかと感じたら、誰に相談しますか。(いくつでも)

「かかりつけ医(主治医)」(55.7%)が最も高く、次いで「家族」(55.0%)、「市役所高齢福祉課」(26.4%)、「専門医」(24.4%)、「長寿支援センター」(19.9%)となっています。



問 66 認知症のどんなことが知りたいですか。(いくつでも)

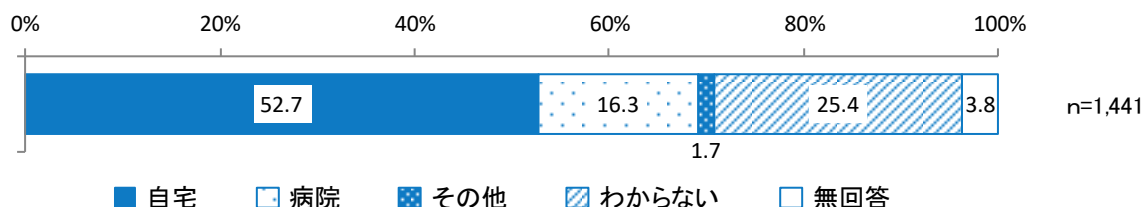
「認知症の人への対応の仕方」(56.7%)が最も高く、次いで「認知症予防の効果的な実践方法」(44.5%)、「認知症になった時の相談場所」(41.7%)、「認知症の医学的な情報」(26.3%)となっています。



(10) 在宅医療・終末期医療について

問 67 あなたは人生の最期をどこで迎えたいですか。(1つを選択)

「自宅」(52.7%) が最も高く、次いで「わからない」(25.4%)、「病院」(16.3%) となっています。



性別でみると、「自宅」は男性の方が女性より高くなっています。

年齢別でみると、「自宅」は年齢が高いほど概ね割合が高くなっています。

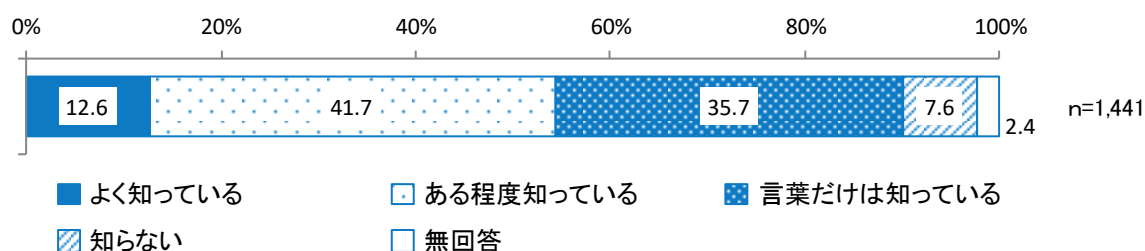
家族構成別でみると、「自宅」はひとり暮らしで 40.1%、夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で 63.8%となっています。

在宅医療の認知度（問 68）別でみると、「自宅」は在宅医療の認知度が高いほど概ね割合が高くなっています。

		件数	自宅	病院	その他	わからない	無回答
全 体		1,441	52.7	16.3	1.7	25.4	3.8
性 別	男性	685	59.1	13.0	2.3	23.1	2.5
	女性	755	46.9	19.3	1.2	27.5	5.0
年 齢	65～69歳	345	48.1	15.7	3.5	30.7	2.0
	70～74歳	406	52.7	13.3	1.5	29.1	3.4
	75～79歳	326	54.3	18.1	1.2	22.4	4.0
	80～84歳	207	50.7	20.3	1.4	21.7	5.8
	85～89歳	118	61.0	16.1	—	17.8	5.1
	90歳以上	38	65.8	18.4	—	7.9	7.9
家 族 構 成	ひとり暮らし	187	40.1	21.9	1.6	31.6	4.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	54.6	17.1	2.2	23.1	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	63.8	10.1	4.3	20.3	1.4
	息子・娘との2世帯	289	54.0	15.6	1.0	24.6	4.8
	その他	282	54.6	13.5	1.1	28.0	2.8
在 宅 医 療 認 知 度	よく知っている	181	58.0	13.8	2.8	21.5	3.9
	ある程度知っている	601	53.9	18.6	2.2	23.5	1.8
	言葉だけは知っている	514	52.7	15.6	1.0	28.6	2.1
	知らない	110	48.2	15.5	1.8	31.8	2.7

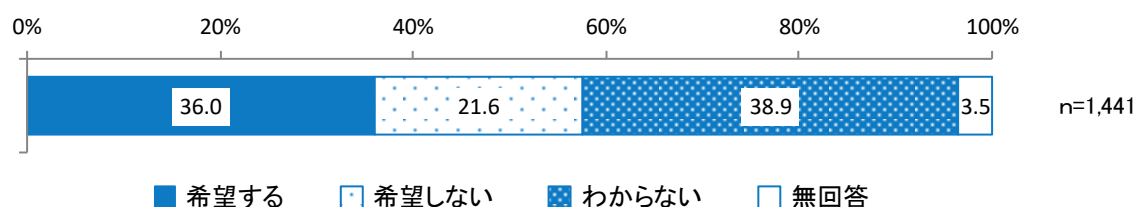
問 68 医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士、薬剤師などの訪問を受けながら継続的に自宅で治療・療養する医療のあり方を「在宅医療」といいますが、あなたはこの「在宅医療」を知っていますか。（1つを選択）

「ある程度知っている」（41.7%）が最も高く、「よく知っている」は 12.6%、『言葉は知っている』（「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」の計）は 90.0%、「知らない」は 7.6%となっています。



問 69 あなたが、病気やけがなどで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望されますか。（1つを選択）

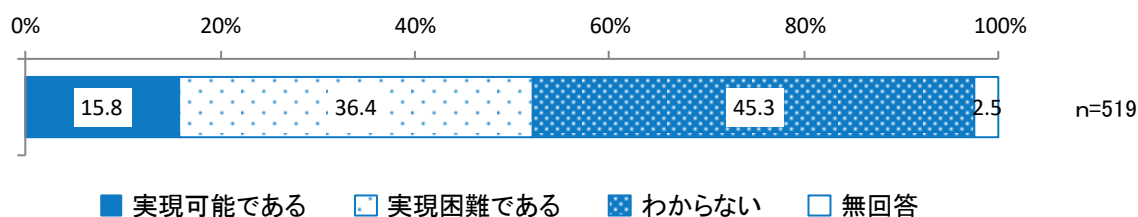
「わからない」（38.9%）が最も高く、次いで「希望する」（36.0%）、「希望しない」（21.6%）となっています。



問 69 で「1. 希望する」と回答した方におうかがいします。

問 69-1 自宅で最期まで療養できると思いますか。（1つを選択）

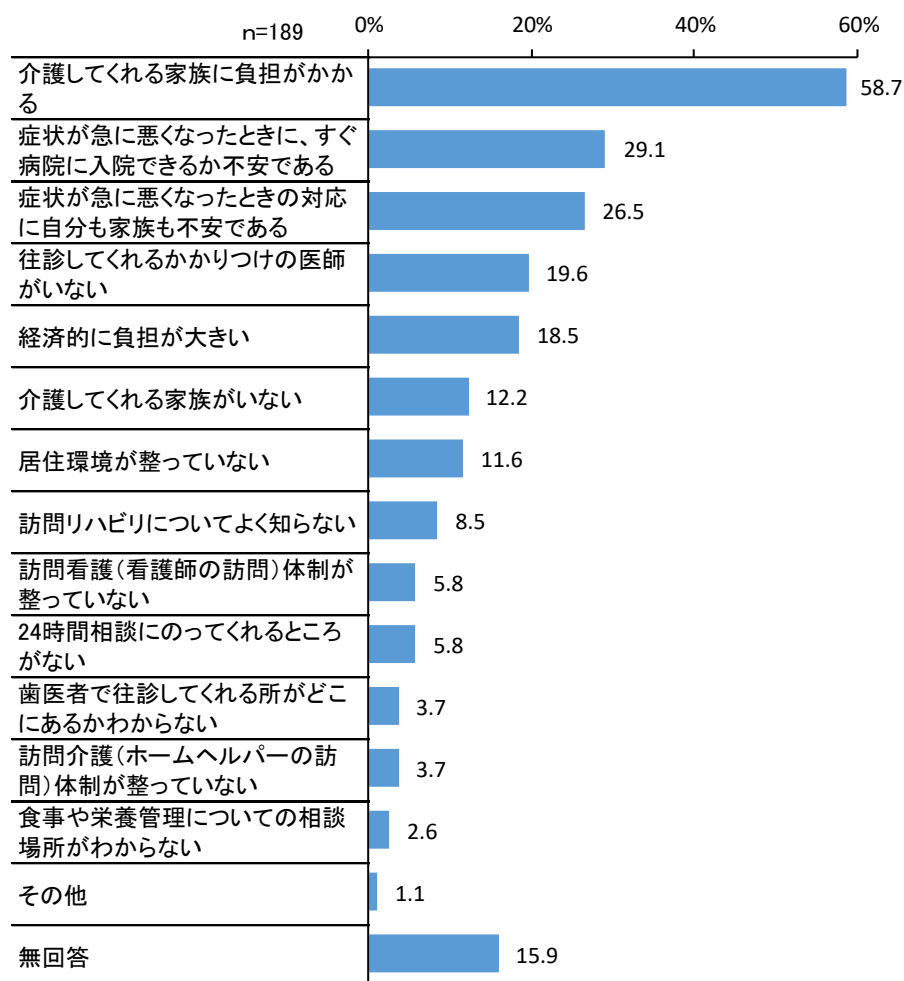
「わからない」（45.3%）が最も高く、次いで「実現困難である」（36.4%）、「実現可能である」（15.8%）となっています。



問 69－１で「２．実現困難である」と回答した方におうかがいします。

問 69－２ 自宅療養が実現困難であると思われる理由は何ですか。（３つまで選択可）

「介護してくれる家族に負担がかかる」（58.7%）が最も高く、次いで「症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である」（29.1%）、「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」（26.5%）、「往診してくれるかかりつけの医師がいない」（19.6%）、「経済的に負担が大きい」（18.5%）となっています。



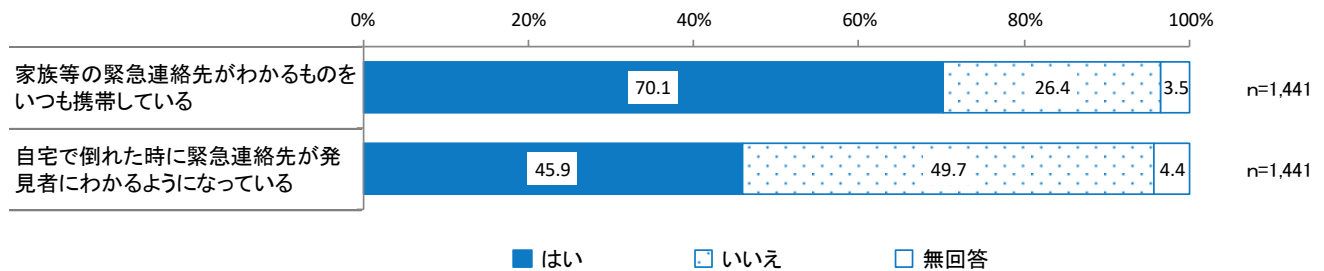
問 70 もしもの時に備えて家族等の緊急連絡先がわかるものをいつも携帯していますか。

(1つを選択)

問 71 もしも自宅で倒れた時に、家族等の緊急連絡先が発見者にわかるようになっていますか。

(1つを選択)

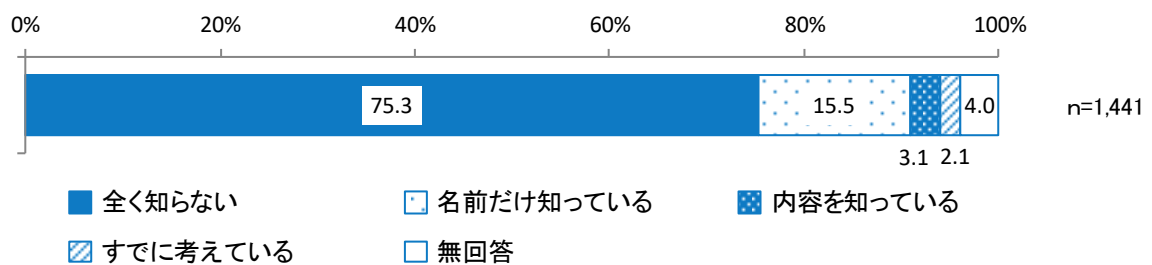
「はい」は「家族等の緊急連絡先がわかるものをいつも携帯している」で 70.1%、「自宅で倒れた時に緊急連絡先が発見者にわかるようになっている」で 45.9%となっています。



問 72 もしもの時について前もって話し合う、ACP（人生会議）について知っていますか。

(1つを選択)

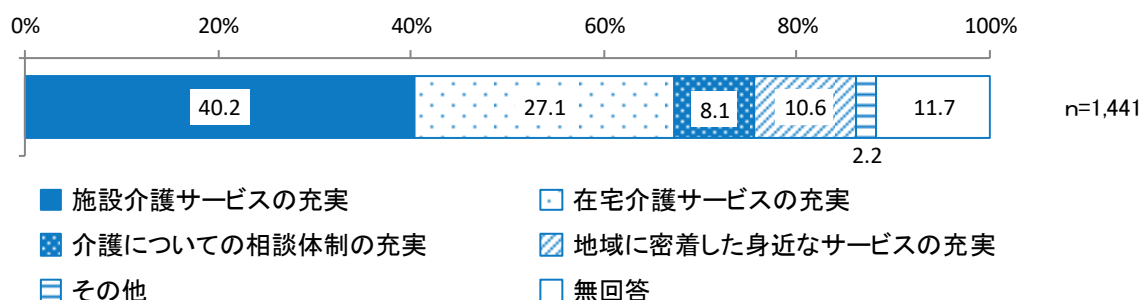
「全く知らない」(75.3%) が最も高く、次いで「名前だけ知っている」(15.5%)、「内容を知っている」(3.1%)、「すでに考えている」(2.1%) となっています。



(11) 介護保険について

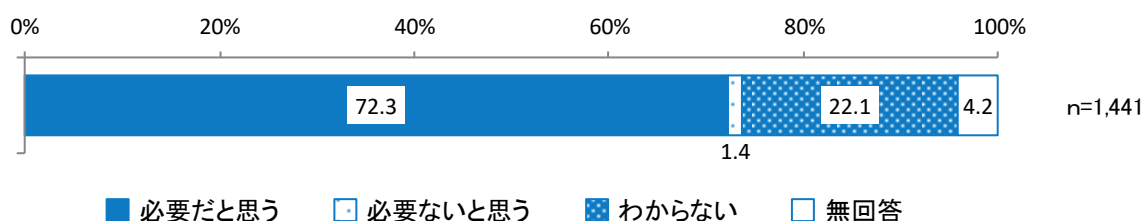
問 73 あなたは、介護体制を充実させるために、今後必要なことは何だと思いますか。
(1つを選択)

「施設介護サービスの充実」(40.2%)が最も高く、次いで「在宅介護サービスの充実」(27.1%)、
「地域に密着した身近なサービスの充実」(10.6%)となっています。



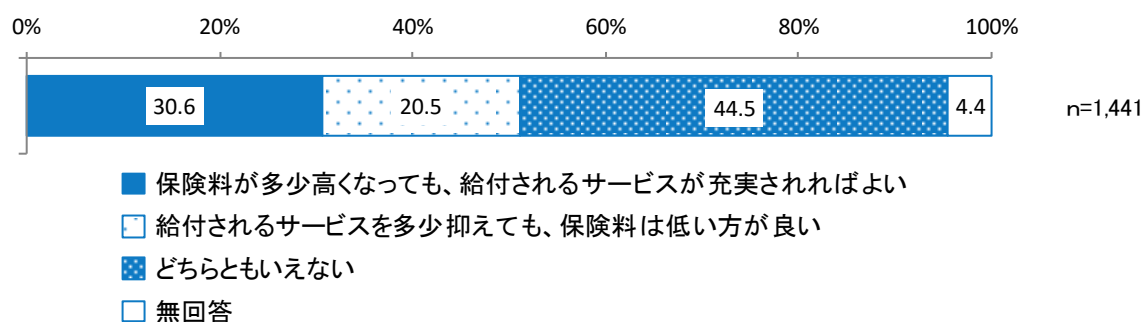
問 74 「介護医療院」についておうかがいします。「介護医療院」とは、長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する施設です。現在、市内にはありません。「介護医療院」が必要だと思いますか。(1つを選択)

「必要だと思う」(72.3%)が最も高く、「必要ないと思う」が1.4%、「わからない」が22.1%となっています。



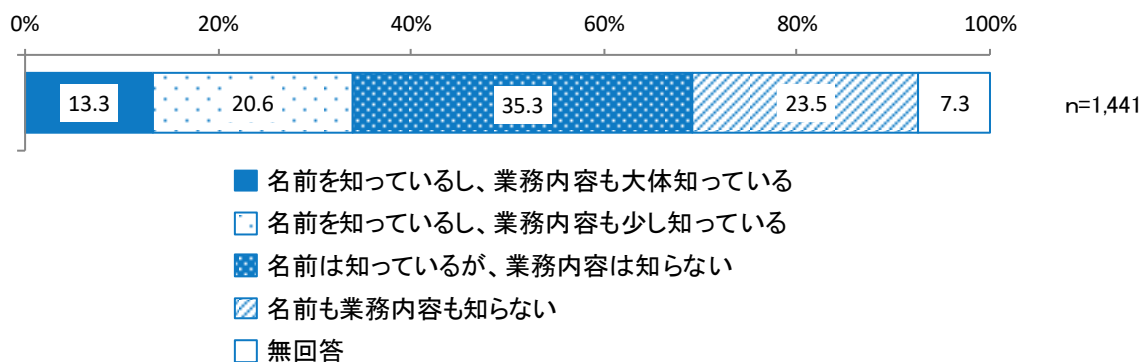
問 75 介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどう思いますか。(1つを選択)

「どちらともいえない」(44.5%)が最も高く、「保険料が多少高くなっても、給付されるサービスが充実できればよい」が30.6%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料は低い方がよい」が20.5%となっています。



問 76 長寿支援センターについて知っていますか。(1つを選択)

「名前は知っているが、業務内容は知らない」(35.3%)が最も高く、次いで「名前も業務内容も知らない」(23.5%)となっています。『業務内容を知っている』(「名前を知っているし、業務内容も大体知っている」「名前を知っているし、業務内容も少し知っている」の計)は33.9%となっています。



年齢別でみると、90歳以上では「名前も業務内容も知らない」が最も高くなっています。

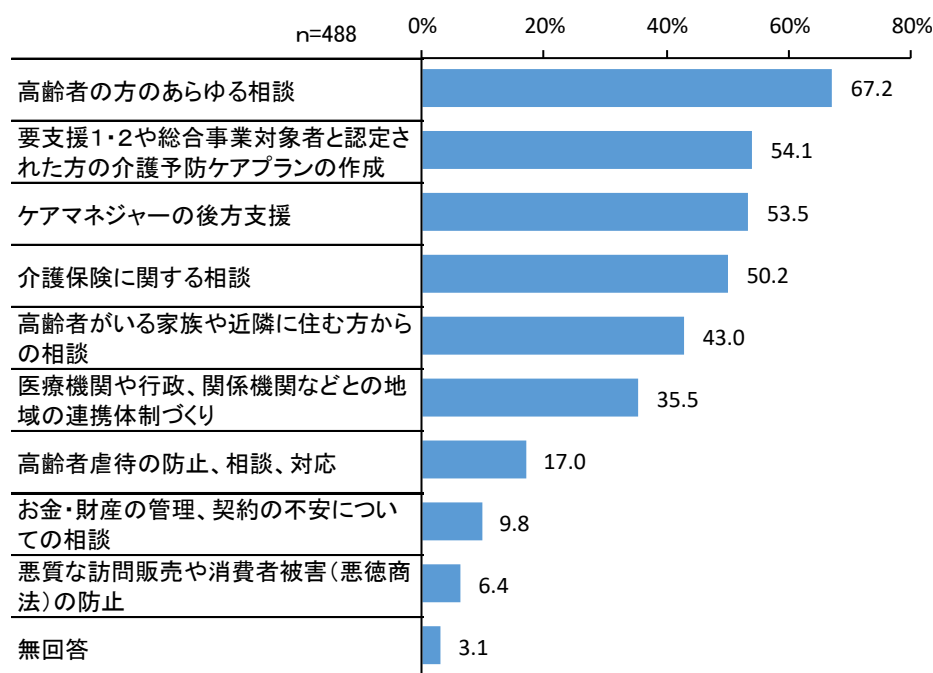
地区別でみると、三和小学校区・山之上小学校区では「名前を知っているし、業務内容も少し知っている」がそれぞれ最も高く、『業務内容を知っている』が4割以上となっています。

		件数	名前を知っているが、業務内容は知らない	名前を知っているし、業務内容も少し知っている	名前を知っているし、業務内容も大体知っている	名前も業務内容も知らない	無回答
全 体		1,441	13.3	20.6	35.3	23.5	7.3
年 齢	65～69歳	345	13.6	20.6	31.6	29.6	4.6
	70～74歳	406	13.3	21.2	36.2	23.4	5.9
	75～79歳	326	12.3	21.5	40.2	20.2	5.8
	80～84歳	207	13.5	22.7	35.3	18.8	9.7
	85～89歳	118	16.9	11.0	33.1	21.2	17.8
	90歳以上	38	5.3	26.3	26.3	28.9	13.2
地 区	太田小学校区	261	11.9	18.0	35.6	26.4	8.0
	古井小学校区	344	12.2	22.1	37.2	22.7	5.8
	山之上小学校区	73	16.4	27.4	24.7	19.2	12.3
	蜂屋小学校区	139	14.4	20.9	30.2	23.0	11.5
	加茂野小学校区	200	12.0	18.5	33.0	31.5	5.0
	伊深小学校区	45	17.8	20.0	42.2	13.3	6.7
	三和小学校区	21	9.5	33.3	14.3	28.6	14.3
	下米田小学校区	166	13.3	20.5	37.3	20.5	8.4
	山手小学校区	191	15.7	19.9	40.8	18.8	4.7

問 76 で「1. 名前を知っているし、業務内容も大体知っている」または「2. 名前を知っているし、業務内容も少し知っている」と回答した方におうかがいします。

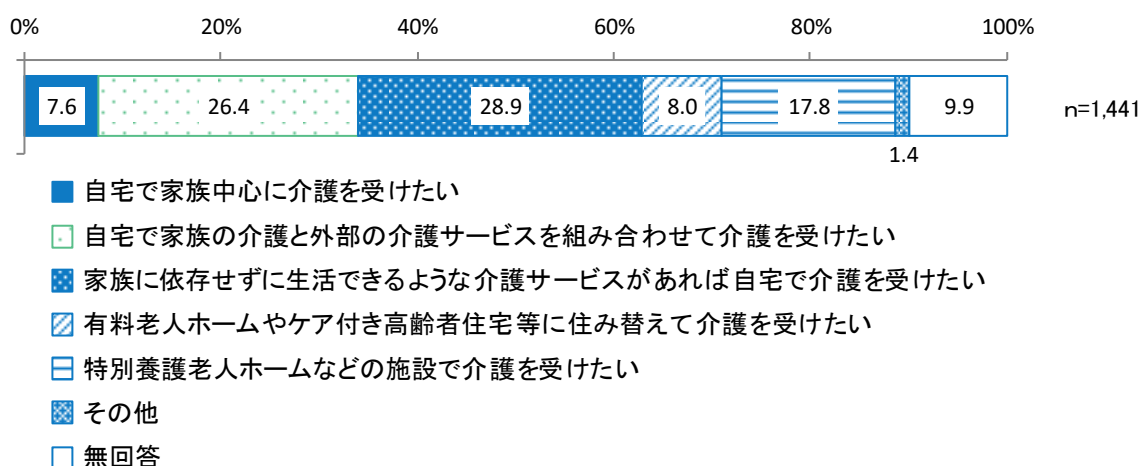
問 76－1 長寿支援センターの業務内容について知っていることは何ですか。(いくつでも)

「高齢者の方のあらゆる相談」(67.2%) が最も高く、次いで「要支援1・2や総合事業対象者と認定された方の介護予防ケアプランの作成」(54.1%)、「ケアマネジャーの後方支援」(53.5%)、「介護保険に関する相談」(50.2%)、「高齢者がいる家族や近隣に住む方からの相談」(43.0%)となっています。



問 77 将来あなたが食事や排泄（トイレ）、着替えなどに介助が必要になった場合に、主としてどのように介護を受けたいですか。（1つを選択）

「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」（28.9%）が最も高く、『自宅で介護を受けたい』（「自宅で家族中心に介護を受けたい」「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい」の計）は 62.9%となっています。一方、『施設等で介護を受けたい』（「有料老人ホームやケア付き高齢者住宅等に住み替えて介護を受けたい」「特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい」の計）は 25.8%となっています。



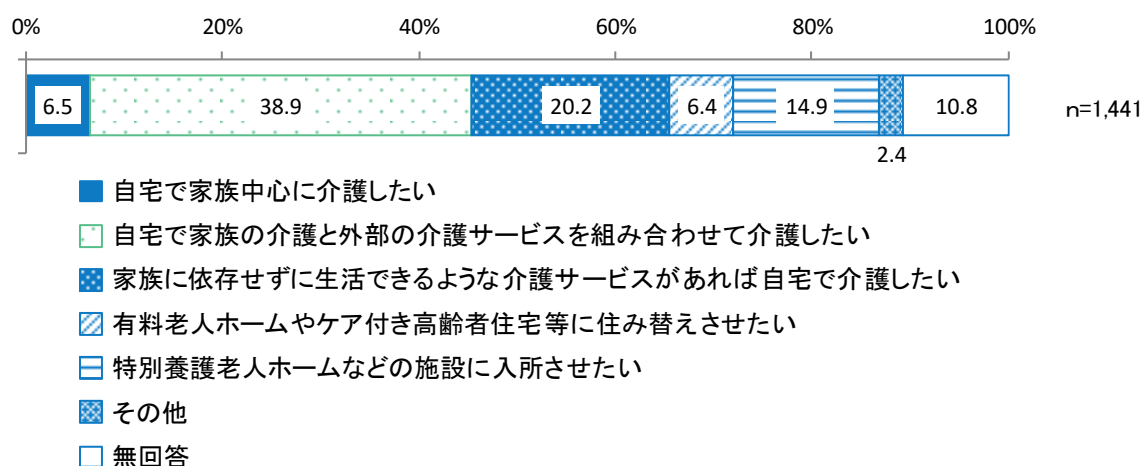
性別でみると、男性では「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい」（30.8%）が最も高くなっています。

年齢別でみると、90歳以上では「有料老人ホームやケア付き高齢者住宅等に住み替えて介護を受けたい」（13.2%）がやや高くなっています。

	件数	自宅中心に介護を受けたい	自宅中心の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい	家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護を受けたい	有料老人ホームやケア付き高齢者住宅等に住み替えて介護を受けたい	特別養護老人ホームなどの施設で介護を受けたい	その他	無回答
全体	1,441	7.6	26.4	28.9	8.0	17.8	1.4	9.9
性別								
男性	685	10.9	30.8	22.6	6.9	18.0	1.5	9.3
女性	755	4.5	22.5	34.6	9.1	17.6	1.3	10.3
年齢								
65～69歳	345	6.1	22.0	35.9	9.6	18.6	1.4	6.4
70～74歳	406	8.4	29.3	23.6	9.1	20.4	1.0	8.1
75～79歳	326	7.4	28.2	30.7	4.0	18.4	1.5	9.8
80～84歳	207	7.7	26.6	27.1	9.2	15.9	1.0	12.6
85～89歳	118	8.5	24.6	25.4	7.6	11.0	3.4	19.5
90歳以上	38	10.5	26.3	26.3	13.2	7.9	—	15.8

問 78 あなたの家族が食事や排泄（トイレ）、着替えなどに介助が必要になった場合に、主としてどのように介護したいと思いますか。（1つを選択）

「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護したい」（38.9%）が最も高く、『自宅で介護したい』（「自宅で家族中心に介護したい」「自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護したい」「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護したい」の計）は 65.6%となっています。一方、『施設等へ入所（入居）させたい』（「有料老人ホームやケア付き高齢者住宅等に住み替えさせたい」「特別養護老人ホームなどの施設に入所させたい」の計）は 21.3%となっています。



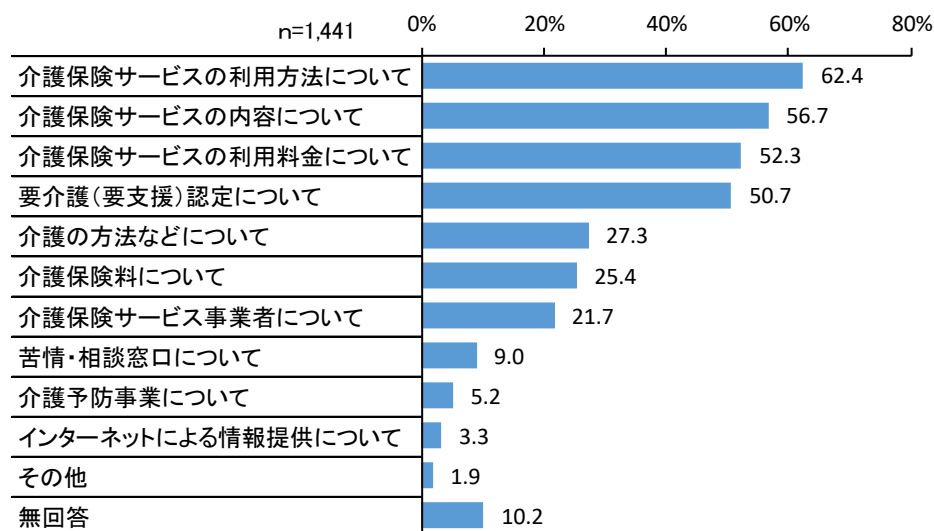
性別でみると、女性では「家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護したい」（23.8%）がやや高くなっています。

年齢別でみると、『自宅で介護したい』は 85～89 歳（52.5%）、90 歳以上（57.9%）で 6 割未満と低くなっています。

	件数	自宅で家族中心に介護したい	自宅で家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護したい	家族に依存せずに生活できるような介護サービスがあれば自宅で介護したい	有料老人ホームやケア付き高齢者住宅等に住み替えさせたい	施設等に養護老人ホームなどの施設に入所させたい	その他	無回答
全 体	1,441	6.5	38.9	20.2	6.4	14.9	2.4	10.8
性 別								
男性	685	8.9	40.7	16.2	6.7	15.8	2.3	9.3
女性	755	4.1	37.4	23.8	6.1	14.0	2.5	12.1
年 齢								
65～69歳	345	4.3	40.6	22.6	7.5	16.8	2.0	6.1
70～74歳	406	6.4	43.8	17.0	7.4	13.8	2.7	8.9
75～79歳	326	7.7	39.9	23.0	3.4	13.8	1.8	10.4
80～84歳	207	6.8	32.4	20.8	6.8	18.8	2.4	12.1
85～89歳	118	8.5	27.1	16.9	6.8	7.6	4.2	28.8
90歳以上	38	5.3	36.8	15.8	7.9	18.4	2.6	13.2

問 79 介護保険に関する情報について、どのような情報が必要だと思われますか。(いくつでも)

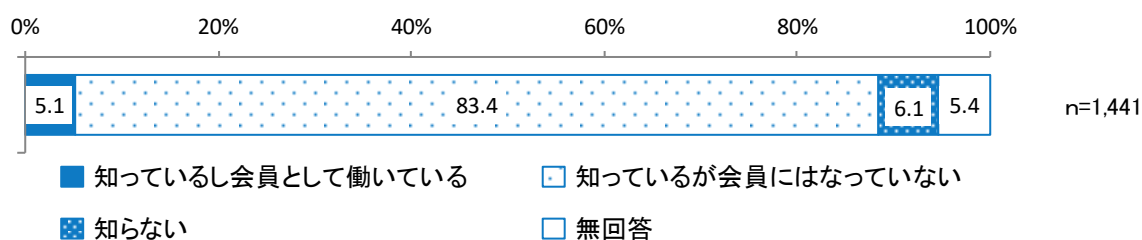
「介護保険サービスの利用方法について」(62.4%) が最も高く、次いで「介護保険サービスの内容について」(56.7%)、「介護保険サービスの利用料金について」(52.3%)、「要介護(要支援)認定について」(50.7%)となっています。



(12) 高齢者施策について

問 80 シルバー人材センターについて知っていましたか。(1つを選択)

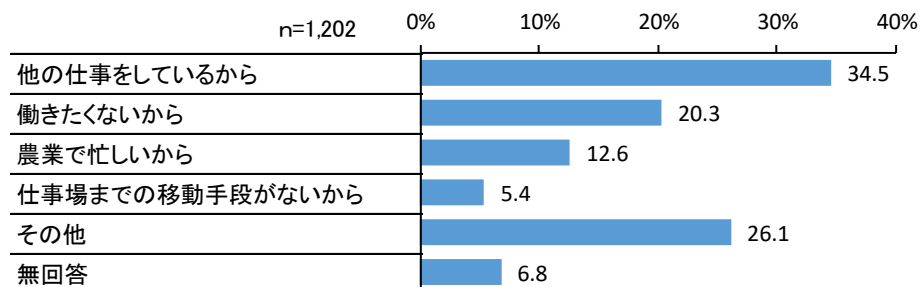
「知っているが会員にはなっていない」(83.4%) が最も高く、「知っているし会員として働いている」は5.1%、「知らない」は6.1%となっています。



問 80 で「2. 知っているが会員にはなっていない」と回答した方におうかがいします。

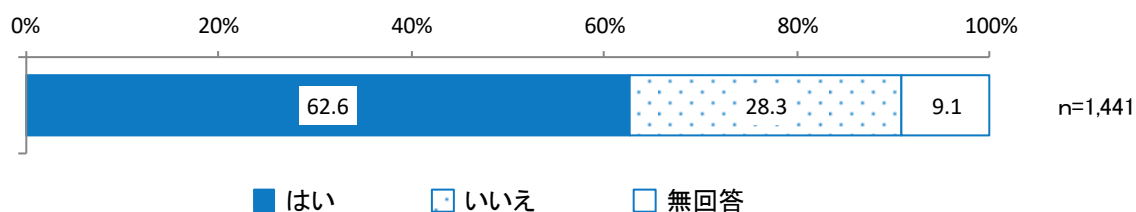
問 80-1 会員になっていない理由はどのようなことですか。(いくつでも)

「他の仕事をしているから」(34.5%) が最も高く、次いで「働きたくないから」(20.3%)、「農業で忙しいから」(12.6%) となっています。



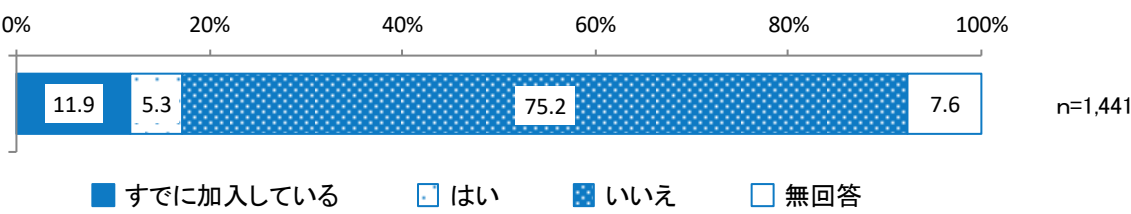
問 81 健寿会（老人クラブ）について知っていましたか。(1つを選択)

「はい」が62.6%、「いいえ」が28.3%となっています。



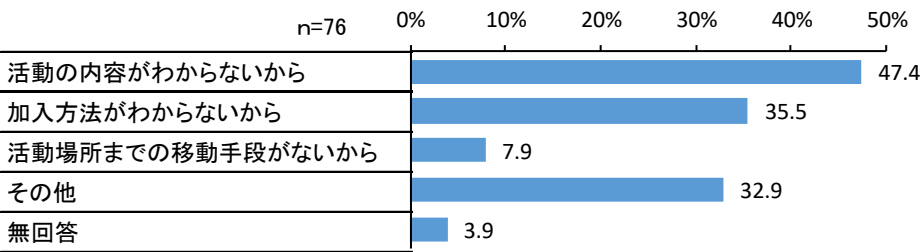
問 82 健寿会（老人クラブ）に加入したいですか。（1 つを選択）

「すでに加入している」が 11.9%、「はい」が 5.3%、「いいえ」が 75.2%となっています。



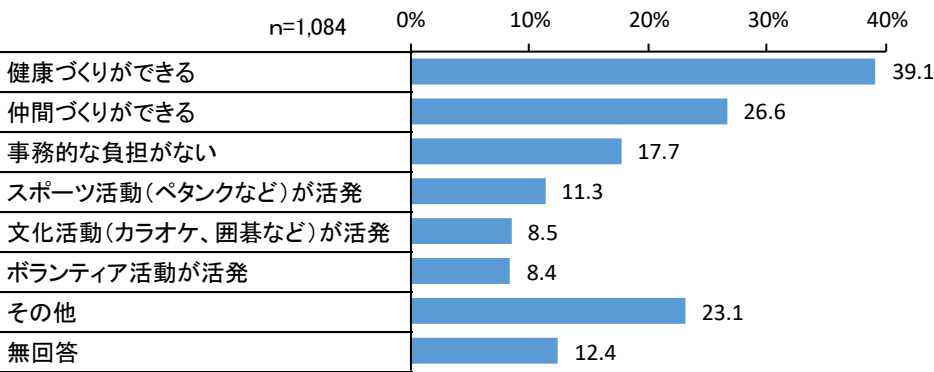
問 82 で「2. はい」と回答した方におうかがいします。
 問 82－1 会員になっていない理由はどのようなことですか。（いくつでも）

「活動の内容がわからないから」（47.4%）が最も高く、次いで「加入方法がわからないから」（35.5%）、「活動場所までの移動手段がないから」（7.9%）となっています。



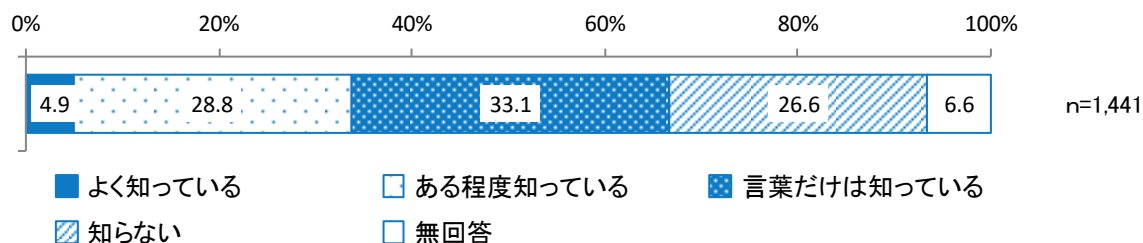
問 82 で「3. いいえ」と回答した方におうかがいします。
 問 82－2 どのような会なら加入したいですか。（いくつでも）

「健康づくりができる」（39.1%）が最も高く、次いで「仲間づくりができる」（26.6%）、「事務的な負担がない」（17.7%）、「スポーツ活動（グラウンドゴルフ、ペタンクなど）が活発」（11.3%）となっています。



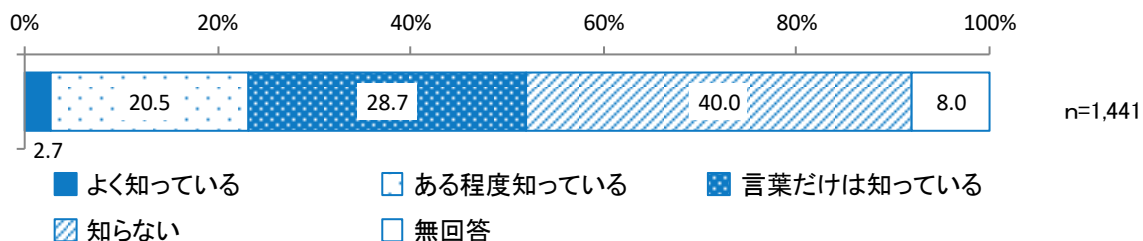
問 83 成年後見制度について知っていますか。(1つを選択)

「言葉だけは知っている」(33.1%) が最も高く、『言葉は知っている』(「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」の計) は 66.8%、「知らない」は 26.6%となっています。



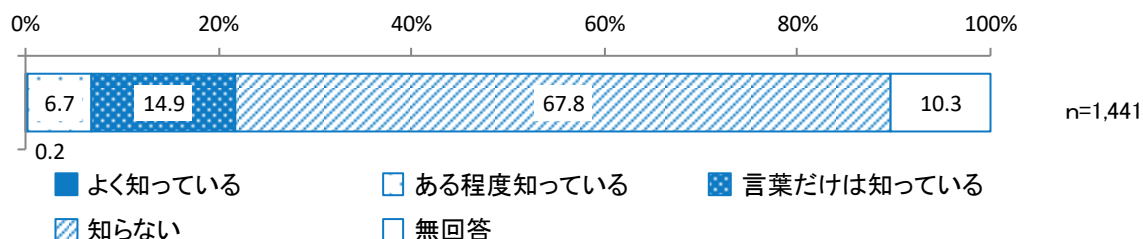
問 84 任意後見制度について知っていますか。(1つを選択)

「知らない」(40.0%) が最も高く、『言葉は知っている』(「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」の計) は 51.9%となっています。



問 85 市民後見人について知っていますか。(1つを選択)

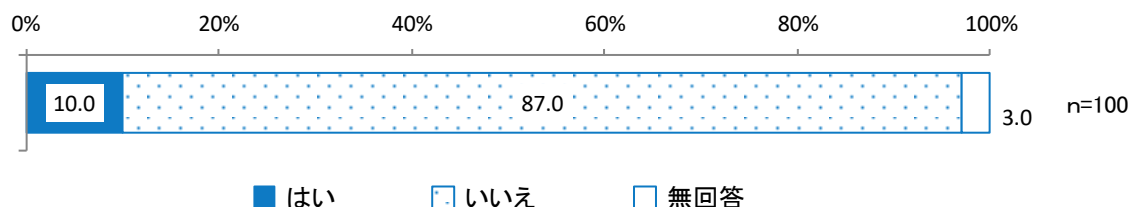
「知らない」(67.8%) が最も高く、『言葉は知っている』(「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」の計) は 21.8%となっています。



問 85 で「1. よく知っている」または「2. ある程度知っている」と回答した方におうかがいします。

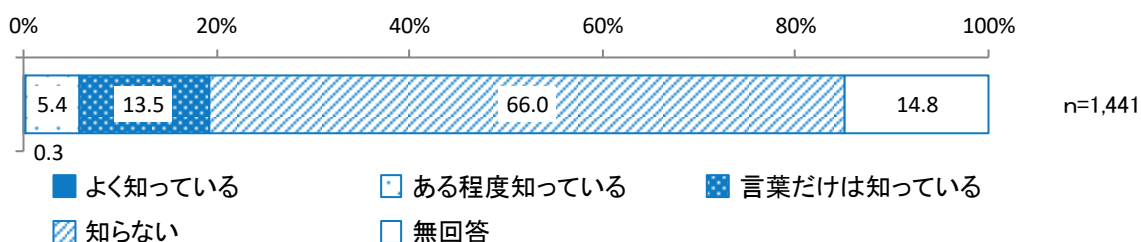
問 85－1 市民後見人養成研修を受けてみたいと思いますか。（1つを選択）

「はい」が10.0%、「いいえ」が87.0%となっています。



問 86 法人後見人について知っていますか。（1つを選択）

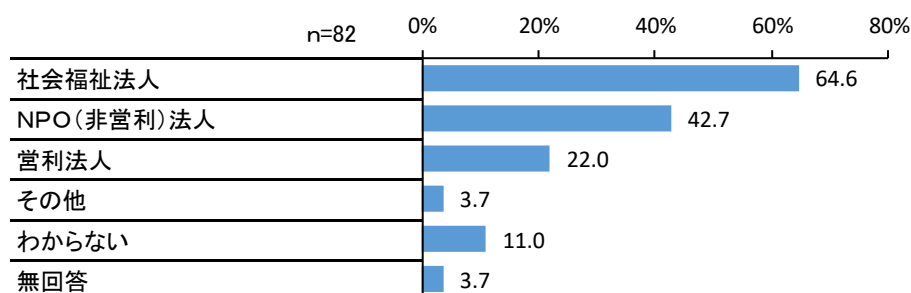
「知らない」（66.0%）が最も高く、『言葉は知っている』（「よく知っている」「ある程度知っている」「言葉だけは知っている」の計）は19.2%となっています。



問 86 で「1. よく知っている」または「2. ある程度知っている」と回答した方におうかがいします。

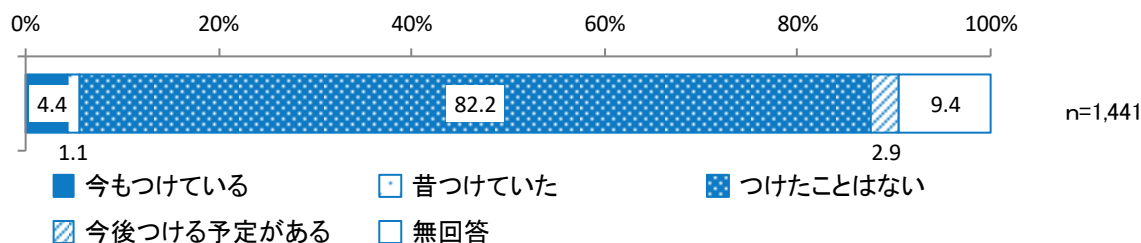
問 86－1 法人後見の実施先として思いつくのはどこですか。（いくつでも）

「社会福祉法人」（64.6%）が最も高く、次いで「NPO（非営利）法人」（42.7%）、「営利法人」（22.0%）となっています。



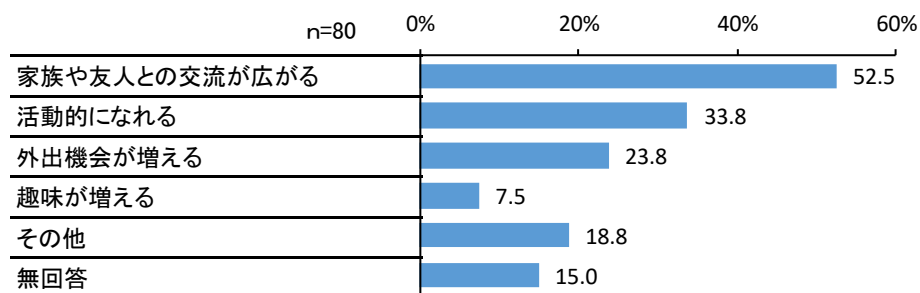
問 87 補聴器についておうかがいします。(1つ選択)

「つけたことはない」(82.2%) が最も高く、『使用経験がある』(「今もつけている」「昔つけていた」の計) は5.5%、「今後つける予定がある」は2.9%となっています。



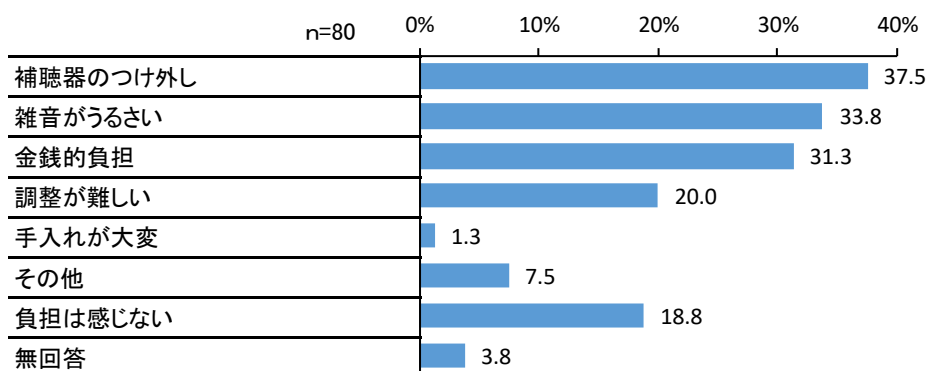
問 87 で「1. 今もつけている」または「2. 昔つけていた」と回答した方におうかがいします。
問 87-1 補聴器があることで、よかったと感じることは何ですか。(いくつでも)

「家族や友人との交流が広がる」(52.5%) が最も高く、次いで「活動的になれる」(33.8%)、「外出機会が増える」(23.8%) となっています。



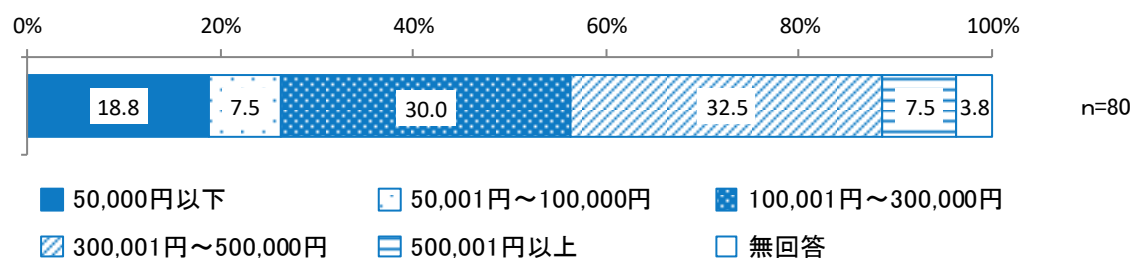
問 87-2 補聴器があることで、負担に感じることはありますか。(いくつでも)

「補聴器のつけ外し」(37.5%) が最も高く、次いで「雑音がうるさい」(33.8%)、「金銭的負担」(31.3%) となっています。



問 87－3 補聴器について、購入の際の金額はいくらでしたか。（1つを選択）

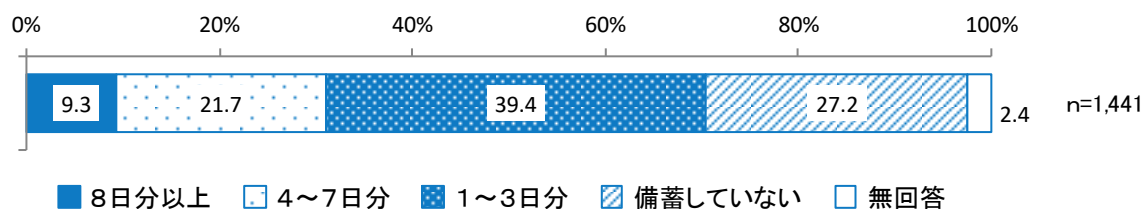
「300,001 円～500,000 円」（32.5%）が最も高く、次いで「100,001 円～300,000 円」（30.0%）、
「50,000 円以下」（18.8%）となっています。



(13) 災害に対する備えについて

問 88 水や食料をおよそ何日分備蓄していますか。(1つを選択)

「1～3日分」(39.4%)が最も高く、次いで「備蓄していない」(27.2%)、「4～7日分」(21.7%)となっています。

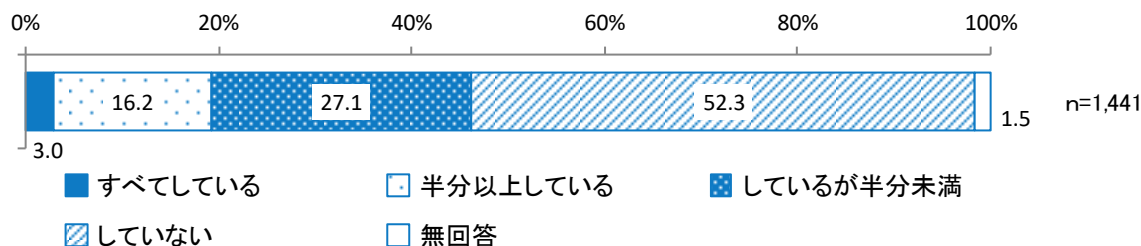


地区別でみると、伊深小学校区・山之上小学校区では「備蓄していない」が最も高くなっています。

	件数	8日分以上	4～7日分	1～3日分	い備蓄していない	無回答
全 体	1,441	9.3	21.7	39.4	27.2	2.4
太田小学校区	261	10.3	20.7	39.8	27.2	1.9
古井小学校区	344	8.1	26.2	39.8	23.3	2.6
山之上小学校区	73	16.4	19.2	26.0	35.6	2.7
蜂屋小学校区	139	10.8	17.3	35.3	32.4	4.3
加茂野小学校区	200	6.0	22.5	42.5	28.5	0.5
伊深小学校区	45	8.9	13.3	31.1	44.4	2.2
三和小学校区	21	14.3	9.5	57.1	14.3	4.8
下米田小学校区	166	12.7	23.5	36.1	25.3	2.4
山手小学校区	191	6.3	20.4	45.5	25.1	2.6

問 89 家具や冷蔵庫などを地震で倒れないようにしていますか。(1つを選択)

「していない」(52.3%) が最も高く、次いで「しているが半分未満」(27.1%)、「半分以上している」(16.2%)、「すべてしている」(3.0%) となっています。



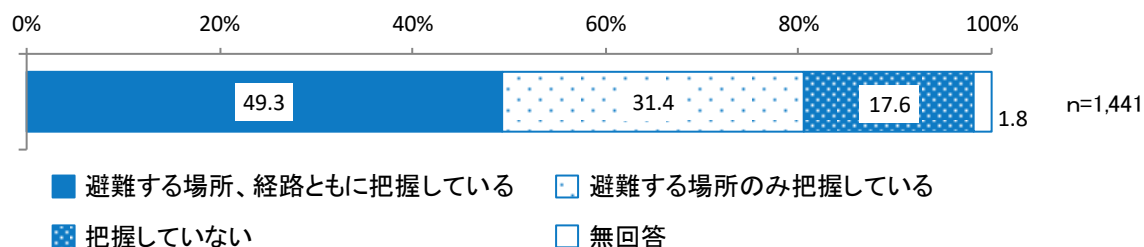
地区別でみると、すべての地区で「していない」が最も高く、山之上小学校区・伊深小学校区・蜂屋小学校区では約6割となっています。

家族構成別でみると、すべての家族構成で「していない」が最も高く、ひとり暮らし・夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で6割以上となっています。

		件 数	る す べ て し て い	い る 半 分 以 上 し て	分 未 満 し て い る が 半	し て い な い	無 回 答
全 体		1,441	3.0	16.2	27.1	52.3	1.5
地 区	太田小学校区	261	2.3	16.1	24.5	55.2	1.9
	古井小学校区	344	4.7	20.3	25.6	46.8	2.6
	山之上小学校区	73	1.4	17.8	17.8	61.6	1.4
	蜂屋小学校区	139	0.7	15.8	23.0	59.7	0.7
	加茂野小学校区	200	1.0	15.0	27.5	55.5	1.0
	伊深小学校区	45	－	11.1	26.7	60.0	2.2
	三和小学校区	21	－	19.0	33.3	47.6	－
	下米田小学校区	166	4.8	10.8	28.9	54.2	1.2
	山手小学校区	191	4.2	15.2	37.2	42.9	0.5
家 族 構 成	ひとり暮らし	187	1.6	16.0	17.6	62.6	2.1
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	3.5	18.6	26.5	50.7	0.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	2.9	8.7	24.6	62.3	1.4
	息子・娘との2世帯	289	2.8	15.9	29.8	50.2	1.4
	その他	282	3.2	14.5	31.9	48.2	2.1

問 90 最寄りの避難する場所やそこまでの経路を把握していますか。（1つを選択）

「避難する場所、経路ともに把握している」（49.3%）が最も高く、次いで「避難する場所のみ把握している」（31.4%）、「把握していない」（17.6%）となっています。

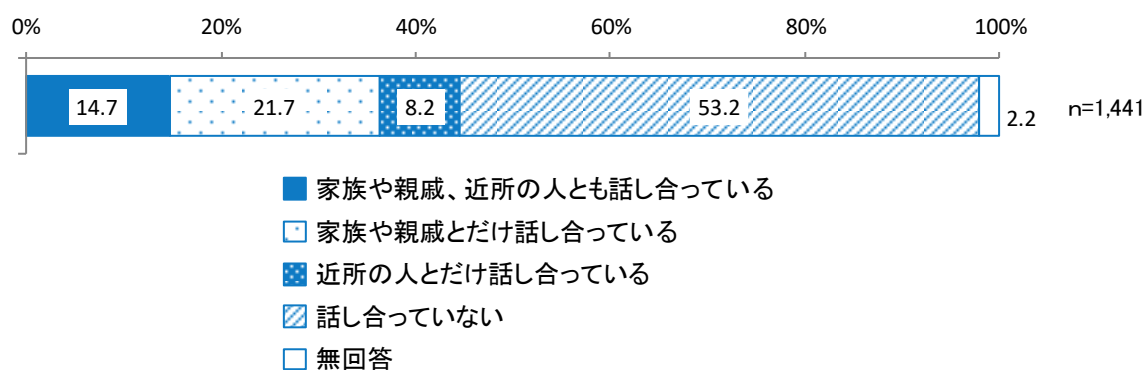


家族構成別でみると、「把握していない」はひとり暮らし（29.9%）で高くなっています。

	件数	い路避 ると難 もす にる 把場 握所 し、 て経	把避 握難 しす て る 場 所 の み	把 握 し て い な い	無 回 答
全 体	1,441	49.3	31.4	17.6	1.8
ひとり暮らし	187	37.4	28.9	29.9	3.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	54.9	30.6	13.5	1.0
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	49.3	36.2	13.0	1.4
息子・娘との2世帯	289	46.4	33.9	18.7	1.0
その他	282	47.9	31.6	18.1	2.5

問 91 家族や親戚、近所の人と災害時の安否確認や集合場所について話し合っていますか。
(1つを選択)

「話し合っていない」(53.2%)が最も高く、次いで「家族や親戚とだけ話し合っている」(21.7%)、「家族や親戚、近所の人とも話し合っている」(14.7%)、「近所の人とだけ話し合っている」(8.2%)となっています。



家族構成別でみると、「話し合っていない」はひとり暮らし(58.8%)でやや高くなっています。

	件数	家族や親戚、近所の人とも話し合っている	家族や親戚とだけ話し合っている	近所の人とだけ話し合っている	話し合っていない	無回答
全 体	1,441	14.7	21.7	8.2	53.2	2.2
ひとり暮らし	187	13.9	8.6	15.0	58.8	3.7
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	592	15.4	23.6	9.1	51.0	0.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	69	17.4	15.9	10.1	55.1	1.4
息子・娘との2世帯	289	17.3	22.1	5.2	53.6	1.7
その他	282	10.6	27.7	5.0	53.2	3.5

その他、介護保険や保健・福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険や保健・福祉サービスについて、下記のような内容で、129 件のご意見・ご要望をいただきました。

	内 容	件数
1	施設福祉サービスについて	6
2	情報提供、相談、啓発等について	12
3	介護保険制度について	10
4	移動、交通について	10
5	健康、介護予防等について	3
6	保健、医療について	3
7	各種割引、税制優遇等について	10
8	在宅福祉サービスについて	3
9	地域活動、ボランティア等について	3
10	福祉行政全般について	8
11	自身の現状、将来の不安等	35
12	アンケートに関する事	13
13	その他	13
合 計		129

2 生活機能評価等に関する分析

(1) 機能別リスク該当者割合の分析

①運動器

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を「運動器のリスク該当者」と判定しました。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問7	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問8	過去1年間に転倒した経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

全体平均では、運動器の機能低下該当者は11.6%となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高いほど概ね該当者の割合が高くなっています。

地区別でみると、該当者は最も高い三和小学校区で14.3%、最も低い下米田小学校区で7.8%となっています。

		件 数	目 該 以 当 上 (3 項	非 該 当	無 回 答
全 体		1,441	11.6	88.3	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	1.3	98.7	－
	男性・70～74歳	216	5.6	94.4	－
	男性・75～79歳	162	8.0	92.0	－
	男性・80～84歳	84	21.4	78.6	－
	男性・85～89歳	51	15.7	84.3	－
	男性・90歳以上	13	46.2	53.8	－
	女性・65～69歳	186	7.0	93.0	－
	女性・70～74歳	190	7.9	92.1	－
	女性・75～79歳	164	11.0	89.0	－
	女性・80～84歳	123	22.0	78.0	－
	女性・85～89歳	67	37.3	62.7	－
	女性・90歳以上	25	40.0	60.0	－
地 区	太田小学校区	261	12.6	87.4	－
	古井小学校区	344	13.1	86.9	－
	山之上小学校区	73	9.6	90.4	－
	蜂屋小学校区	139	10.1	89.9	－
	加茂野小学校区	200	11.0	89.0	－
	伊深小学校区	45	11.1	88.9	－
	三和小学校区	21	14.3	85.7	－
	下米田小学校区	166	7.8	92.2	－
	山手小学校区	191	13.1	86.9	－

②閉じこもり

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を「閉じこもりのリスク該当者」と判定しました。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 10	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

全体平均では、閉じこもりのリスク該当者は15.5%となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高いほど概ね該当者の割合が高くなっています。

地区別でみると、該当者は最も高い山之上小学校区で27.4%、最も低い山手小学校区で11.5%となっています。

		件数	目該 以当 上(― 1項	非 該 当	無 回 答
全 体		1,441	15.5	84.4	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	8.2	91.8	－
	男性・70～74歳	216	12.0	88.0	－
	男性・75～79歳	162	9.9	90.1	－
	男性・80～84歳	84	15.5	84.5	－
	男性・85～89歳	51	27.5	72.5	－
	男性・90歳以上	13	38.5	61.5	－
	女性・65～69歳	186	5.9	94.1	－
	女性・70～74歳	190	12.6	87.4	－
	女性・75～79歳	164	13.4	86.6	－
	女性・80～84歳	123	28.5	71.5	－
	女性・85～89歳	67	49.3	50.7	－
	女性・90歳以上	25	48.0	52.0	－
地 区	太田小学校区	261	13.8	86.2	－
	古井小学校区	344	13.7	86.3	－
	山之上小学校区	73	27.4	72.6	－
	蜂屋小学校区	139	20.9	79.1	－
	加茂野小学校区	200	17.0	83.0	－
	伊深小学校区	45	17.8	82.2	－
	三和小学校区	21	14.3	85.7	－
	下米田小学校区	166	15.1	84.9	－
	山手小学校区	191	11.5	88.5	－

③転倒

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を「転倒のリスク該当者」と判定しました。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 8	過去 1 年間に転倒した経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1 度ある

【リスク該当状況】

全体平均では、転倒のリスク該当者は 24.8% となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高いほど概ね該当者の割合が高くなっています。

地区別でみると、該当者は最も高い三和小学校区で 33.3%、最も低い加茂野小学校区で 19.5% となっています。

		件数	目該 以当 上へ 1 項	非 該 当	無 回 答
全 体		1,441	24.8	75.1	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	15.1	84.9	－
	男性・70～74歳	216	21.3	78.7	－
	男性・75～79歳	162	24.1	75.9	－
	男性・80～84歳	84	36.9	63.1	－
	男性・85～89歳	51	33.3	66.7	－
	男性・90歳以上	13	46.2	53.8	－
	女性・65～69歳	186	22.0	78.0	－
	女性・70～74歳	190	15.8	84.2	－
	女性・75～79歳	164	25.6	74.4	－
	女性・80～84歳	123	34.1	65.9	－
	女性・85～89歳	67	43.3	56.7	－
	女性・90歳以上	25	44.0	56.0	－
地 区	太田小学校区	261	26.1	73.9	－
	古井小学校区	344	26.7	73.3	－
	山之上小学校区	73	31.5	68.5	－
	蜂屋小学校区	139	23.7	76.3	－
	加茂野小学校区	200	19.5	80.5	－
	伊深小学校区	45	22.2	77.8	－
	三和小学校区	21	33.3	66.7	－
	下米田小学校区	166	26.5	73.5	－
	山手小学校区	191	22.0	78.0	－

④栄養

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を「栄養のリスク該当者」と判定しました。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 14	身長・体重をご記入ください。	B M I =18.5 未満
問 21	6か月間で2～3 kg 以上の体重減少がありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では、栄養のリスク該当者は0.9%となっています。

性・年齢別でみると、男性では大きな差はみられませんが、女性・90歳以上では該当者が8.0%とやや高くなっています。

地区別でみると、該当者は最も高い山手小学校区で2.1%、最も低い伊深小学校区・三和小学校区で0%となっています。

		件 数	目 該 以 当 上 (2 項	非 該 当	無 回 答
全 体		1,441	0.9	99.0	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	0.6	99.4	－
	男性・70～74歳	216	0.9	99.1	－
	男性・75～79歳	162	1.2	98.8	－
	男性・80～84歳	84	－	100.0	－
	男性・85～89歳	51	2.0	98.0	－
	男性・90歳以上	13	－	100.0	－
	女性・65～69歳	186	0.5	99.5	－
	女性・70～74歳	190	0.5	99.5	－
	女性・75～79歳	164	－	100.0	－
	女性・80～84歳	123	1.6	98.4	－
	女性・85～89歳	67	1.5	98.5	－
	女性・90歳以上	25	8.0	92.0	－
地 区	太田小学校区	261	0.4	99.6	－
	古井小学校区	344	0.9	99.1	－
	山之上小学校区	73	1.4	98.6	－
	蜂屋小学校区	139	0.7	99.3	－
	加茂野小学校区	200	1.0	99.0	－
	伊深小学校区	45	－	100.0	－
	三和小学校区	21	－	100.0	－
	下米田小学校区	166	0.6	99.4	－
	山手小学校区	191	2.1	97.9	－

⑤口腔

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を「口腔のリスク該当者」と判定しました。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 16	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 17	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では、口腔のリスク該当者は 22.7% となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高いほど概ね該当者の割合が高くなっています。

地区別でみると、該当者は最も高い山之上小学校区で 30.1%、最も低い太田小学校区・古井小学校区・加茂野小学校区でいずれも 21.5% となっています。

		件 数	目該 以 上 （ 2 項	非 該 当	無 回 答
全 体		1,441	22.7	77.2	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	15.7	84.3	-
	男性・70～74歳	216	24.1	75.9	-
	男性・75～79歳	162	22.2	77.8	-
	男性・80～84歳	84	29.8	70.2	-
	男性・85～89歳	51	45.1	54.9	-
	男性・90歳以上	13	38.5	61.5	-
	女性・65～69歳	186	11.3	88.7	-
	女性・70～74歳	190	19.5	80.5	-
	女性・75～79歳	164	22.6	77.4	-
	女性・80～84歳	123	30.1	69.9	-
	女性・85～89歳	67	26.9	73.1	-
	女性・90歳以上	25	44.0	56.0	-
地 区	太田小学校区	261	21.5	78.5	-
	古井小学校区	344	21.5	78.5	-
	山之上小学校区	73	30.1	69.9	-
	蜂屋小学校区	139	22.3	77.7	-
	加茂野小学校区	200	21.5	78.5	-
	伊深小学校区	45	22.2	77.8	-
	三和小学校区	21	23.8	76.2	-
	下米田小学校区	166	24.7	75.3	-
	山手小学校区	191	23.6	76.4	-

⑥認知

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を「認知のリスク該当者」と判定しました。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 23	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では、認知のリスク該当者は 42.8% となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高いほど概ね該当者の割合が高く、特に男性・90 歳以上（84.6%）では8割以上と高くなっています。

地区別でみると、該当者は最も高い三和小学校区で 52.4%、最も低い山手小学校区で 39.3%となっています。

		件数	目該 以当 上（ 1 項	非 該 当	無 回 答
全 体		1,441	42.8	57.1	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	35.2	64.8	－
	男性・70～74歳	216	44.4	55.6	－
	男性・75～79歳	162	35.2	64.8	－
	男性・80～84歳	84	40.5	59.5	－
	男性・85～89歳	51	56.9	43.1	－
	男性・90歳以上	13	84.6	15.4	－
	女性・65～69歳	186	36.6	63.4	－
	女性・70～74歳	190	41.6	58.4	－
	女性・75～79歳	164	44.5	55.5	－
	女性・80～84歳	123	48.8	51.2	－
	女性・85～89歳	67	59.7	40.3	－
	女性・90歳以上	25	56.0	44.0	－
地 区	太田小学校区	261	39.5	60.5	－
	古井小学校区	344	47.7	52.3	－
	山之上小学校区	73	46.6	53.4	－
	蜂屋小学校区	139	40.3	59.7	－
	加茂野小学校区	200	42.0	58.0	－
	伊深小学校区	45	42.2	57.8	－
	三和小学校区	21	52.4	47.6	－
	下米田小学校区	166	42.8	57.2	－
	山手小学校区	191	39.3	60.7	－

⑦うつ

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人を「うつのリスク該当者」と判定しました。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 54	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 55	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

全体平均では、うつのリスク該当者は 40.9% となっています。

性・年齢別でみると、該当者は男性では 90 歳以上で最も高く、女性では 65～69 歳（44.1%）が 90 歳以上（44.0%）とほぼ同率で最も高くなっています。

地区別でみると、該当者は最も高い蜂屋小学校区で 46.8%、最も低い三和小学校区で 23.8% となっており、地区の差の幅が 20 ポイント以上となっています。

		件数	目該 以 上 （ 1 項	非 該 当	無 回 答
全 体		1,441	40.9	59.0	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	44.0	56.0	－
	男性・70～74歳	216	39.4	60.6	－
	男性・75～79歳	162	38.9	61.1	－
	男性・80～84歳	84	35.7	64.3	－
	男性・85～89歳	51	51.0	49.0	－
	男性・90歳以上	13	53.8	46.2	－
	女性・65～69歳	186	44.1	55.9	－
	女性・70～74歳	190	40.0	60.0	－
	女性・75～79歳	164	40.9	59.1	－
	女性・80～84歳	123	43.1	56.9	－
	女性・85～89歳	67	29.9	70.1	－
	女性・90歳以上	25	44.0	56.0	－
地 区	太田小学校区	261	36.4	63.6	－
	古井小学校区	344	41.0	59.0	－
	山之上小学校区	73	34.2	65.8	－
	蜂屋小学校区	139	46.8	53.2	－
	加茂野小学校区	200	46.0	54.0	－
	伊深小学校区	45	35.6	64.4	－
	三和小学校区	21	23.8	76.2	－
	下米田小学校区	166	42.8	57.2	－
	山手小学校区	191	41.9	58.1	－

(2) 日常生活

①手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を「手段的自立度の低下者」とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 26	バスや電車を使って1人で外出していますか。	(各問共通) 1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問 27	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	
問 28	自分で食事の用意をしていますか。	
問 29	自分で請求書の支払いをしていますか。	
問 30	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

【該当状況】

全体平均では、手段的自立度の低下者は13.5%となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が高いほど概ね低下者の割合が高くなっています。

地区別でみると、低下者は最も高い山之上小学校区で16.4%、最も低い蜂屋小学校区で10.8%となっています。

		件 数	点 低 下 者 (4	(5 該 点 当)	無 回 答
全 体		1,441	13.5	86.5	0.1
性・年 齡	男性・65～69歳	159	17.6	82.4	-
	男性・70～74歳	216	15.7	84.3	-
	男性・75～79歳	162	21.6	78.4	-
	男性・80～84歳	84	15.5	84.5	-
	男性・85～89歳	51	21.6	78.4	-
	男性・90歳以上	13	23.1	76.9	-
	女性・65～69歳	186	3.2	96.8	-
	女性・70～74歳	190	4.7	95.3	-
	女性・75～79歳	164	4.9	95.1	-
	女性・80～84歳	123	16.3	83.7	-
	女性・85～89歳	67	26.9	73.1	-
	女性・90歳以上	25	36.0	64.0	-
地 区	太田小学校区	261	14.9	85.1	-
	古井小学校区	344	13.4	86.6	-
	山之上小学校区	73	16.4	83.6	-
	蜂屋小学校区	139	10.8	89.2	-
	加茂野小学校区	200	11.0	89.0	-
	伊深小学校区	45	11.1	88.9	-
	三和小学校区	21	14.3	85.7	-
	下米田小学校区	166	16.3	83.7	-
	山手小学校区	191	13.1	86.9	-

(3) 社会参加

①知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を「知的能動性の低下者」とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 31	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）は自分で書いていますか。	(各問共通) 1. はい：1点
問 32	新聞を読んでいますか。	
問 33	本や雑誌を読んでいますか。	
問 34	健康についての記事や番組に関心がありますか。	

【該当状況】

全体平均では、知的能動性の低下者は 42.1% となっています。

性・年齢別でみると、男性では 70～74 歳（53.2%）で、女性では 90 歳以上（64.0%）で低下者の割合がそれぞれ最も高くなっています。

地区別でみると、低下者は最も高い蜂屋小学校区で 48.2%、最も低い山手小学校区で 37.7% となっています。

		件 数	点 低 下 者 (3	(非 該 点 当)	無 回 答
全 体		1,441	42.1	57.9	0.1
性・年 齡	男性・65～69歳	159	46.5	53.5	－
	男性・70～74歳	216	53.2	46.8	－
	男性・75～79歳	162	51.9	48.1	－
	男性・80～84歳	84	41.7	58.3	－
	男性・85～89歳	51	37.3	62.7	－
	男性・90歳以上	13	30.8	69.2	－
	女性・65～69歳	186	32.3	67.7	－
	女性・70～74歳	190	36.3	63.7	－
	女性・75～79歳	164	31.7	68.3	－
	女性・80～84歳	123	36.6	63.4	－
	女性・85～89歳	67	49.3	50.7	－
	女性・90歳以上	25	64.0	36.0	－
地 区	太田小学校区	261	42.5	57.5	－
	古井小学校区	344	38.1	61.9	－
	山之上小学校区	73	46.6	53.4	－
	蜂屋小学校区	139	48.2	51.8	－
	加茂野小学校区	200	44.5	55.5	－
	伊深小学校区	45	46.7	53.3	－
	三和小小学校区	21	38.1	61.9	－
	下米田小学校区	166	44.0	56.0	－
	山手小学校区	191	37.7	62.3	－

②社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を「社会的役割の低下者」とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設 問	該当する選択肢
問 35	友人の家を訪ねていますか。	(各問共通) 1. はい：1点
問 36	家族や友人の相談にのっていますか。	
問 37	病人を見舞うことができますか。	
問 38	若い人に自分から話しかけることがありますか。	

【該当状況】

全体平均では、社会的役割の低下者は 60.5% となっています。

性・年齢別でみると、男性では 85～89 歳（72.5%）で、女性では 90 歳以上（92.0%）で低下者の割合がそれぞれ最も高くなっています。

地区別でみると、低下者は最も高い蜂屋小学校区で 64.0%、最も低い三和小学校区で 42.9% となっており、地区の差の幅が 20 ポイント以上となっています。

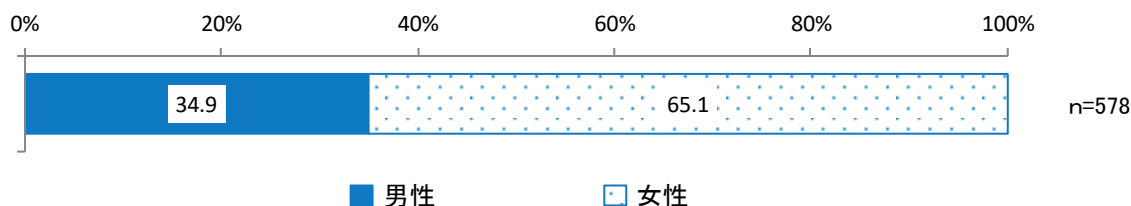
		件 数	点 低 下 者 （ 3	（ 非 該 当 点 ） （ 4	無 回 答
全 体		1,441	60.5	39.4	0.1
性・ 年 齢	男性・65～69歳	159	71.1	28.9	－
	男性・70～74歳	216	63.0	37.0	－
	男性・75～79歳	162	58.0	42.0	－
	男性・80～84歳	84	54.8	45.2	－
	男性・85～89歳	51	72.5	27.5	－
	男性・90歳以上	13	53.8	46.2	－
	女性・65～69歳	186	55.4	44.6	－
	女性・70～74歳	190	59.5	40.5	－
	女性・75～79歳	164	53.7	46.3	－
	女性・80～84歳	123	59.3	40.7	－
	女性・85～89歳	67	58.2	41.8	－
	女性・90歳以上	25	92.0	8.0	－
地 区	太田小学校区	261	59.8	40.2	－
	古井小学校区	344	62.5	37.5	－
	山之上小学校区	73	61.6	38.4	－
	蜂屋小学校区	139	64.0	36.0	－
	加茂野小学校区	200	61.0	39.0	－
	伊深小学校区	45	48.9	51.1	－
	三和小小学校区	21	42.9	57.1	－
	下米田小学校区	166	61.4	38.6	－
	山手小学校区	191	58.6	41.4	－

3 在宅介護実態調査

(1) 調査対象者について

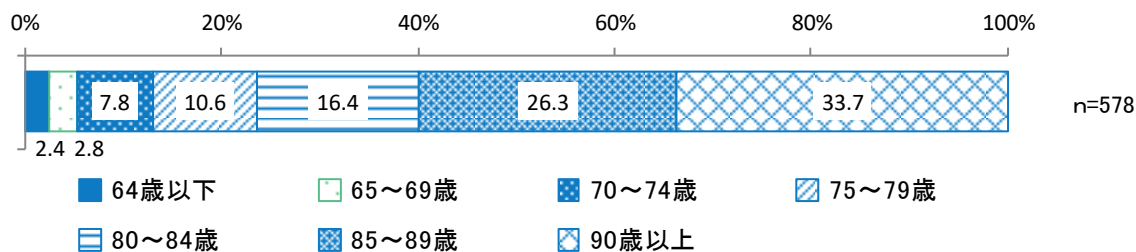
調査対象者の性別（被保険者データより）

「男性」が 34.9%、「女性」が 65.1%となっています。



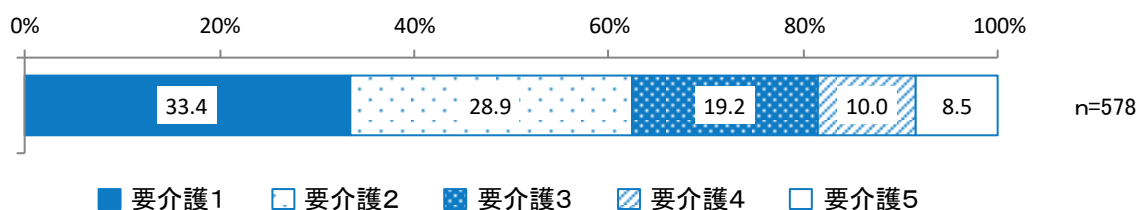
調査対象者の年齢（被保険者データより）

「90 歳以上」(33.7%) が最も高く、次いで「85～89 歳」(26.3%)、「80～84 歳」(16.4%) となっています。後期高齢者（75 歳以上）は 87.0%、前期高齢者（65～74 歳）は 10.6%となっています。



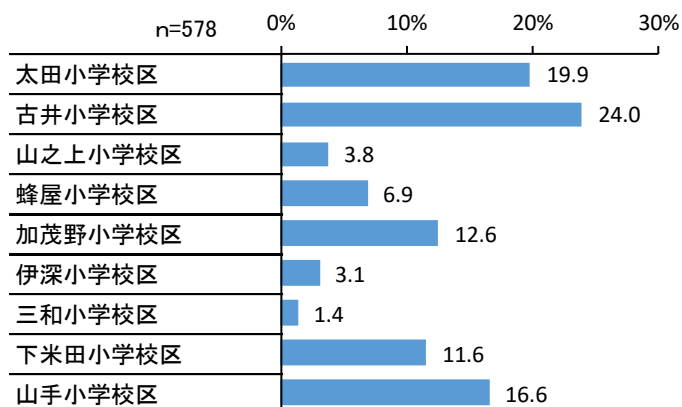
調査対象者の要介護度（被保険者データより）

「要介護 1」(33.4%) が最も高く、次いで「要介護 2」(28.9%)、「要介護 3」(19.2%) となっています。軽度者（要介護 1・2）は 62.3%、中重度者（要介護 3～5）は 37.7%となっています。



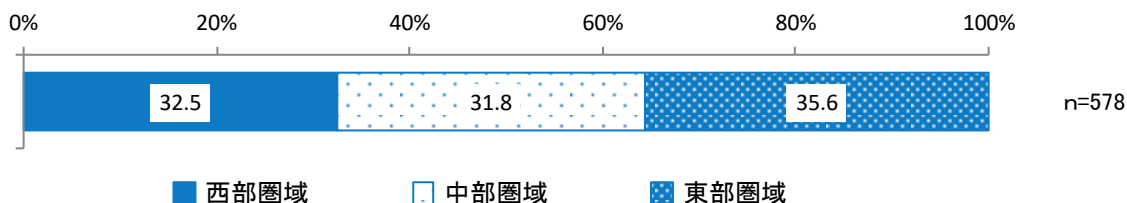
調査対象者の居住地区（小学校区）（被保険者データより）

「古井小学校区」（24.0％）が最も高く、「三和小学校区」（1.4％）が最も低くなっています。



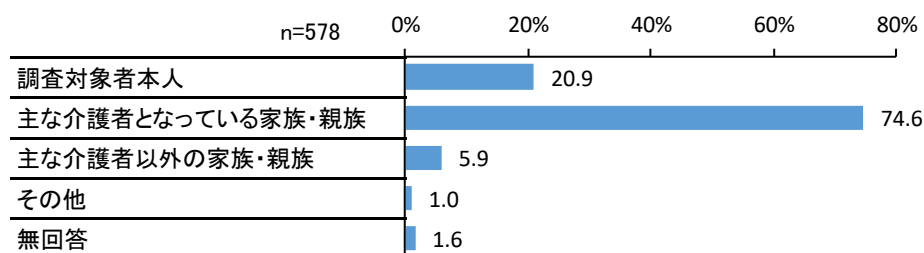
調査対象者の日常生活圏域（長寿支援センター管轄）（被保険者データより）

「西部圏域」が32.5％、「中部圏域」が31.8％、「東部圏域」が35.6％となっています。



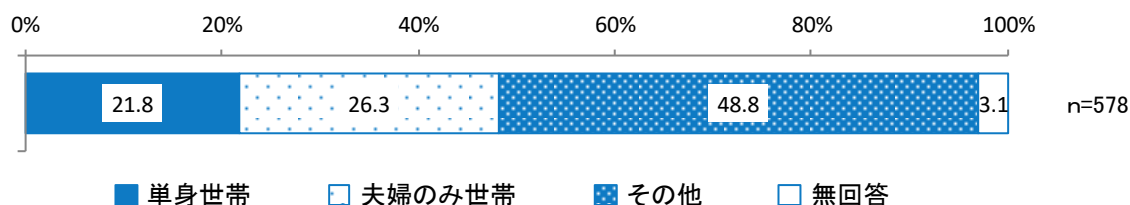
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。（複数回答可）

「調査対象者本人」が20.9％、「主な介護者となっている家族・親族」が74.6％となっています。



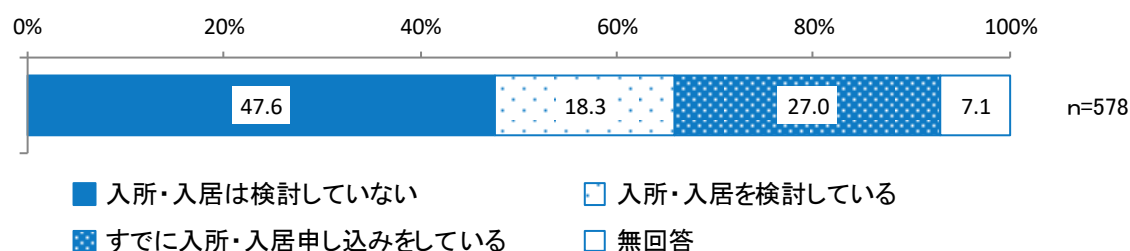
問2 世帯類型について、ご回答ください。（1つを選択）

「その他」（48.8％）が最も高く、次いで「夫婦のみ世帯」（26.3％）、「単身世帯」（21.8％）となっています。



問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。（1つを選択）

「入所・入居は検討していない」（47.6％）が最も高く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」（27.0％）、「入所・入居を検討している」（18.3％）となっています。



世帯類型・要介護度別でみると、単身世帯の要介護3～5では「すでに入所・入居申し込みをしている」（60.9％）が最も高く、いずれの世帯においても要介護度が高い方が「すでに入所・入居申し込みをしている」が高くなっています。

		件数	入所・入居を検討していない (%)	入所・入居を検討している (%)	すでに入所・入居申し込みをしている (%)	無回答 (%)
全 体		578	47.6	18.3	27.0	7.1
単身世帯	要介護1・2	80	41.3	21.3	32.5	5.0
	要介護3～5	46	15.2	19.6	60.9	4.3
夫婦のみ世帯	要介護1・2	85	57.6	15.3	16.5	10.6
	要介護3～5	67	47.8	19.4	31.3	1.5
その他	要介護1・2	184	56.0	22.3	15.2	6.5
	要介護3～5	98	49.0	13.3	34.7	3.1

サービス利用の組み合わせ（問５－１より）別でみると、訪問系のみの利用者で「入所・入居は検討していない」（66.0%）が高くなっています。

	件数	し入 て所 い・ ない 入居 は検 討	し入 て所 い・ る入 居を 検 討	る申 しで 込に み入 を所 し・ て入 居	無 回 答
全 体	423	51.3	20.3	21.7	6.6
訪問系のみ	47	66.0	23.4	10.6	－
訪問系と通所系	93	58.1	18.3	17.2	6.5
通所系のみ	221	56.1	21.7	13.6	8.6

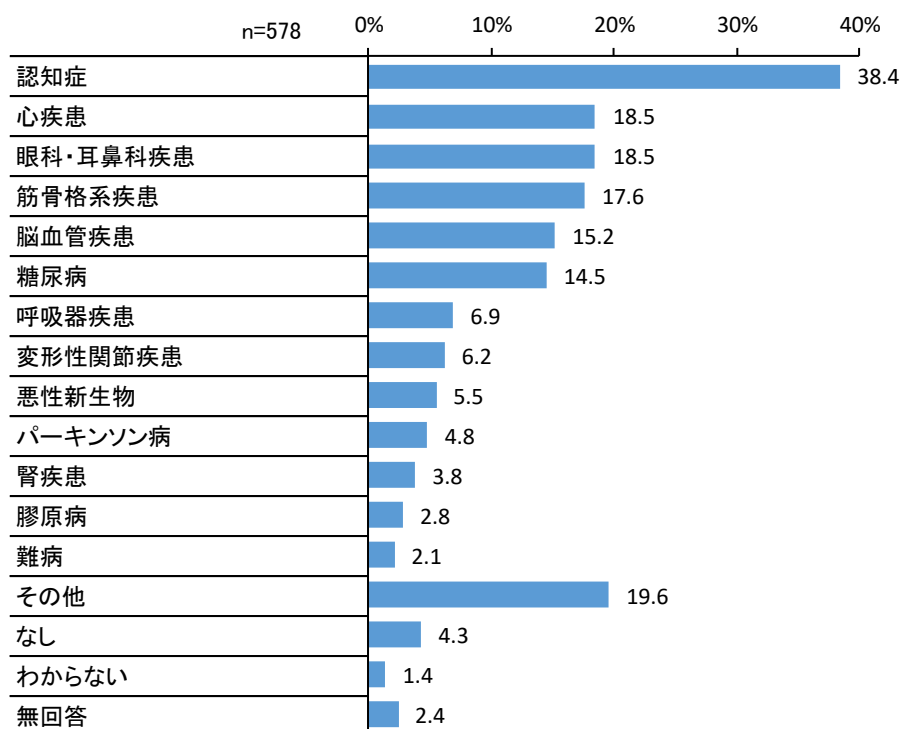
要介護３以上のみについてみると、訪問系のみの利用者で「すでに入所・入居申し込みをしている」（25.0%）がやや高くなっています。

要介護3以上

	件数	し入 て所 い・ ない 入居 は検 討	し入 て所 い・ る入 居を 検 討	る申 しで 込に み入 を所 し・ て入 居	無 回 答
全 体	154	46.8	18.8	32.5	1.9
訪問系のみ	20	60.0	15.0	25.0	－
訪問系と通所系	40	60.0	17.5	17.5	5.0
通所系のみ	58	55.2	24.1	19.0	1.7

問4 調査対象者ご本人が、現在抱えている傷病はありますか。(複数選択可)

「認知症」(38.4%)が最も高く、次いで「心疾患(心臓病)」「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」「ともに18.5%)」「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」「(17.6%)」「脳血管疾患(脳卒中)」「(15.2%)」となっています。

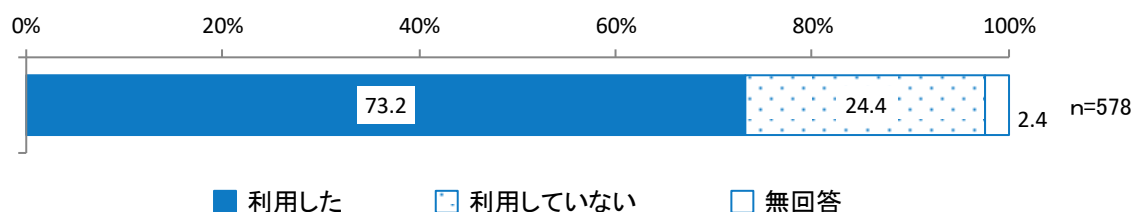


要介護度別でみると、要介護3～5では「脳血管疾患」(22.0%)が「認知症」に次いで高くなっています。

	件数	認知症	心疾患	眼科・耳鼻科疾患	筋骨格系疾患	脳血管疾患	糖尿病	呼吸器疾患	変形性関節疾患	悪性新生物	パーキンソン病	腎疾患	膠原病	難病(パーキンソンを除く)	その他	なし	わからない	無回答
全体	578	38.4	18.5	18.5	17.6	15.2	14.5	6.9	6.2	5.5	4.8	3.8	2.8	2.1	19.6	4.3	1.4	2.4
要介護1・2	360	37.8	19.2	20.8	18.3	11.1	14.2	6.1	6.1	5.8	4.4	3.9	2.5	1.9	18.9	4.7	1.1	2.2
要介護3～5	218	39.4	17.4	14.7	16.5	22.0	15.1	8.3	6.4	5.0	5.5	3.7	3.2	2.3	20.6	3.7	1.8	2.8

問5 令和4年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（1つを選択）

「利用した」が73.2%、「利用していない」が24.4%となっています。



問5で「1. 利用した」と回答した方におうかがいします。

問5-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。（それぞれ1つに○）。

介護保険サービスの利用状況については、『利用した』（利用回数・日数のある選択肢の回答率の合計）が最も高いのは「通所介護」で55.5%となっています。次いで「通所リハビリテーション」（28.8%）、「ショートステイ」（21.5%）、「訪問看護」（14.4%）となっています。

サービスの利用頻度は、訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリテーションは「週1回程度」、通所リハビリテーションは「週2回程度」、通所介護は「週3回程度」、夜間対応型訪問介護は「週5回以上」、ショートステイは「月1～7日程度」、居宅療養管理指導は「月1回程度」がそれぞれ最も高くなっています。

(%)

	件 数	利用して いない	利用した						無回答
				週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	
訪問介護	423	44.2	12.0	3.3	2.6	2.8	0.5	2.8	43.7
訪問入浴介護	423	48.2	7.1	3.8	2.4	0.7	0.2	—	44.7
訪問看護	423	43.7	14.4	9.9	2.6	0.7	0.5	0.7	41.8
訪問リハビリテーション	423	44.2	13.0	7.8	4.0	1.2	—	—	42.8
通所介護	423	22.7	55.5	9.9	14.2	18.4	7.6	5.4	21.7
通所リハビリテーション	423	35.0	28.8	7.8	9.7	7.3	2.6	1.4	36.2
夜間対応型訪問介護	423	52.5	0.7	0.2	—	—	—	0.5	46.8

	件 数	利用して いない	利用した	無回答
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	423	67.4	6.4	26.2
小規模多機能型居宅介護	423	67.8	4.0	28.1
看護小規模多機能型居宅 介護	423	68.3	1.9	29.8

	件 数	利用して いない	利用した					無回答
				月1～7日 程度	月8～14日 程度	月15～21日 程度	月22日以上	
ショートステイ	423	63.1	21.5	11.8	2.8	1.9	5.0	15.4

	件 数	利用して いない	利用した					無回答
				月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	
居宅療養管理指導	423	71.2	6.9	4.3	1.7	0.2	0.7	22.0

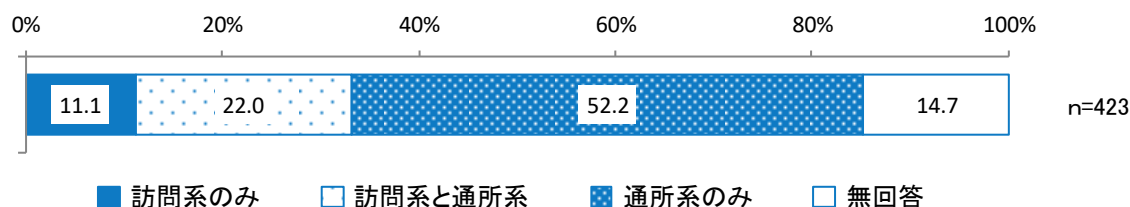
ショートステイの1か月あたりの利用日数を要介護度別でみると、要介護3～5では「月22日以上」（11.7%）が高くなっています。

	件 数	い 利 用 し て い な い	度 月 1 ～ 7 日 程	程 月 8 ～ 1 4 日	日 月 1 ～ 5 日 程	月 2 2 日 以 上	無 回 答
全 体	423	63.1	11.8	2.8	1.9	5.0	15.4
要介護1・2	269	65.8	11.5	3.0	1.9	1.1	16.7
要介護3～5	154	58.4	12.3	2.6	1.9	11.7	13.0

サービスを「訪問系※¹」と「通所系※²」に分け、その利用の組み合わせをみると、「通所系のみ」(52.2%)が最も高く、次いで「訪問系と通所系」(22.0%)、「訪問系のみ」(11.1%)となっています。

※1：訪問介護、訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、夜間対応型訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護

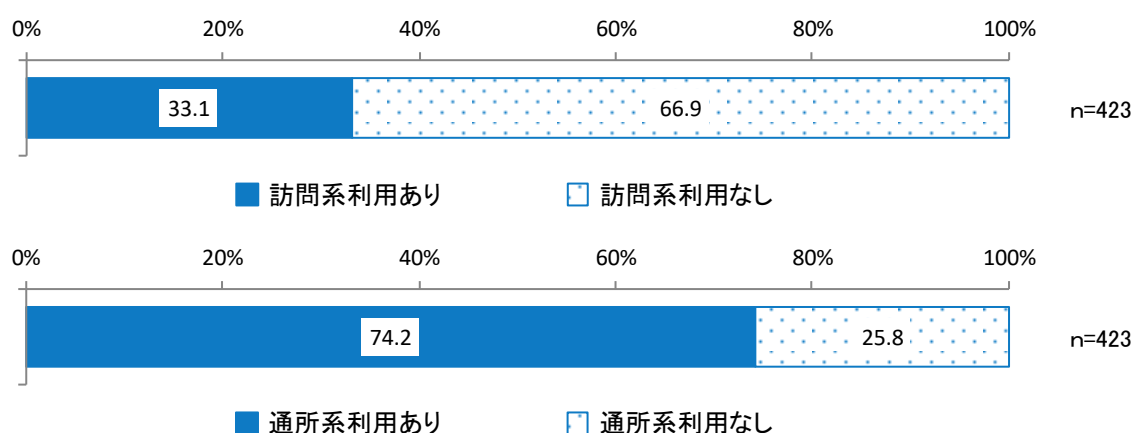
※2：通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）



世帯類型・要介護度別でみると、単身世帯の要介護1・2及び夫婦のみ世帯の要介護3～5では「訪問系と通所系」が最も高くなっています。いずれの世帯においても要介護度が低い方が「通所系のみ」の割合が高くなっています。

		件数	訪問系のみ	訪問系と通所系	通所系のみ	無回答
全 体		423	11.1	22.0	52.2	14.7
単身世帯	要介護1・2	56	12.5	39.3	37.5	10.7
	要介護3～5	24	12.5	16.7	29.2	41.7
夫婦のみ世帯	要介護1・2	61	14.8	24.6	50.8	9.8
	要介護3～5	46	10.9	37.0	37.0	15.2
その他	要介護1・2	145	7.6	9.7	73.1	9.7
	要介護3～5	81	14.8	22.2	40.7	22.2

訪問系サービスの利用については、「訪問系利用あり」が 33.1%となっています。また、通所系サービスの利用については、「通所系利用あり」が 74.2%となっています。



訪問系・通所系サービスのそれぞれの利用の有無を訪問診療の利用（問8）別でみると、訪問診療を利用している人の方が訪問系サービスの利用度は高く、通所系サービスの利用度は低くなっています。

	件数	あり訪問系利用	なし訪問系利用
全体	423	33.1	66.9
利用している	65	72.3	27.7
利用していない	350	26.3	73.7

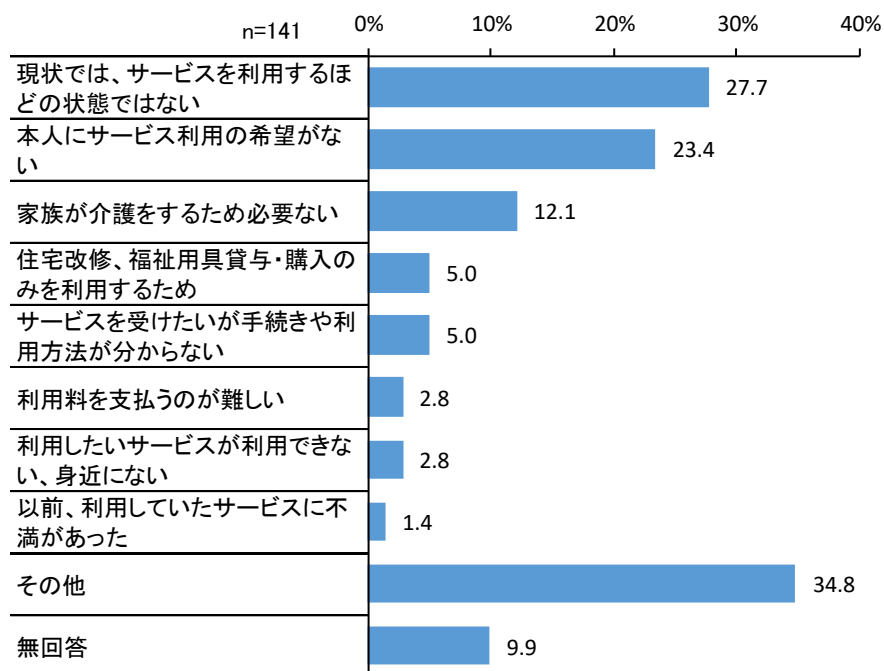
	件数	あり通所系利用	なし通所系利用
全体	423	74.2	25.8
利用している	65	56.9	43.1
利用していない	350	78.0	22.0

問5で「2. 利用していない」と回答した方におうかがいします。

問5－2 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(複数選択可)

「その他」(34.8%)を除いて「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(27.7%)が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(23.4%)、「家族が介護をするため必要ない」(12.1%)となっています。

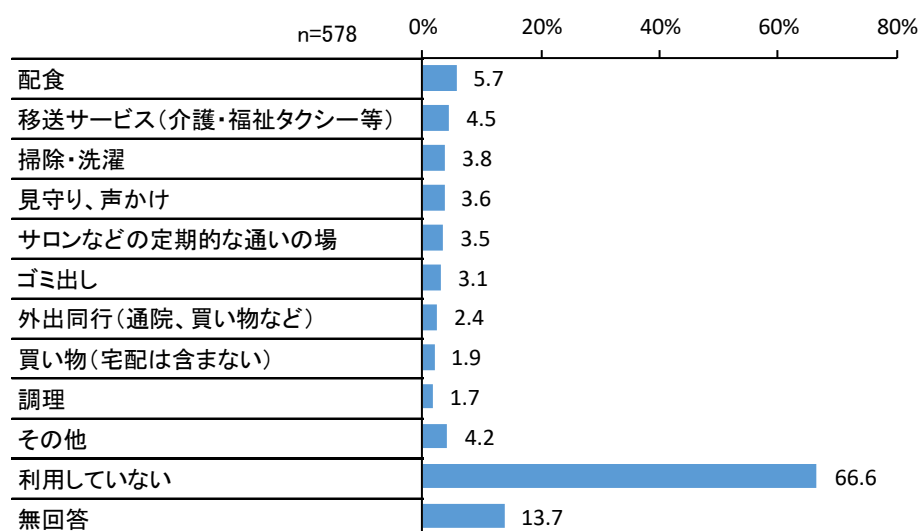
「その他」の内訳は、「入所中」「入院中」が多くなっています。



※ここから再び、全員の方におうかがいします。

問6 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数選択可）※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

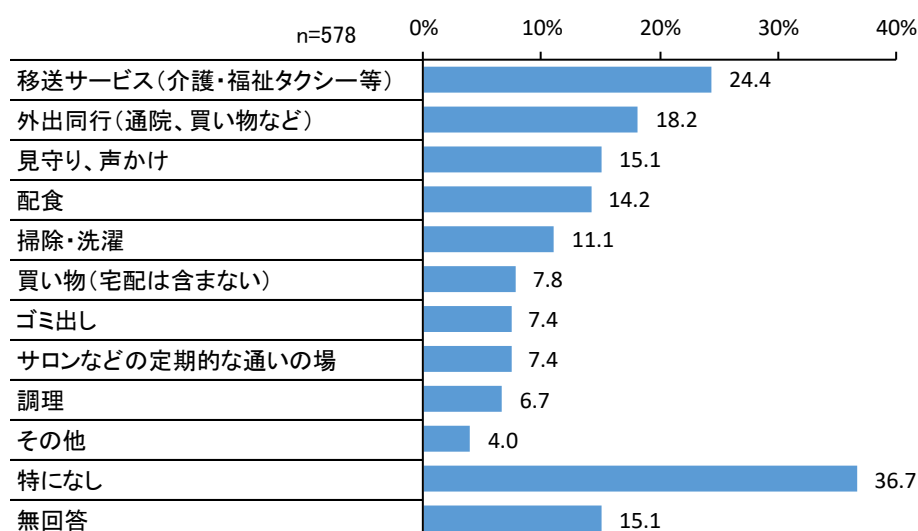
利用している支援・サービスの中では「配食」（5.7%）が最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（4.5%）、「掃除・洗濯」（3.8%）、「見守り、声かけ」（3.6%）となっています。また、「利用していない」は66.6%となっています。



問7 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（複数選択可）

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

必要と感じる支援・サービスの中では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（24.4%）が最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（18.2%）、「見守り、声かけ」（15.1%）、「配食」（14.2%）となっています。また、「特になし」は36.7%となっています。

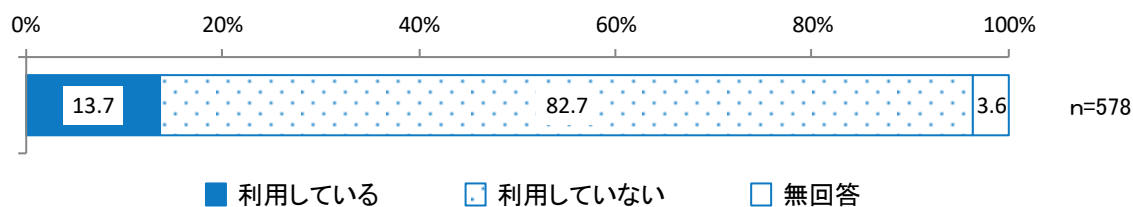


要介護度別でみると、要介護3～5では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」がやや高くなっています。

	件数	福祉タクシー等（介護・移送サービス）	外出同行（通院、買い物など）	見守り、声かけ	配食	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	通いの場	サロンなどの定期的な調理	その他	特になし	無回答
全 体	578	24.4	18.2	15.1	14.2	11.1	7.8	7.4	7.4	6.7	4.0	36.7	15.1
要介護1・2	360	22.5	21.7	17.8	15.8	12.2	9.7	8.3	8.6	7.5	2.8	36.4	13.1
要介護3～5	218	27.5	12.4	10.6	11.5	9.2	4.6	6.0	5.5	5.5	6.0	37.2	18.3

問8 調査対象者ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。（1つを選択）※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

「利用している」が13.7%、「利用していない」が82.7%となっています。

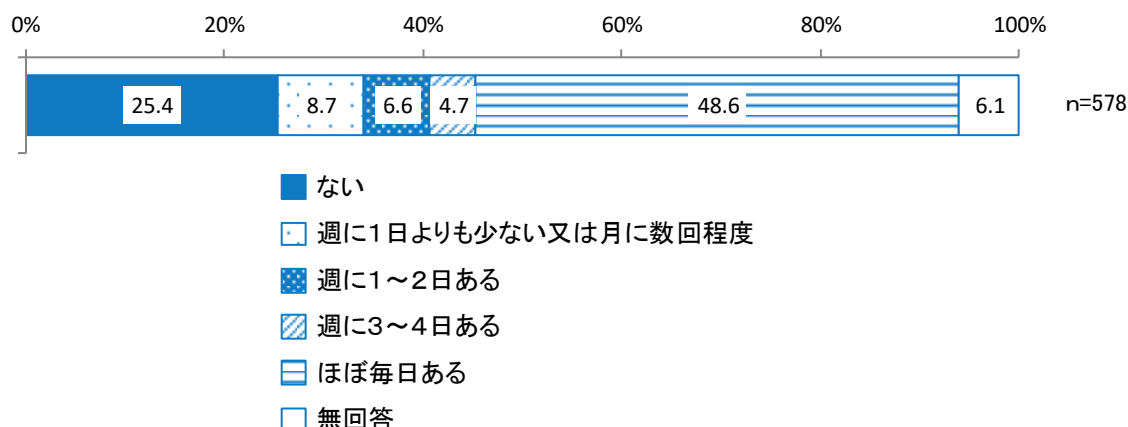


要介護度別でみると、要介護度が高いほど「利用している」の割合が高くなっています。

	件数	利用している	利用していない	無回答
全 体	578	13.7	82.7	3.6
要介護1	193	5.2	91.7	3.1
要介護2	167	11.4	85.0	3.6
要介護3	111	18.0	78.4	3.6
要介護4	58	24.1	72.4	3.4
要介護5	49	32.7	61.2	6.1

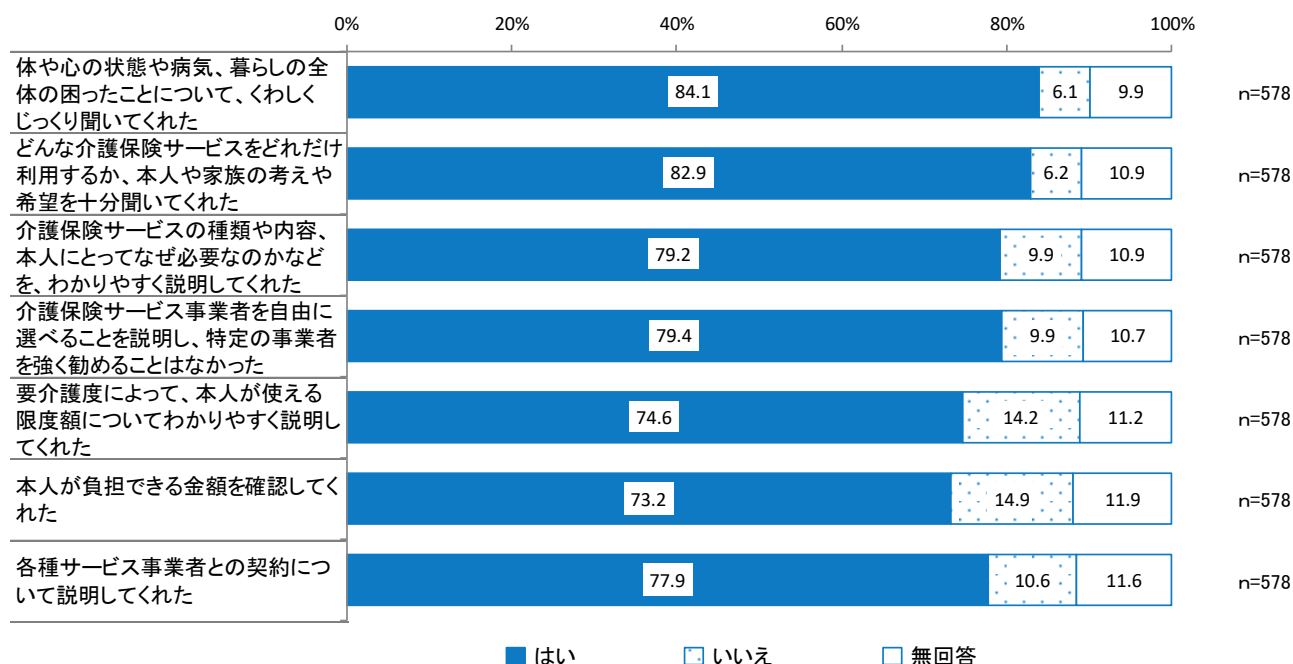
問9 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (1つを選択)

「ほぼ毎日ある」(48.6%)が最も高く、『家族等からの介護がある』(「週に1日よりも少ない又は月に数回程度」～「ほぼ毎日ある」の計)は68.6%となっています。



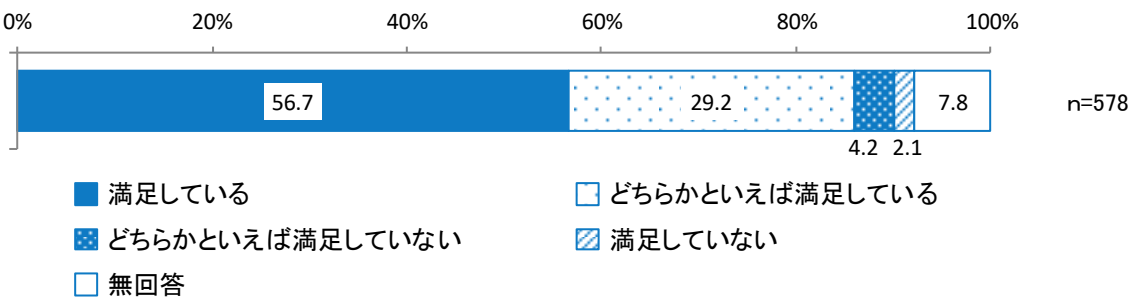
問10 介護支援専門員(ケアマネジャー)の調査対象者ご本人に対する対応についておうかがいします。(それぞれどちらかを選択)

「いいえ」は、「本人が負担できる金額を確認してくれた」(14.9%)、「要介護度によって、本人が使える限度額についてわかりやすく説明してくれた」(14.2%)、「各種サービス事業者との契約について説明してくれた」(10.6%)で10%以上となっています。



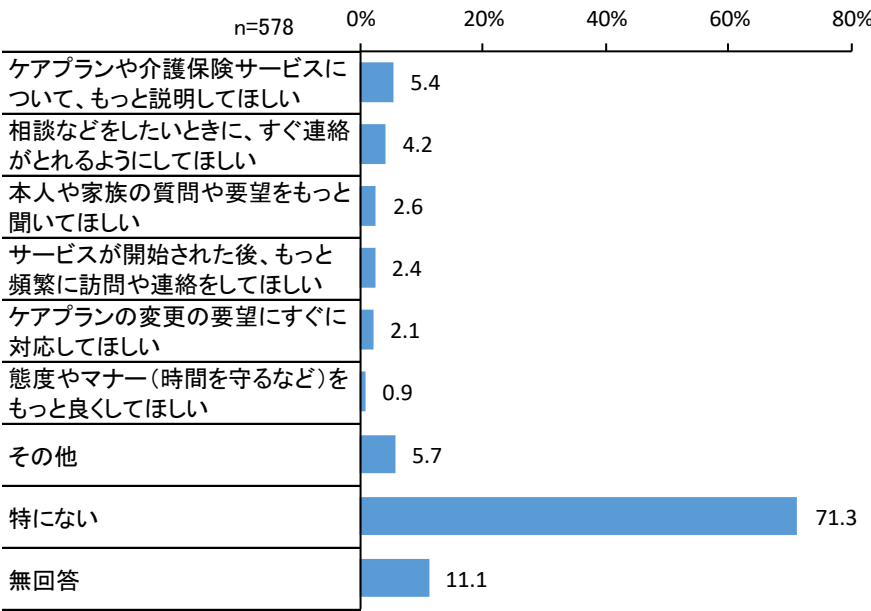
問 11 調査対象者ご本人は担当のケアマネジャーに満足していますか。(1つを選択)

「満足している」(56.7%) が最も高く、『満足している』(「満足している」「どちらかといえば満足している」の計) は 85.9%、『満足していない』(「満足していない」「どちらかといえば満足していない」の計) は 6.3%となっています。



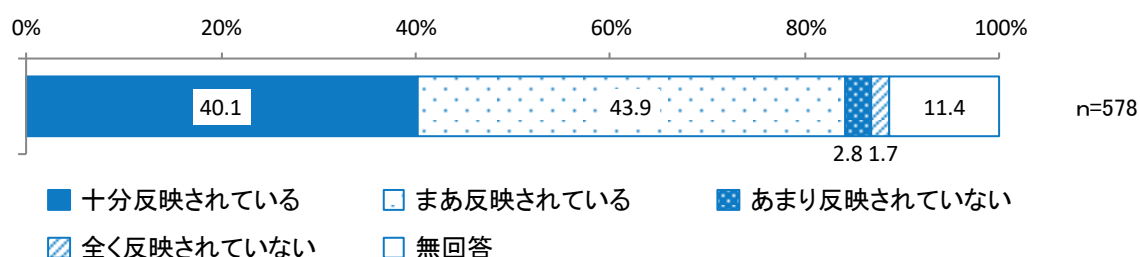
問 12 調査対象者ご本人は担当のケアマネジャーに対して要望がありますか。(複数回答可)

要望の中では「ケアプランや介護保険サービスについて、もっと説明してほしい」(5.4%) が最も高く、次いで「相談などをしたいときに、すぐ連絡がとれるようにしてほしい」(4.2%)、「本人や家族の質問や要望をもっと聞いてほしい」(2.6%) となっています。また、「特にない」は 71.3%となっています。



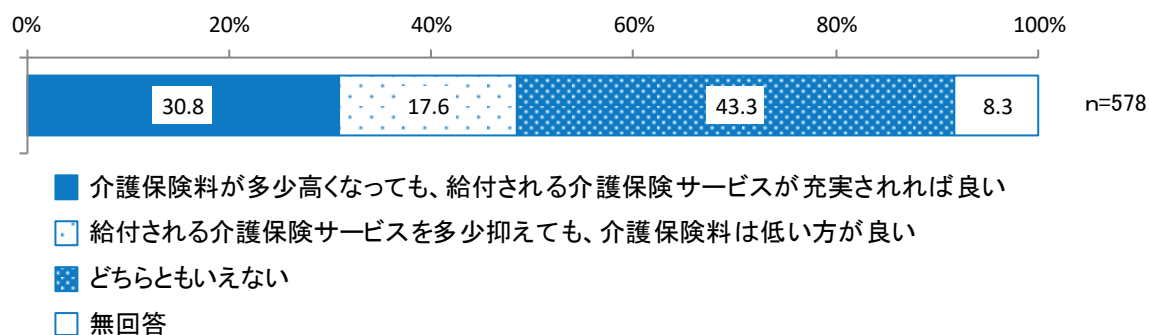
問 13 現在のケアプランは、調査対象者ご本人の意見がどの程度反映されていますか。
(1つを選択)

「まあ反映されている」(43.9%) が最も高く、『反映されている』(「十分反映されている」「まあ反映されている」の計) は 84.0%、『反映されていない』(「全く反映されていない」「あまり反映されていない」の計) は 4.5%となっています。



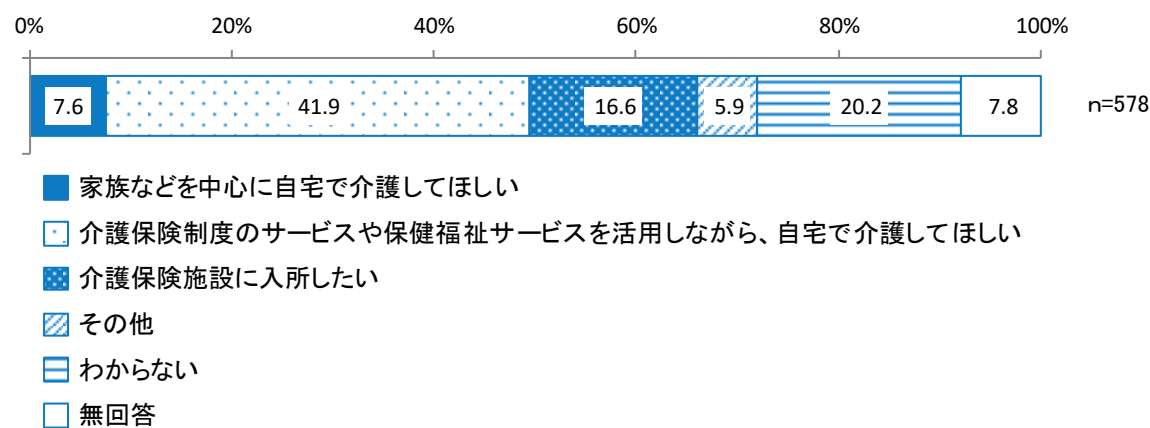
問 14 介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたはどのように思いますか。(1つを選択)

「どちらともいえない」(43.3%) が最も高く、次いで「介護保険料が多少高くなっても、給付される介護保険サービスが充実できれば良い」(30.8%)、「給付される介護保険サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方が良い」(17.6%) となっています。



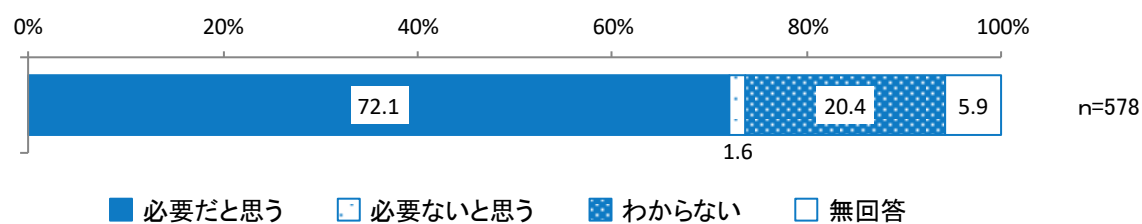
問 15 今後、どのように介護を受けたいですか。（1つを選択）

「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながら、自宅で介護してほしい」（41.9％）が最も高く、『自宅で介護してほしい』（「家族などを中心に自宅で介護してほしい」「介護保険制度のサービスや保健福祉サービスを活用しながら、自宅で介護してほしい」の計）は49.5％となっています。一方、「介護保険施設に入所したい」は16.6％となっています。



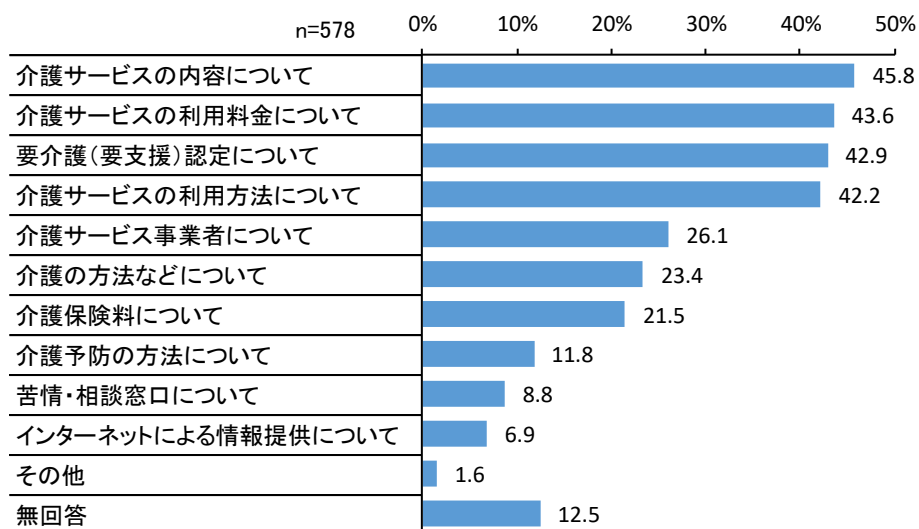
問 16 「介護医療院」についておうかがいします。「介護医療院」とは、長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する施設です。現在、市内にはありません。「介護医療院」が必要だと思いますか。（1つを選択）

「必要だと思う」（72.1％）が最も高く、「必要ないと思う」が1.6％、「わからない」が20.4％となっています。



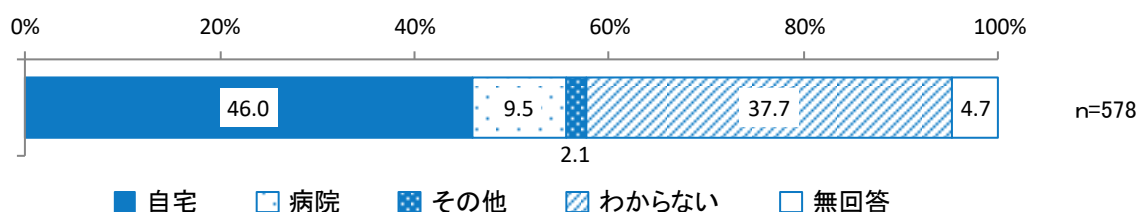
問 17 介護保険に関する情報について、どのような情報が必要だと思われますか。(複数回答可)

「介護保険サービスの内容について」(45.8%) が最も高く、次いで「介護保険サービスの利用料金について」(43.6%)、「要介護(要支援)認定について」(42.9%)、「介護保険サービスの利用方法について」(42.2%)となっています。



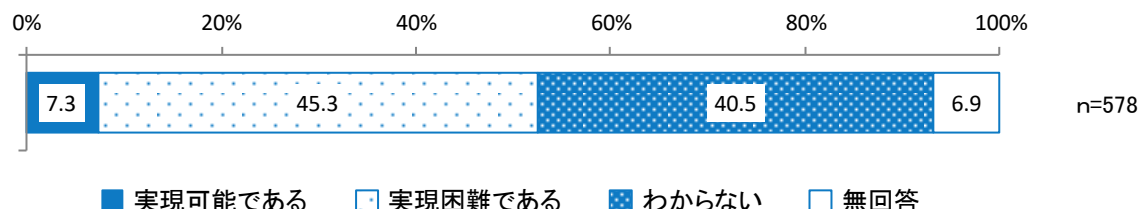
問 18 調査対象者ご本人は人生の最期をどこで迎えたいですか。(1つを選択)

「自宅」(46.0%) が最も高く、次いで「わからない」(37.7%)、「病院」(9.5%) となっています。



問 19 自宅で最期まで療養できると思いますか。(1つを選択)

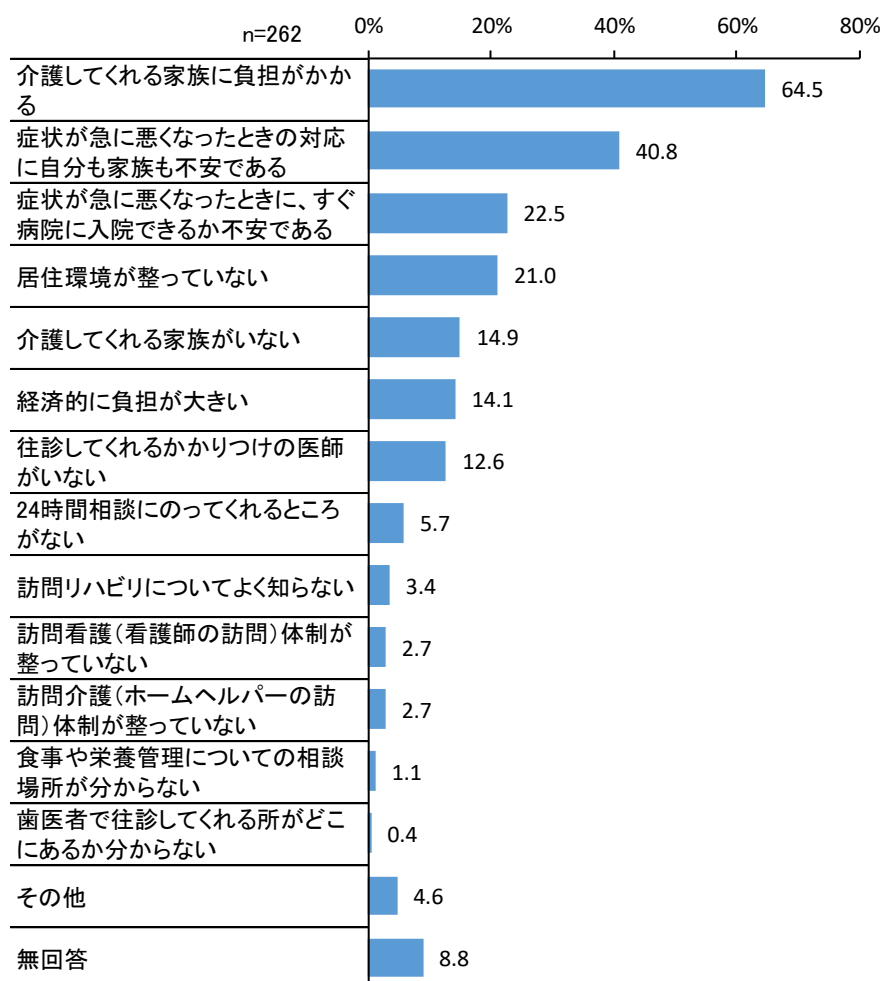
「実現困難である」(45.3%) が最も高く、次いで「わからない」(40.5%)、「実現可能である」(7.3%) となっています。



問 19 で「2. 実現困難である」と回答された方におうかがいします。

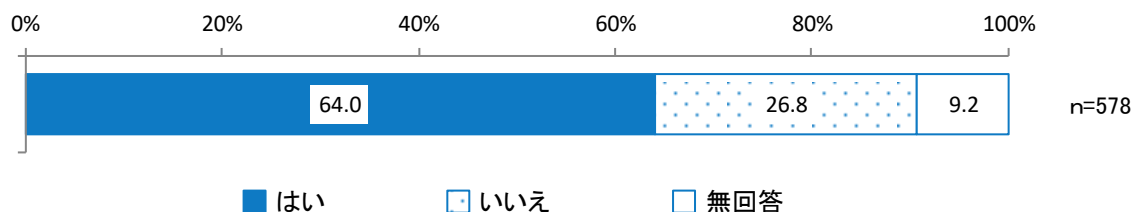
問 19-1 自宅療養が実現困難であると思われる理由は何ですか。(3つまで選択)

「介護してくれる家族に負担がかかる」(64.5%) が最も高く、次いで「症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である」(40.8%)、「症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である」(22.5%)、「居住環境が整っていない」(21.0%)、「介護してくれる家族がいない」(14.9%) となっています。



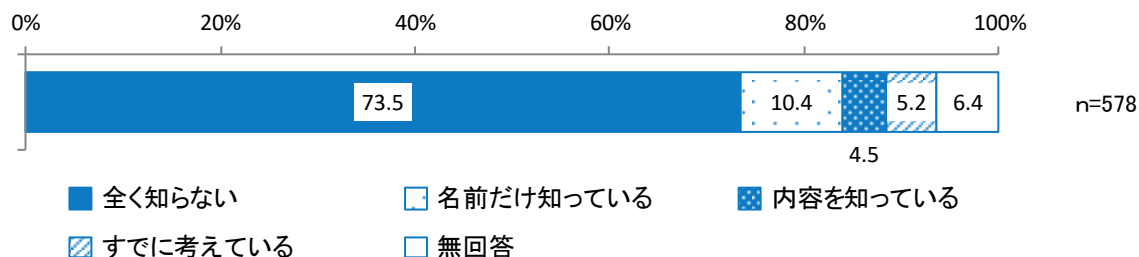
問 20 もしも自宅で倒れた時に、家族等の緊急連絡先が発見者にわかるようになっていますか。
(1つを選択)

「はい」が64.0%、「いいえ」が26.8%となっています。



問 21 もしもの時について前もって話し合う、ACP（人生会議）について知っていますか。
(1つを選択)

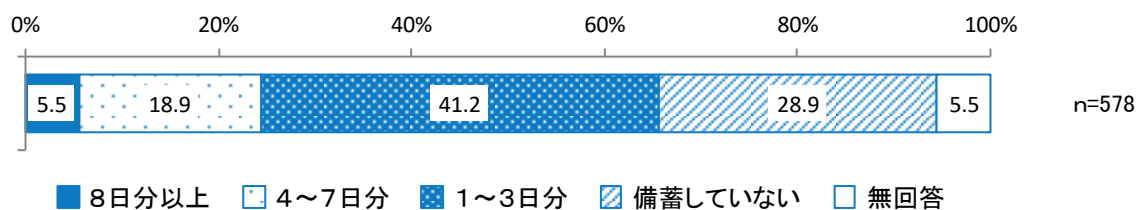
「全く知らない」(73.5%)が最も高く、次いで「名前だけ知っている」(10.4%)、「すでに考えている」(5.2%)、「内容を知っている」(4.5%)となっています。



災害に対する備えについておうかがいします。

問 22 水や食料をおよそ何日分備蓄していますか。(1つを選択)

「1～3日分」(41.2%)が最も高く、次いで「備蓄していない」(28.9%)、「4～7日分」(18.9%)となっています。

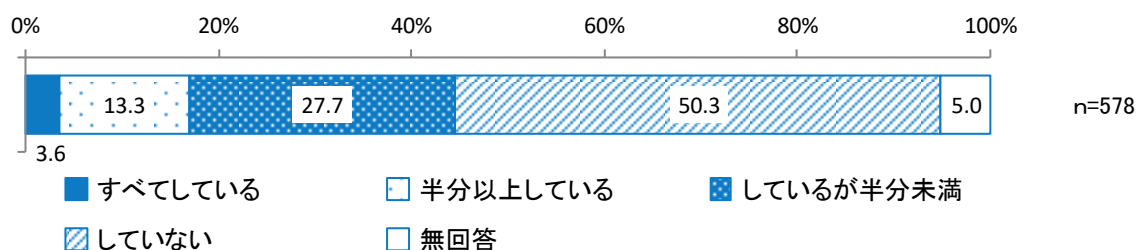


世帯類型別でみると、単身世帯では「1～3日分」の割合がやや低くなっています。

	件数	8日分以上	4～7日分	1～3日分	い備蓄していない	無回答
全 体	578	5.5	18.9	41.2	28.9	5.5
単身世帯	126	7.1	22.2	34.1	29.4	7.1
夫婦のみ世帯	152	3.9	23.0	42.1	27.6	3.3
その他	282	5.7	15.6	44.7	29.4	4.6

問 23 家具や冷蔵庫などを地震で倒れないようにしていますか。（1つを選択）

「していない」(50.3%) が最も高く、次いで「しているが半分未満」(27.7%)、「半分以上している」(13.3%)、「すべてしている」(3.6%) となっています。

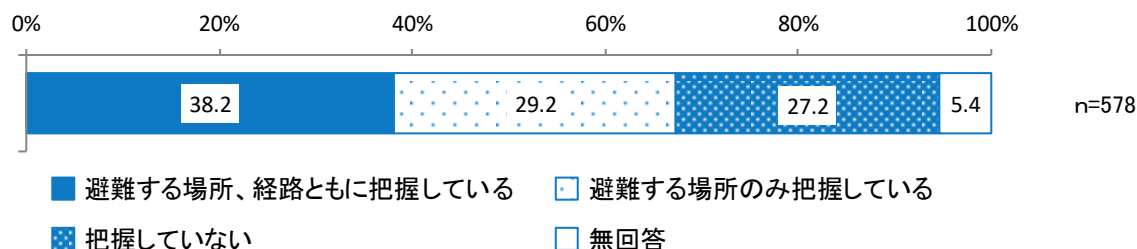


世帯類型別でみると、「していない」は単身世帯（62.7%）で高くなっています。

	件数	るすべてしている	い半分以上している	分してはいるが半	してはいるが半	無回答
全 体	578	3.6	13.3	27.7	50.3	5.0
単身世帯	126	4.8	11.1	15.1	62.7	6.3
夫婦のみ世帯	152	1.3	14.5	33.6	48.0	2.6
その他	282	4.3	13.8	30.9	46.5	4.6

問 24 最寄りの避難する場所やそこまでの経路を把握していますか。(1つを選択)

「避難する場所、経路ともに把握している」(38.2%)が最も高く、次いで「避難する場所のみ把握している」(29.2%)、「把握していない」(27.2%)となっています。

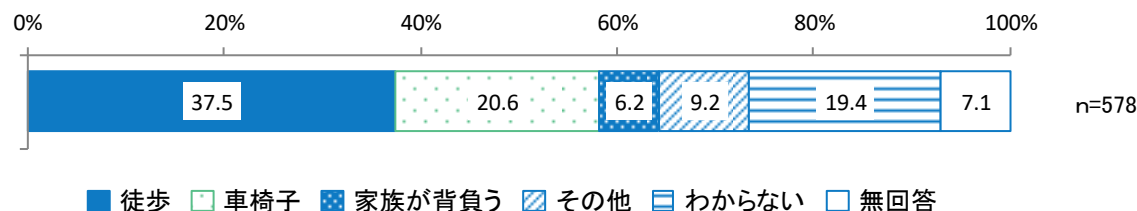


世帯類型別でみると、単身世帯では「把握していない」(37.3%)が最も高くなっています。

	件数	避難する場所、経路ともに把握している	避難する場所のみ把握している	把握していない	無回答
全 体	578	38.2	29.2	27.2	5.4
単身世帯	126	31.0	24.6	37.3	7.1
夫婦のみ世帯	152	34.9	34.9	28.3	2.0
その他	282	43.3	28.7	23.4	4.6

問 25 今考えている避難する場所までの移動手段は何ですか。(1つを選択)

「徒歩」(37.5%)が最も高く、次いで「車椅子」(20.6%)、「わからない」(19.4%)、「その他」(9.2%)、「家族が背負う」(6.2%)となっています。

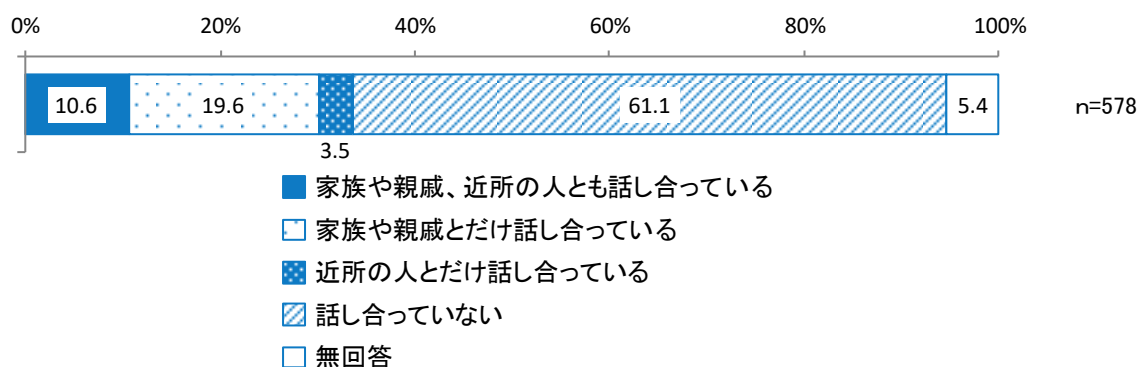


世帯類型別でみると、単身世帯では「徒歩」「わからない」がやや高くなっています。

	件数	徒歩	車椅子	家族が背負う	その他	わからない	無回答
全 体	578	37.5	20.6	6.2	9.2	19.4	7.1
単身世帯	126	42.1	15.1	7.9	3.2	25.4	6.3
夫婦のみ世帯	152	36.8	22.4	3.3	11.8	21.1	4.6
その他	282	36.2	22.0	7.4	10.3	16.7	7.4

問 26 家族や親戚、近所の人と災害時の安否確認や集合場所について話し合っていますか。
(1つを選択)

「話し合っていない」(61.1%) が最も高く、次いで「家族や親戚とだけ話し合っている」(19.6%)、「家族や親戚、近所の人とも話し合っている」(10.6%)、「近所の人とだけ話し合っている」(3.5%) となっています。

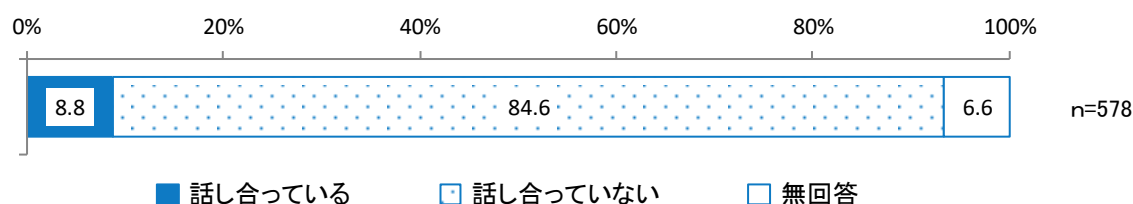


世帯類型別でみると、「話し合っていない」は単身世帯 (69.8%) で高くなっています。

	件数	家族や親戚、近所の人とも話し合っている	家族や親戚とだけ話し合っている	近所の人とだけ話し合っている	話し合っていない	無回答
全 体	578	10.6	19.6	3.5	61.1	5.4
単身世帯	126	7.9	13.5	2.4	69.8	6.3
夫婦のみ世帯	152	14.5	24.3	2.6	55.9	2.6
その他	282	9.6	19.9	4.3	61.0	5.3

問 27 担当のケアマネジャーと災害時の介護について話し合っていますか。(1つを選択)

「話し合っている」が 8.8%、「話し合っていない」が 84.6%となっています。



その他、介護保険や保健・福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

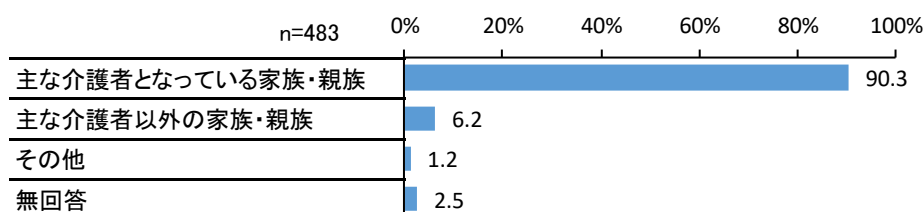
介護保険や保健・福祉サービスについて、下記のような内容で、42 件のご意見・ご要望をいただきました。

	内 容	件数
1	施設福祉サービスについて	2
2	情報提供、相談、啓発等について	2
3	介護保険制度について	3
4	各種割引、税制優遇等について	2
5	在宅福祉サービスについて	6
6	自身の現状、将来の不安等	9
7	アンケートに関する事	2
8	その他	16
合 計		42

(2) 主な介護者について

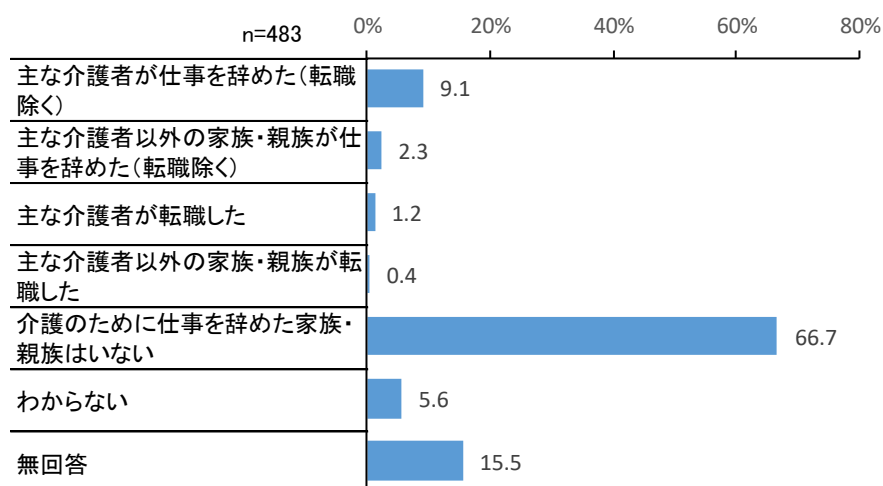
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(複数回答可)

「主な介護者となっている家族・親族」が90.3%、「主な介護者以外の家族・親族」が6.2%となっています。



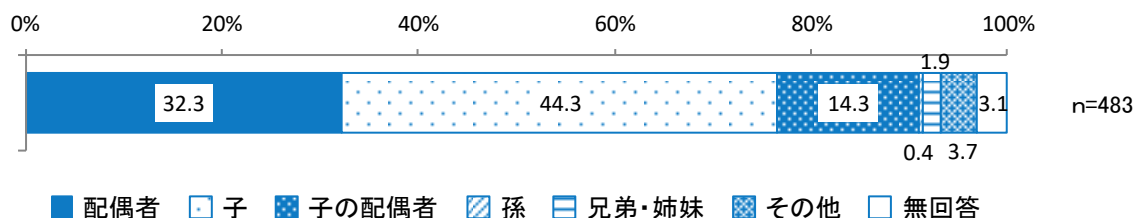
問2 ご家族やご親族の中で、調査対象者の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(複数選択可)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」(66.7%)が最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」(9.1%)、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」(2.3%)となっています。



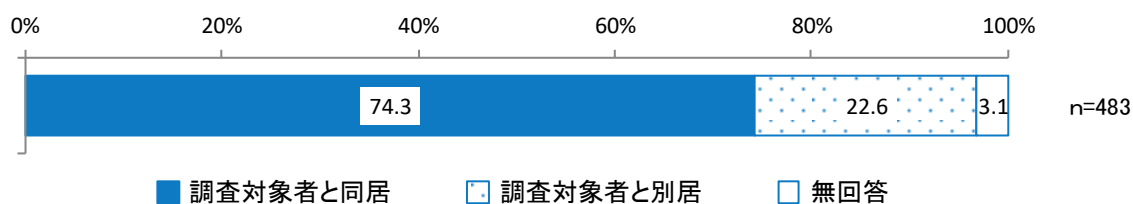
問3 調査対象者からみて、主な介護者の方は、どなたですか。（1つを選択）

「子」（44.3%）が最も高く、次いで「配偶者」（32.3%）、「子の配偶者」（14.3%）となっています。



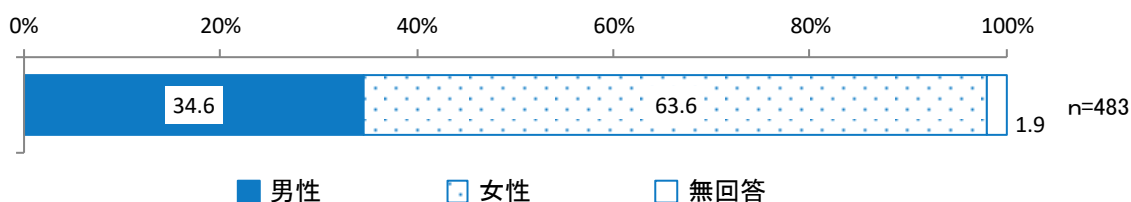
問4 主な介護者の方の住まいについて、ご回答ください。（1つを選択）

「調査対象者と同居」が 74.3%、「調査対象者と別居」が 22.6%となっています。



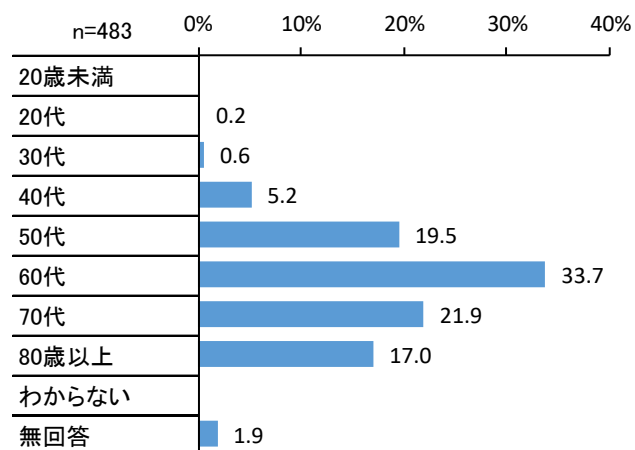
問5 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（1つを選択）

「男性」が 34.6%、「女性」が 63.6%となっています。



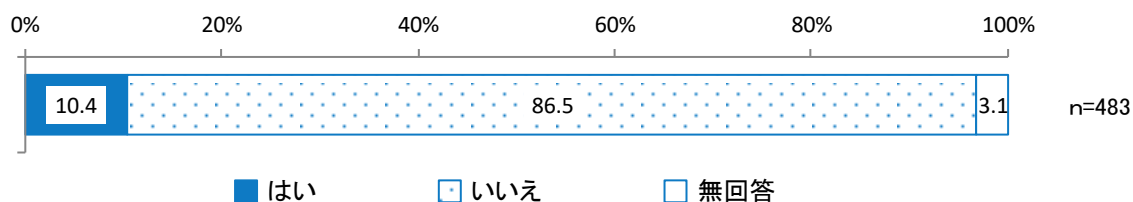
問6 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（1つを選択）

「60代」（33.7%）が最も高く、次いで「70代」（21.9%）、「50代」（19.5%）、「80歳以上」（17.0%）となっています。



問7 主な介護者の方は、現在、介護と子育ての両方を行っていますか。（1つを選択）

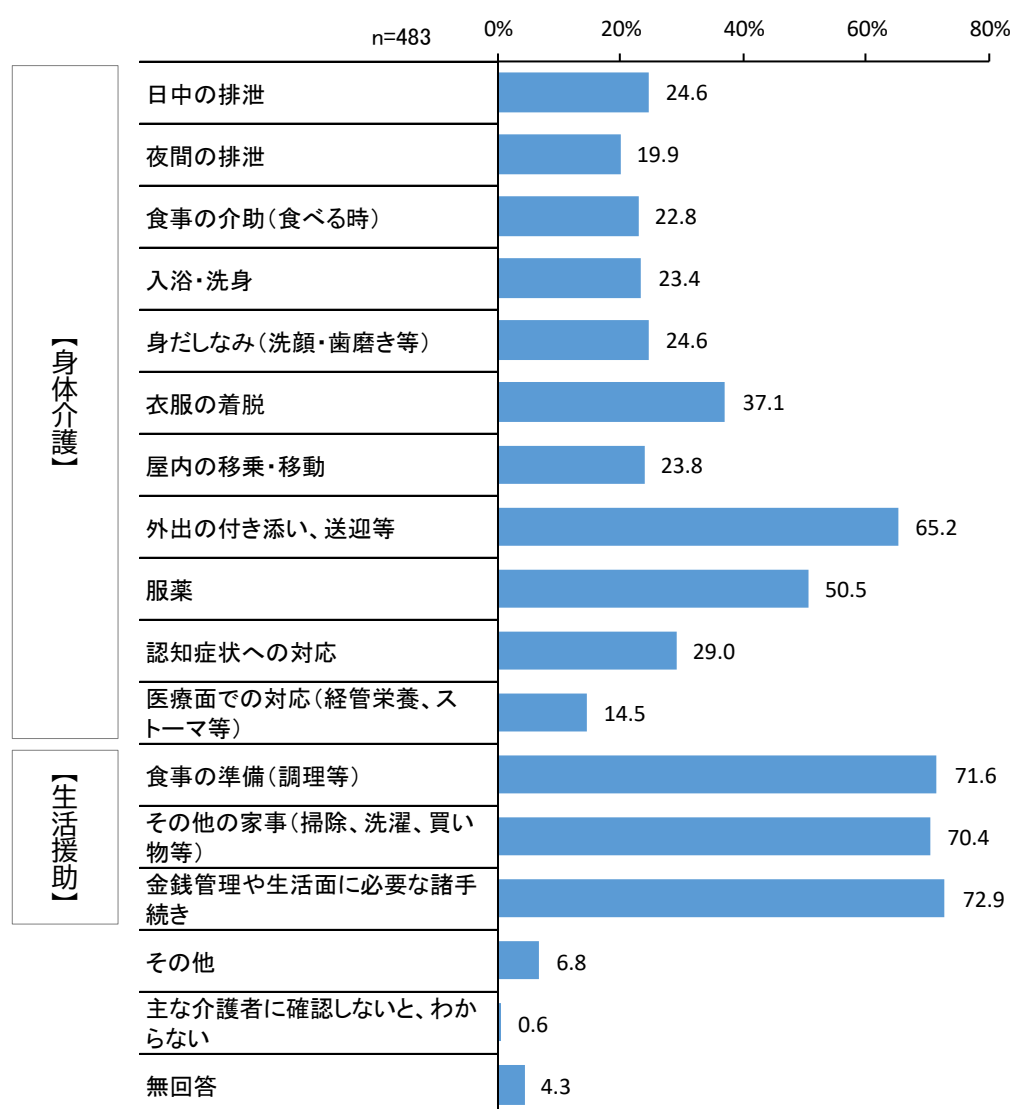
「はい」が10.4%、「いいえ」が86.5%となっています。



問8 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（複数選択可）

【身体介護】では「外出の付き添い、送迎等」（65.2％）が最も高く、次いで「服薬」（50.5％）、「衣服の着脱」（37.1％）、「認知症状への対応」（29.0％）、「日中の排泄」「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」（ともに 24.6％）となっています。

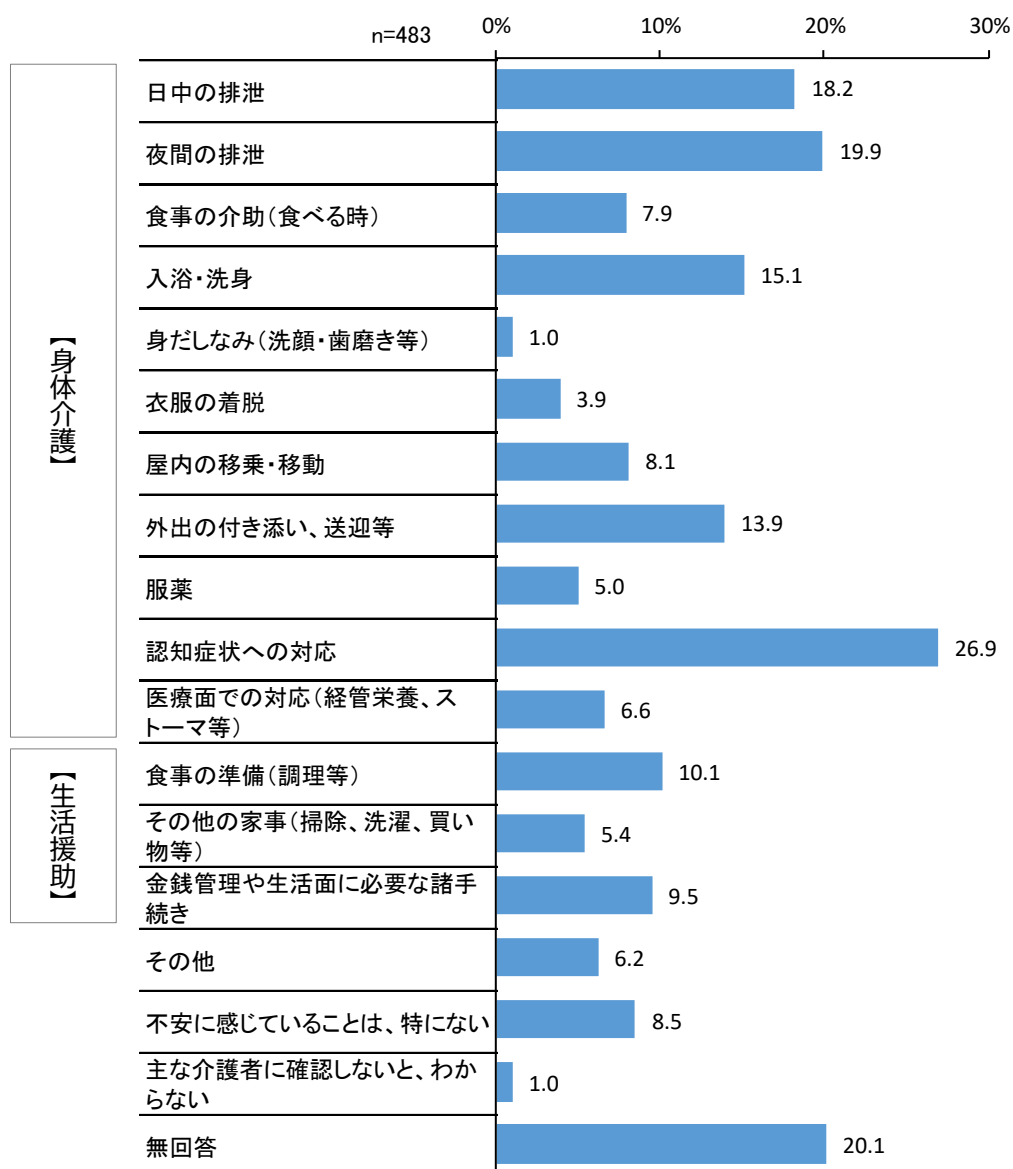
一方、【生活援助】では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（72.9％）が最も高く、次いで「食事の準備（調理等）」（71.6％）、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（70.4％）と、いずれも約7割となっています。



問9 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）

【身体介護】では「認知症状への対応」(26.9%)が最も高く、次いで「夜間の排泄」(19.9%)、「日中の排泄」(18.2%)、「入浴・洗身」(15.1%)、「外出の付き添い、送迎等」(13.9%)となっています。

一方、【生活援助】では「食事の準備(調理等)」(10.1%)が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(9.5%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(5.4%)と、いずれも【身体介護】の上位5項目より低い割合となっています。



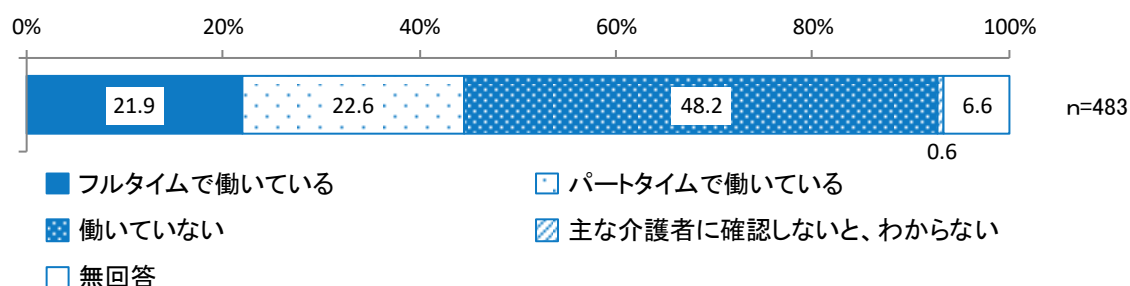
要介護度別でみると、要介護3～5では「夜間の排泄」(24.1%)が最も高くなっています。

介護者の就労継続見込み(介護者問10-3)別でみると、問題なく続けていける人では「不安に感じていることは、特にない」(36.7%)が最も高く、続けていくのはかなり難しい人では「夜間の排泄」(34.8%)が最も高くなっています。

	件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	483	18.2	19.9	7.9	15.1	1.0	3.9	8.1	13.9	5.0	26.9	6.6	10.1	5.4	9.5	6.2	8.5	1.0	20.1
要介護1・2	313	18.5	17.6	6.4	17.3	1.3	4.8	8.0	14.4	6.1	30.0	4.8	10.2	6.4	9.6	5.8	8.6	0.3	19.5
要介護3～5	170	17.6	24.1	10.6	11.2	0.6	2.4	8.2	12.9	2.9	21.2	10.0	10.0	3.5	9.4	7.1	8.2	2.4	21.2
就労継続見込み																			
問題なく、続けていける	30	16.7	20.0	3.3	3.3	-	-	6.7	6.7	-	16.7	3.3	-	-	16.7	3.3	36.7	-	10.0
問題はあるが、何とか続けていける	140	23.6	22.1	5.7	18.6	2.9	6.4	7.9	13.6	6.4	36.4	5.7	12.1	5.7	7.9	7.1	5.0	1.4	15.0
続けていくのは、やや難しい	21	23.8	23.8	14.3	23.8	-	-	9.5	9.5	4.8	47.6	9.5	14.3	-	28.6	-	4.8	-	14.3
続けていくのは、かなり難しい	23	21.7	34.8	13.0	8.7	-	-	17.4	8.7	-	30.4	-	8.7	4.3	13.0	-	13.0	-	21.7

問10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(1つを選択)

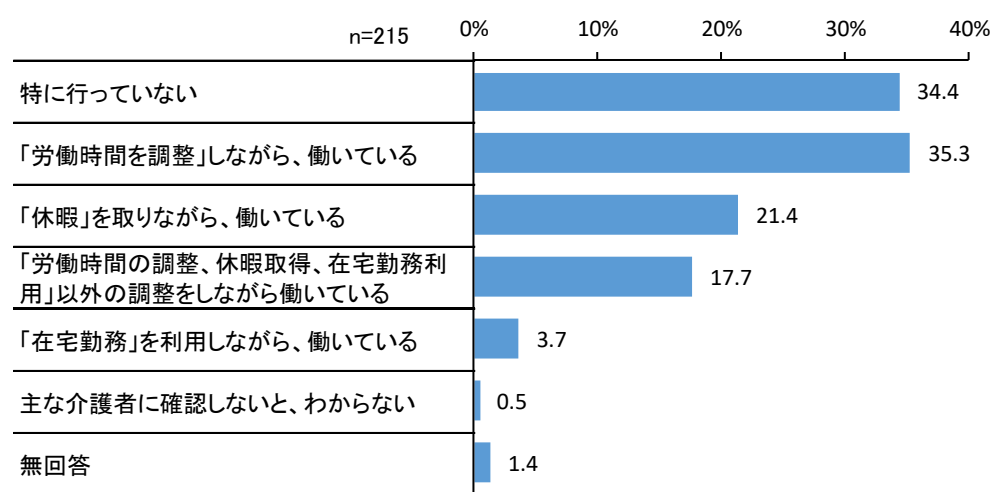
「働いていない」(48.2%)が最も高く、『働いている』(「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の計)は44.5%となっています。



問 10 で「1. フルタイムで働いている」または「2. パートタイムで働いている」と回答した方におうかがいします。

問 10－1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数選択可）

実施している調整の中では「労働時間を調整」しながら、働いている（35.3％）が最も高く、次いで「休暇」を取りながら、働いている（21.4％）、「労働時間の調整、休暇取得、在宅勤務利用」以外の調整をしながら働いている（17.7％）となっています。また、「特に行っていない」は 34.4％となっています。

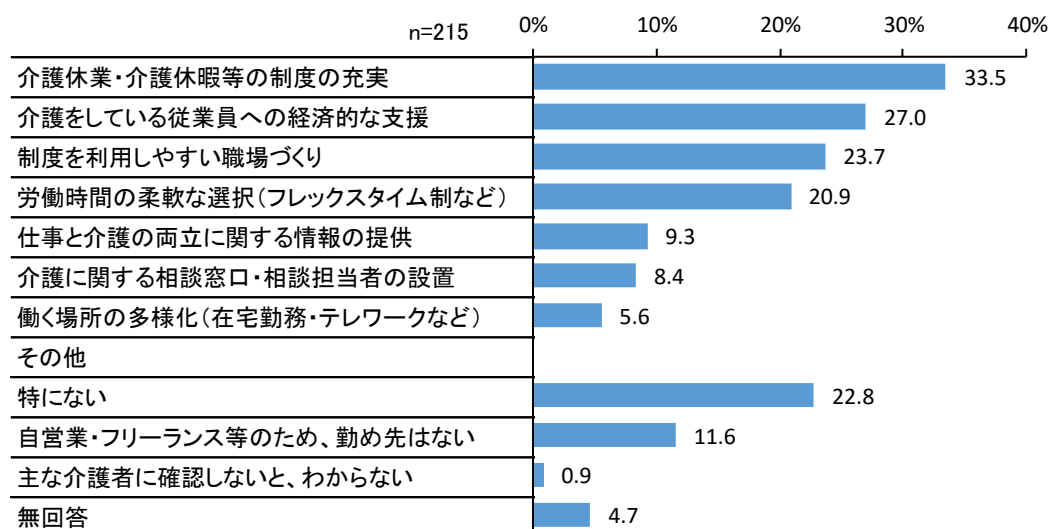


介護者の就労継続見込み別でみると、問題なく続けていける人では「特に行っていない」（63.3％）が最も高くなっています。また、就労継続が難しいほど「「休暇」を取りながら、働いている」の割合が高くなっています。

	件数	特に行っていない	調整している	「労働時間を調整」しながら、働いている	「休暇」を取りながら、働いている	「在宅勤務」を利用しながら、働いている	「労働時間の調整、休暇取得、在宅勤務利用」以外の調整をしながら働いている	「在宅勤務」を利用しながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全 体	215	34.4	35.3	21.4	3.7	17.7	0.5	1.4		
問題なく、続けていける	30	63.3	23.3	10.0	—	6.7	—	—		
問題はあるが、何とか続けていける	140	30.7	37.9	20.0	4.3	19.3	0.7	1.4		
続けていくのは、やや難しい	21	19.0	38.1	33.3	4.8	28.6	—	—		
続けていくのは、かなり難しい	23	30.4	34.8	34.8	4.3	13.0	—	4.3		

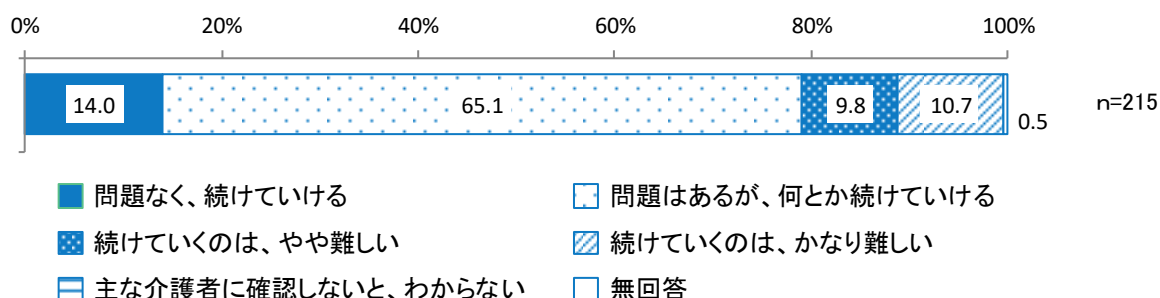
問 10-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（3つまで選択可）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（33.5%）が最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」（27.0%）、「制度を利用しやすい職場づくり」（23.7%）、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（20.9%）となっています。また、「特にない」は 22.8%となっています。



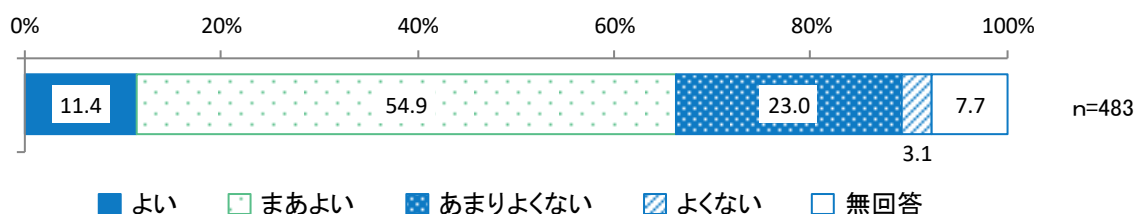
問 10-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（1つを選択）

「問題はあるが、何とか続けていける」（65.1%）が最も高く、『続けていける』（「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の計）は 79.1%、『続けていくのは難しい』（「続けていくのは、かなり難しい」「続けていくのは、やや難しい」の計）は 20.5%となっています。



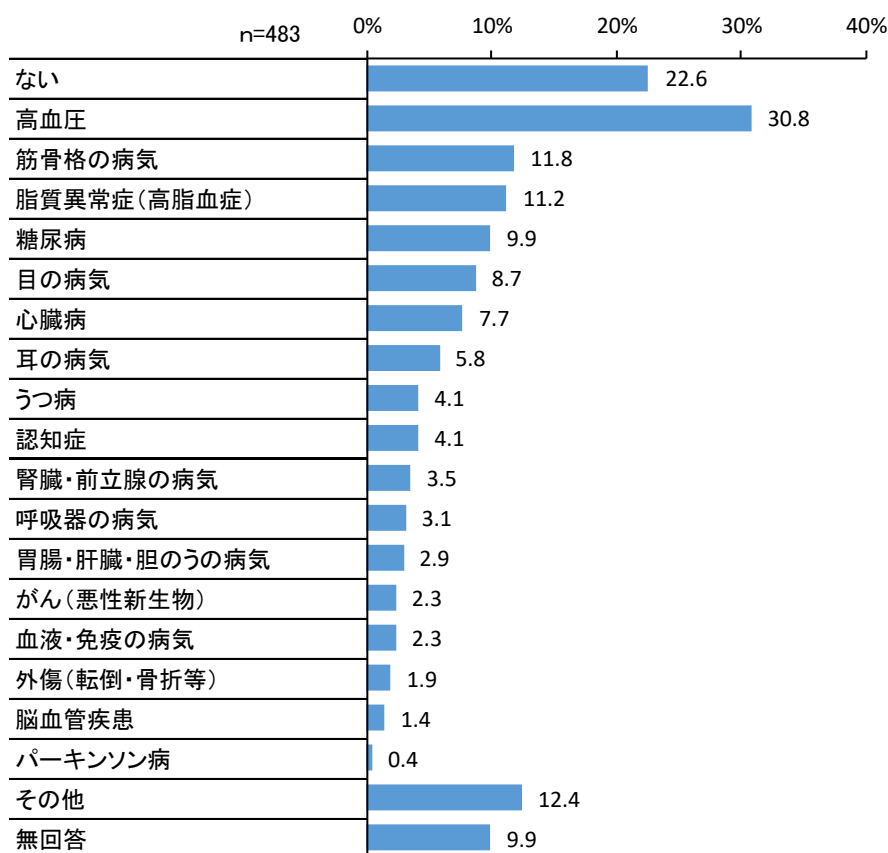
問 11 介護している方の健康状態は、どうですか。（1つを選択）

「まあよい」（54.9％）が最も高く、『健康状態はよい』（「よい」「まあよい」の計）は66.3％、『健康状態はよくない』（「よくない」「あまりよくない」の計）は26.1％となっています。



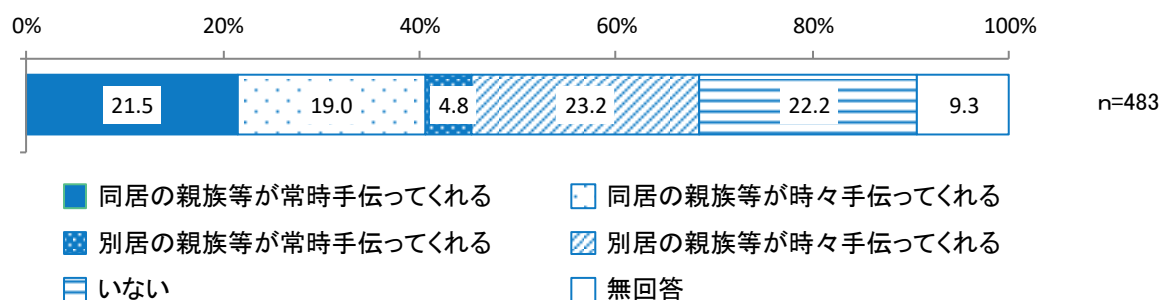
問 12 主な介護者の方が、現在抱えている傷病はありますか。（複数選択可）

「ない」を除く具体的な病気としては「高血圧」（30.8％）が最も高く、次いで「筋骨格の病気」（11.8％）、「脂質異常症（高脂血症）」（11.2％）、「糖尿病」（9.9％）、「目の病気」（8.7％）となっています。また、「ない」は22.6％となっています。



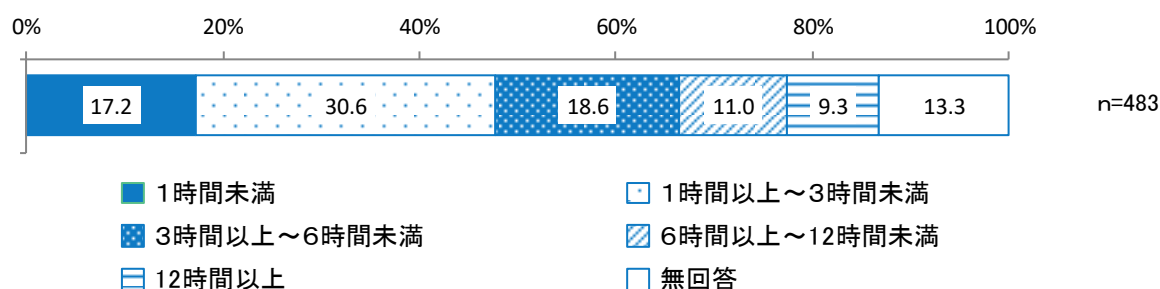
問 13 介護を手伝ってくれる方はいますか。(1つを選択)

「別居の親族等が時々手伝ってくれる」(23.2%)が最も高く、『同居の親族等』(「同居の親族等が常時手伝ってくれる」「同居の親族等が時々手伝ってくれる」の計)は40.5%、『別居の親族等』(「別居の親族等が常時手伝ってくれる」「別居の親族等が時々手伝ってくれる」の計)は28.0%となっています。また、「いない」は22.2%となっています。



問 14 主な介護者の方が、介護行為にかけている時間(1日あたり)はどれくらいですか。(1つを選択)

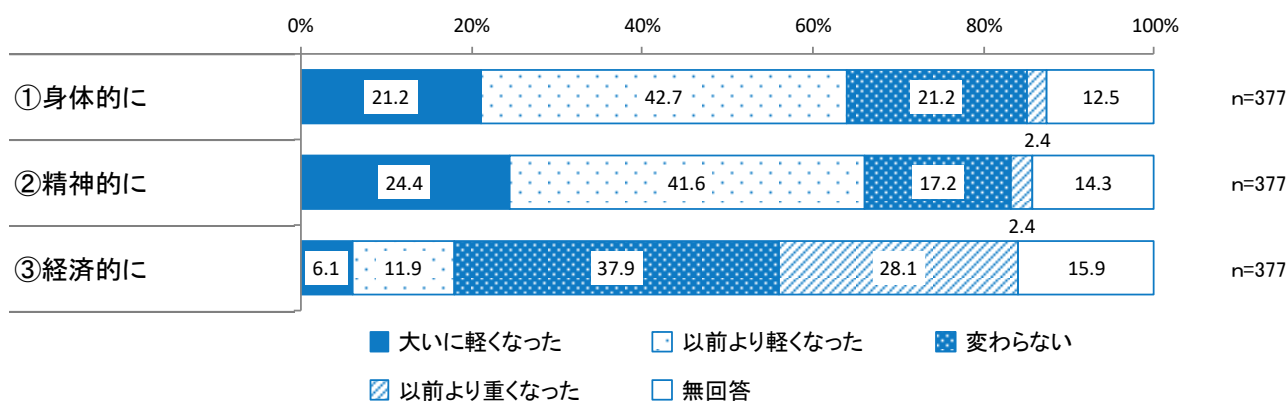
「1時間以上～3時間未満」(30.6%)が最も高く、次いで「3時間以上～6時間未満」(18.6%)、「1時間未満」(17.2%)、「6時間以上～12時間未満」(11.0%)、「12時間以上」(9.3%)となっています。



介護保険サービスを利用している方にのみおうかがいします。

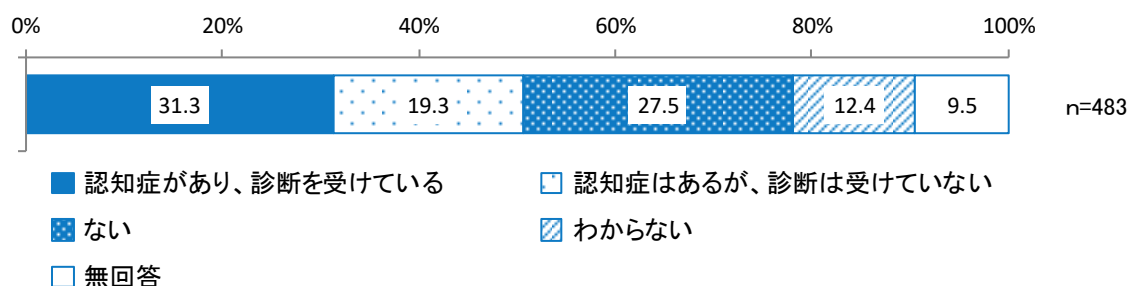
問 15 介護保険サービスを利用することで、利用する前より介護の負担感は軽くなりましたか。
(それぞれ1つを選択)

『軽くなった』(「大いに軽くなった」「以前より軽くなった」の計)は、「①身体的に」で 63.9%、「②精神的に」で 66.0%、「③経済的に」で 18.0%となっています。一方、「以前より重くなった」は、「①身体的に」で 2.4%、「②精神的に」で 2.4%、「③経済的に」で 28.1%となっており、介護保険サービスの利用により経済的には負担が重くなったと感じる人の方が軽くなったと感じる人より多くなっています。



問 16 調査対象者に認知症があると思いますか。(1つを選択)

「認知症があり、診断を受けている」(31.3%) が最も高く、『認知症がある』(「認知症があり、診断を受けている」「認知症はあるが、診断は受けていない」の計)が 50.6%、「ない」が 27.5%、「わからない」が 12.4%となっています。

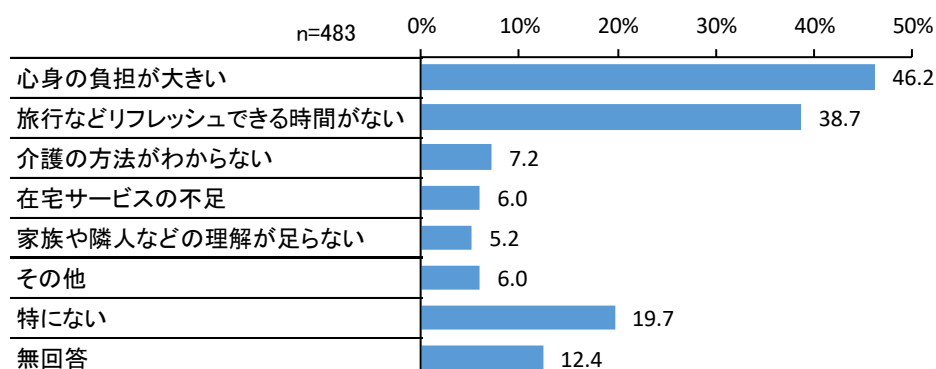


サービス利用による介護負担の変化（介護者問 15）別でみると、身体的負担・精神的負担については、軽くなったと考えている人ほど「認知症があり、診断を受けている」の割合が高くなっています。一方、経済的負担については、重くなったと考えている人ほど「認知症があり、診断を受けている」の割合が高くなっています。

		件数	断 認 を 知 受 症 け が て あ い り る 、 診	い 診 認 断 知 は 症 は 受 け あ て る い が な 、	な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		377	31.6	19.4	28.6	13.3	7.2
① 身 体 的	大いに軽くなった	80	38.8	17.5	32.5	10.0	1.3
	以前より軽くなった	161	36.0	21.7	29.2	11.2	1.9
	変わらない	80	28.8	23.8	22.5	23.8	1.3
	以前より重くなった	9	22.2	—	44.4	33.3	—
② 精 神 的	大いに軽くなった	92	40.2	21.7	28.3	8.7	1.1
	以前より軽くなった	157	35.0	21.7	28.7	13.4	1.3
	変わらない	65	27.7	23.1	27.7	20.0	1.5
	以前より重くなった	9	22.2	—	33.3	33.3	11.1
③ 経 済 的	大いに軽くなった	23	21.7	17.4	52.2	8.7	—
	以前より軽くなった	45	28.9	20.0	40.0	11.1	—
	変わらない	143	32.2	23.8	24.5	16.8	2.8
	以前より重くなった	106	43.4	19.8	22.6	13.2	0.9

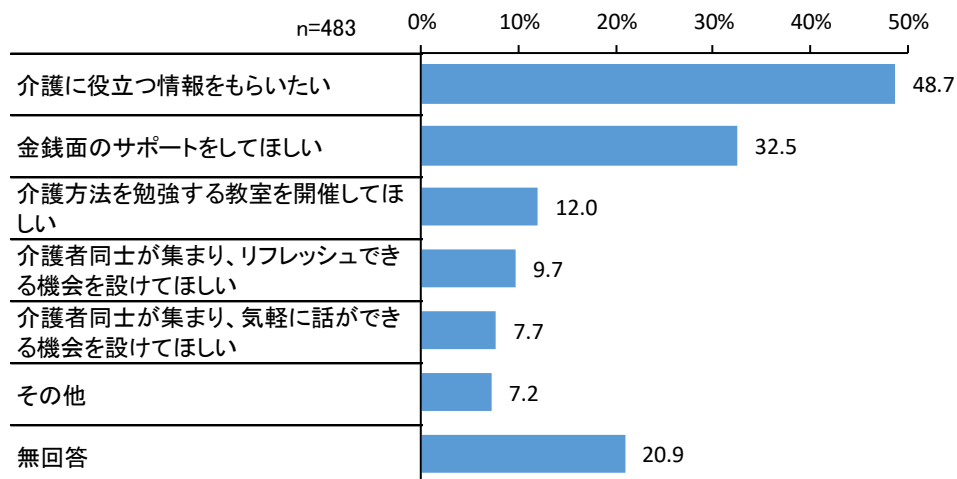
問 17 介護する上で困っていることは何ですか。（複数選択可）

「心身の負担が大きい」（46.2％）が最も高く、次いで「旅行などリフレッシュできる時間がない」（38.7％）、「介護の方法がわからない」（7.2％）、「在宅サービスの不足」（6.0％）となっています。また、「特にない」は19.7％となっています。



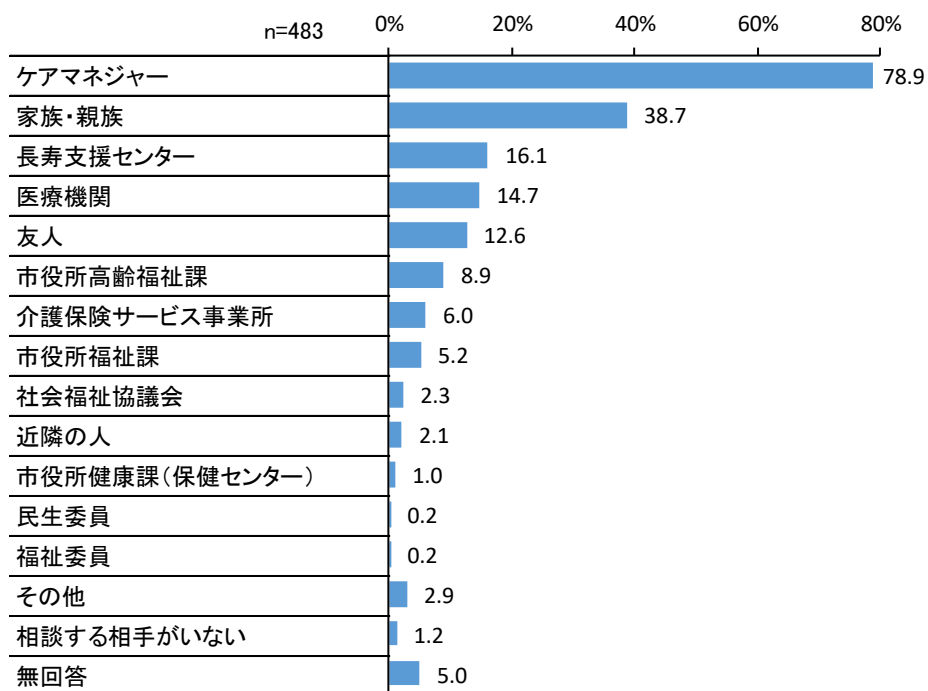
問 18 介護者支援のために望まれることはどのようなことですか。(複数回答可)

「介護に役立つ情報をもらいたい」(48.7%) が最も高く、次いで「金銭面のサポートをしてほしい」(32.5%)、「介護方法を勉強する教室を開催してほしい」(12.0%) となっています。



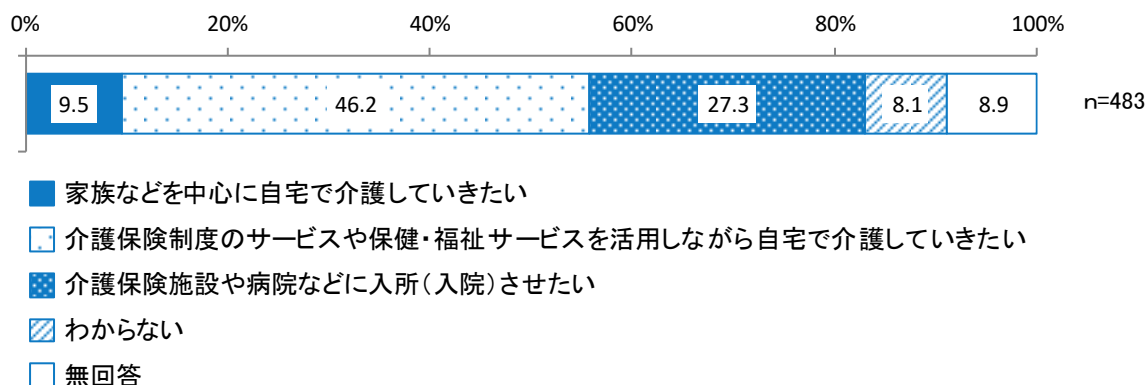
問 19 介護のことで困ったとき、どこに相談していますか。(複数選択可)

「ケアマネジャー」(78.9%) が最も高く、次いで「家族・親族」(38.7%)、「長寿支援センター」(16.1%)、「医療機関」(14.7%)、「友人」(12.6%) となっています。



問 20 今後、どのように介護していきたいと思いますか。(1つを選択)

「介護保険制度のサービスや保健・福祉サービスを活用しながら自宅で介護していきたい」(46.2%)が最も高く、『自宅で介護していきたい』(「家族などを中心に自宅で介護していきたい」「介護保険制度のサービスや保健・福祉サービスを活用しながら自宅で介護していきたい」の計)は55.7%となっています。一方、「介護保険施設や病院などに入所(入院)させたい」は27.3%となっています。



その他、介護保険や保健・福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

介護保険や保健・福祉サービスについて、下記のような内容で、72 件のご意見・ご要望をいただきました。

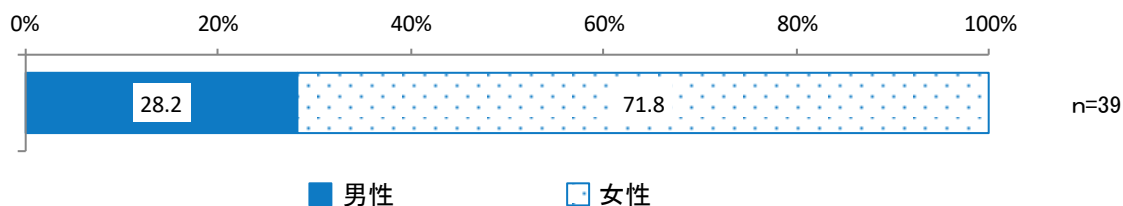
	内 容	件数
1	施設福祉サービスについて	5
2	情報提供、相談、啓発等について	7
3	介護保険制度について	3
4	移動、交通について	4
5	各種割引、税制優遇等について	6
6	在宅福祉サービスについて	11
7	介護者支援について	5
8	福祉行政全般について	5
9	自身の現状、将来の不安等	17
10	アンケートに関する事	3
11	その他	6
合 計		72

4 高齢者実態調査（ケアマネジャー及び長寿支援センター調査）

（１）自身と所属する事業所について

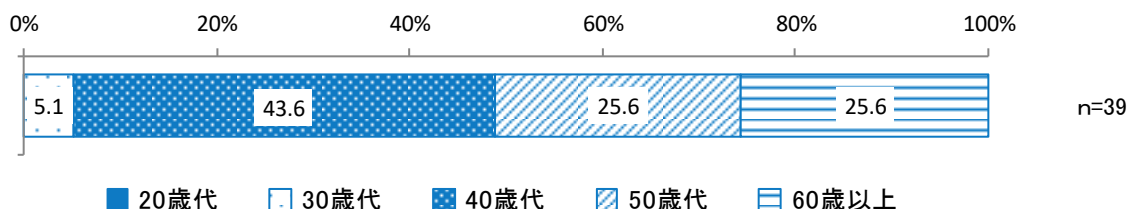
問１ あなたの性別は、どちらですか。（○は１つ）

「男性」が28.2%、「女性」が71.8%となっています。



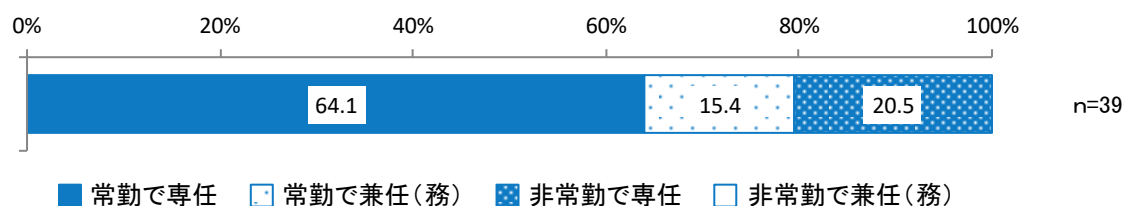
問２ あなたの年齢は、おいくつですか。（○は１つ）

「40 歳代」(43.6%) が最も高く、次いで「50 歳代」「60 歳以上」(ともに 25.6%)、「30 歳代」(5.1%) となっています。



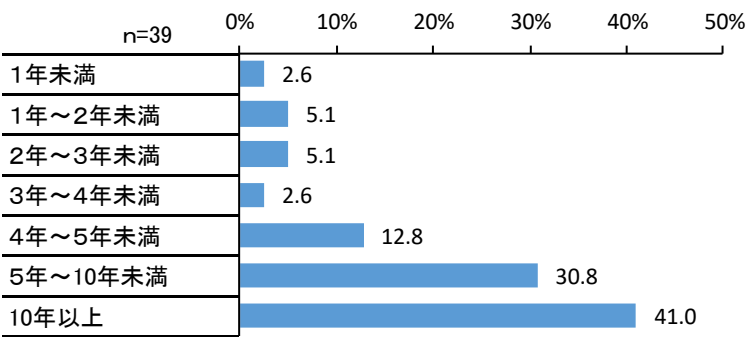
問３ あなたの勤務形態は次のうちどれに該当しますか。（○は１つ）

「常勤で専任」(64.1%) が最も高く、次いで「非常勤で専任」(20.5%)、「常勤で兼任（務）」(15.4%) となっています。



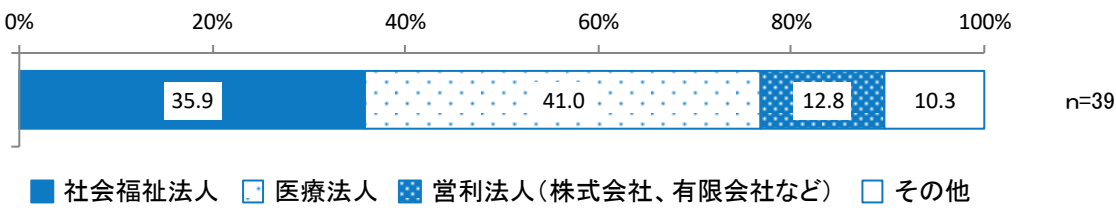
問4 ケアマネジャーとしての経験年数は何年ですか。(〇は1つ)

「10年以上」(41.0%) が最も高く、次いで「5年～10年未満」(30.8%)、「4年～5年未満」(12.8%) となっています。



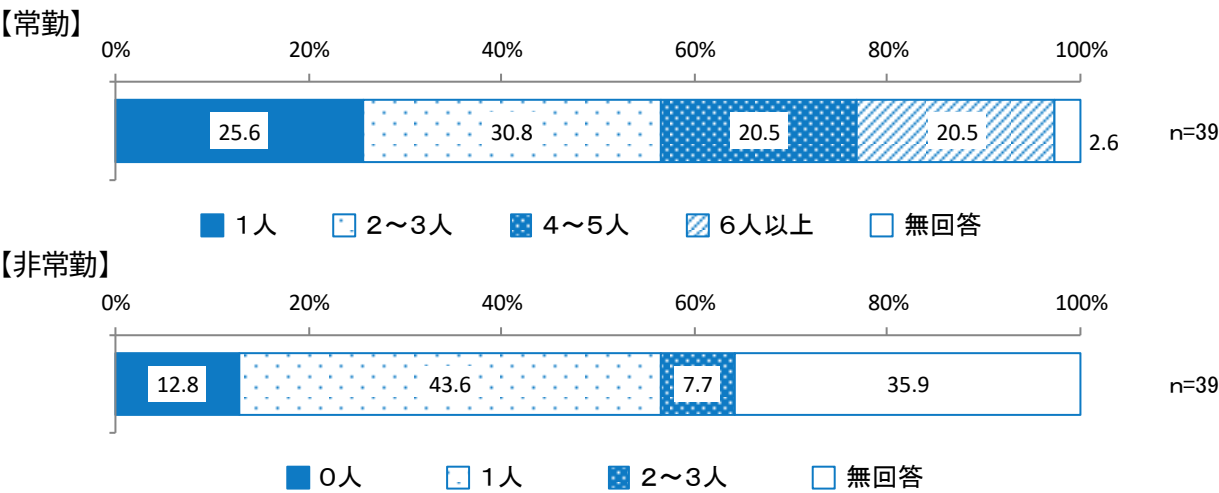
問5 貴事業所の母体組織は次のどれに該当しますか。(〇は1つ)

「医療法人」(41.0%) が最も高く、次いで「社会福祉法人」(35.9%)、「営利法人(株式会社、有限会社など)」(12.8%) となっています。



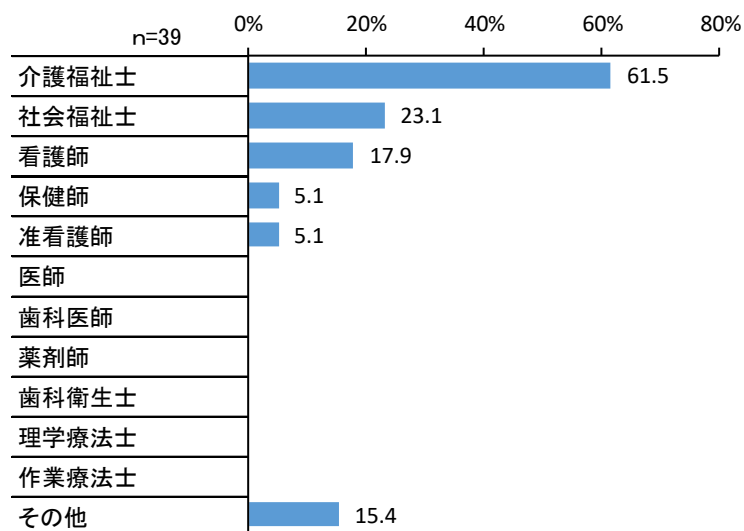
問6 あなたが勤務する貴事業所に所属するケアマネジャーの人数をお答えください。

常勤は「2～3人」(30.8%)、非常勤は「1人」(43.6%) がそれぞれ最も高くなっています。



問7 ケアマネジャーの資格以外に取得している資格で、主となるものは次のどれに該当しますか。（あてはまるものすべてに○）

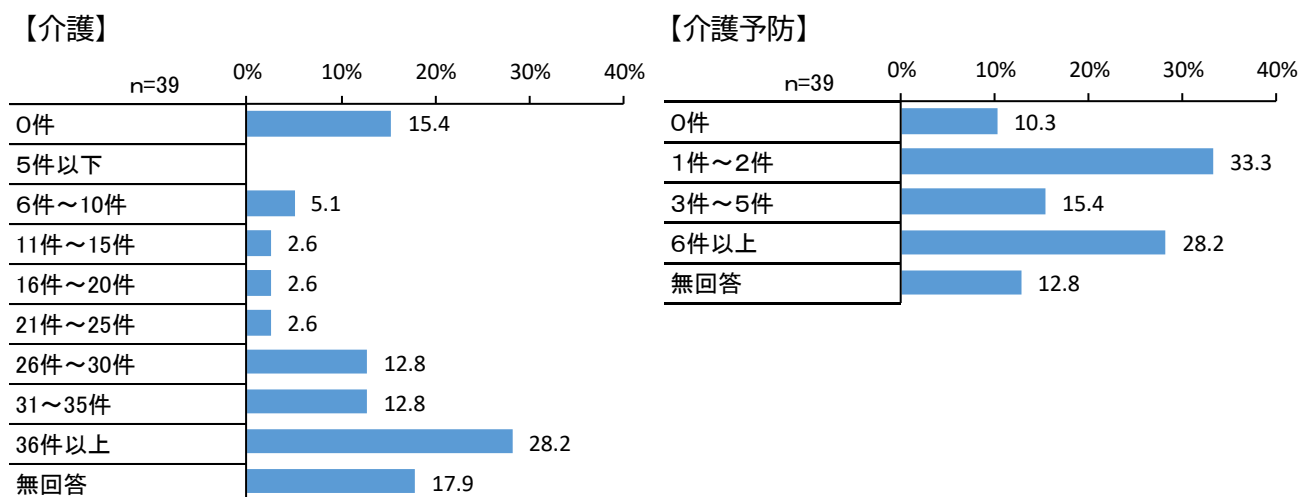
「介護福祉士」（61.5％）が最も高く、次いで「社会福祉士」（23.1％）、「看護師」（17.9％）、「保健師」「准看護師」（ともに 5.1％）となっています。



(2) ケアプランについて

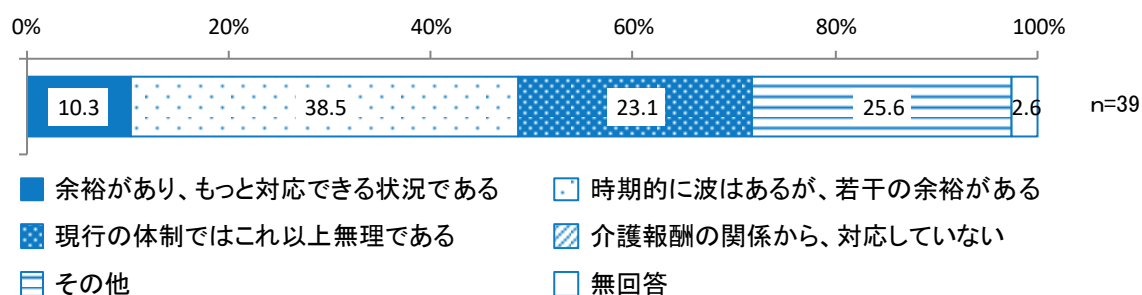
問8 あなたが令和4年11月末時点で担当しているケアプランの件数は何件ですか。

介護は「36件以上」(28.2%)、介護予防は「1件～2件」(33.3%)がそれぞれ最も高くなっています。



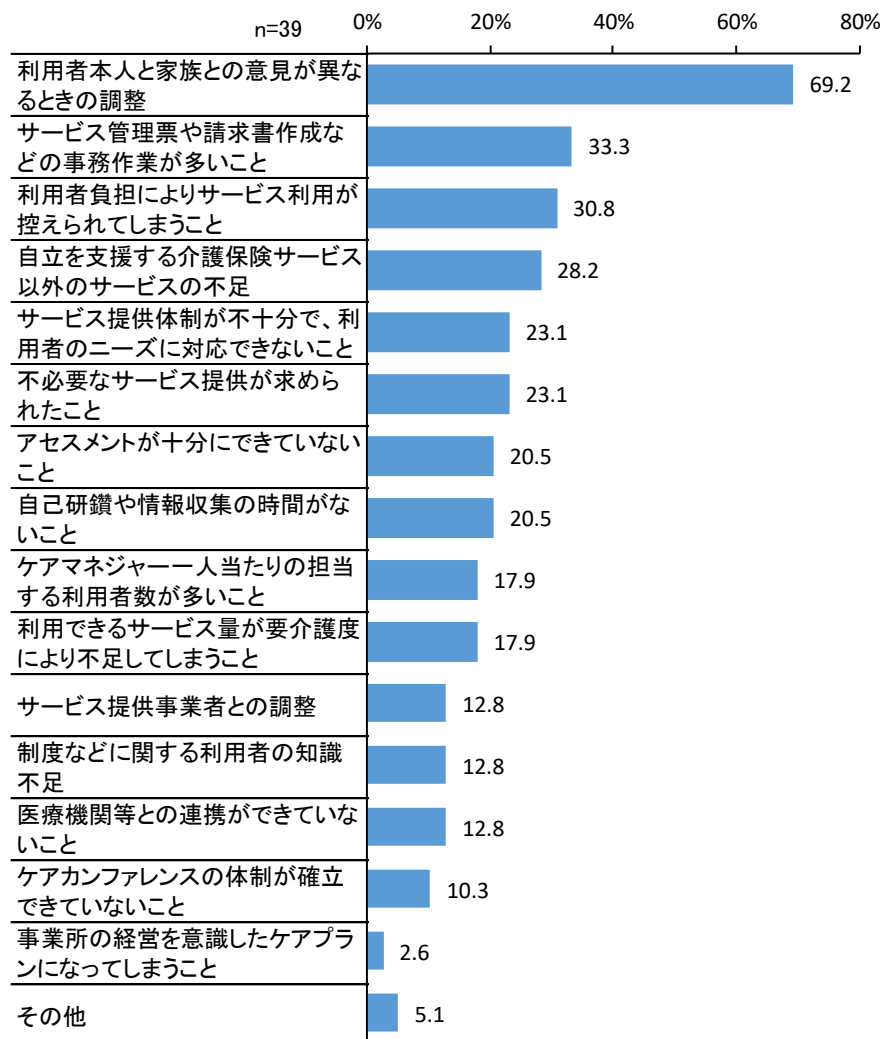
問9 要介護及び要支援の方のケアプランの作成について、貴事業所の受け入れ状況はどうですか。(○は1つ)

「時期的に波はあるが、若干の余裕がある」(38.5%)が最も高く、次いで「その他」(25.6%)、「現行の体制ではこれ以上無理である」(23.1%)、「余裕があり、もっと対応できる状況である」(10.3%)となっています。



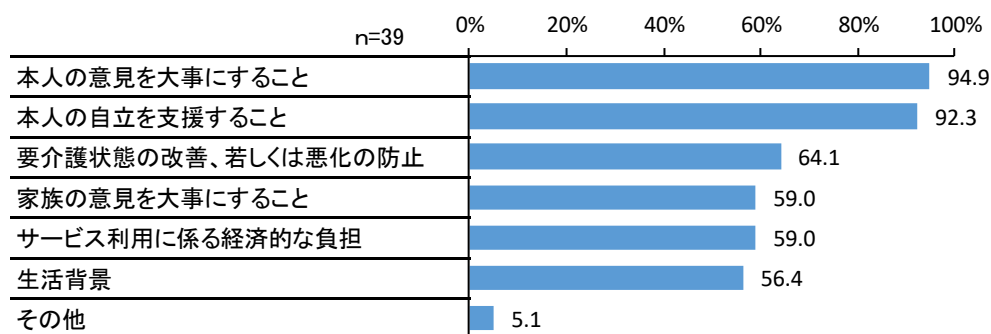
問 10 ケアプランで困ったことの内容は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「利用者本人と家族との意見が異なるときの調整」(69.2%) が最も高く、次いで「サービス管理票や請求書作成などの事務作業が多いこと」(33.3%)、「利用者負担によりサービス利用が控えられてしまうこと」(30.8%)、「自立を支援する介護保険サービス以外のサービスの不足」(28.2%) となっています。



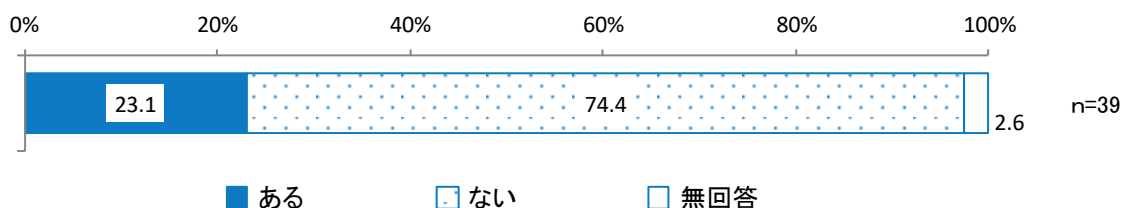
問 11 ケアプラン作成にあたり、生活機能の状態のほかに、どのようなことに気をつけていますか。(あてはまるものすべてに○)

「本人の意見を大事にすること」(94.9%)が最も高く、次いで「本人の自立を支援すること」(92.3%)、「要介護状態の改善、若しくは悪化の防止」(64.1%)となっています。



問 12 あなたが勤務する事業所内において、サービス提供事業所を選定する基準（規程等の定め）がありますか。(○は1つ)

「ある」が23.1%、「ない」が74.4%となっています。



問 12 で「1. ある」と回答された方におうかがいします。

問 12-1 どのような基準で、サービス提供事業所を選定していますか。

サービス提供事業所の選定基準としていただいたご意見は、下記の通りです。

- ・利用する居宅サービスの選定にあたり、当該地域における指定居宅サービス事業者等について、複数の事業所の紹介を求めることが可能であり、サービスの選択に関する情報を利用者またはその家族に提供します。
- ・本人の意向、身体状況等聞き取り、体験や事業所からの説明等の後、決めている。
- ・利用者が求めるサービスに合っている事業所、立地・サービス内容が柔軟な事業所
- ・本人のニーズにより近い支援ができる。対応が早い
- ・利用者様の選択
- ・利用者、家族の希望に合うところ（リハビリも含めて）。利用者に対しての関わり方ができてお

り、教育がきちんとされているところ。環境や祭日営業しているかどうか。

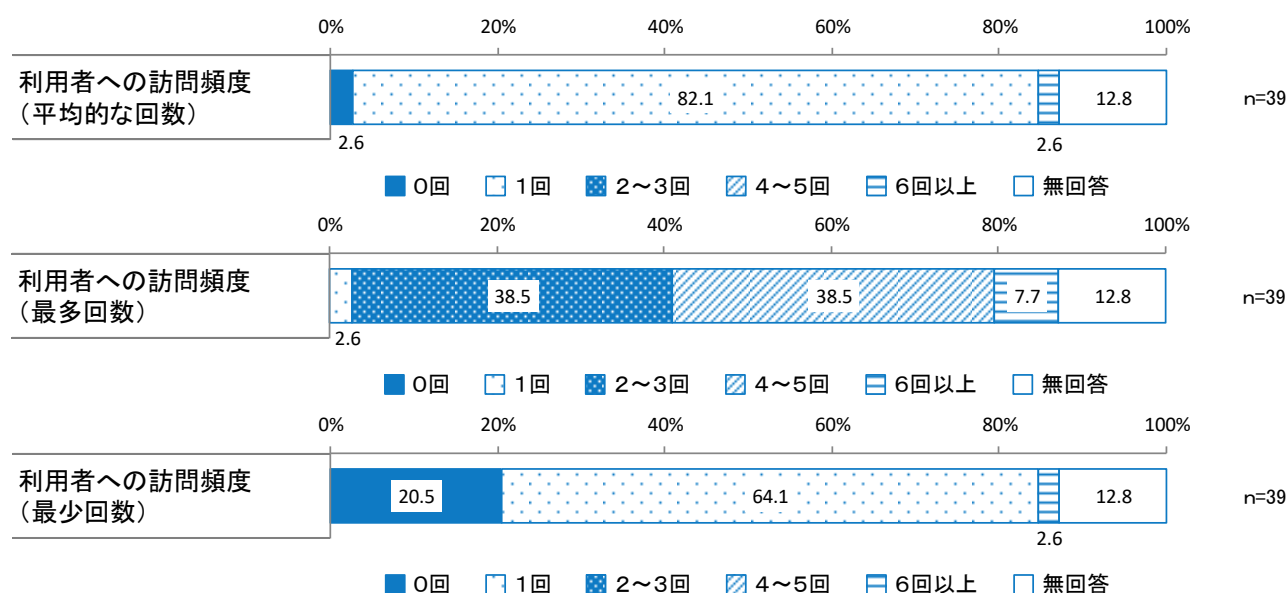
- ・利用者のニーズに合う、利用者の好み・性格に合う職員がいる。
- ・契約時等には種別サービス計画数を利用者・家族に提示して、特定の事業所に片寄ることなく選定している。
- ・サービスの質を重視しています。

問 13 あなたが担当しているサービス利用者をどの程度訪問していますか。11 月利用分において、お答えください。

1 か月の平均的な訪問回数は、「1 回」(82.1%) が最も高くなっています。

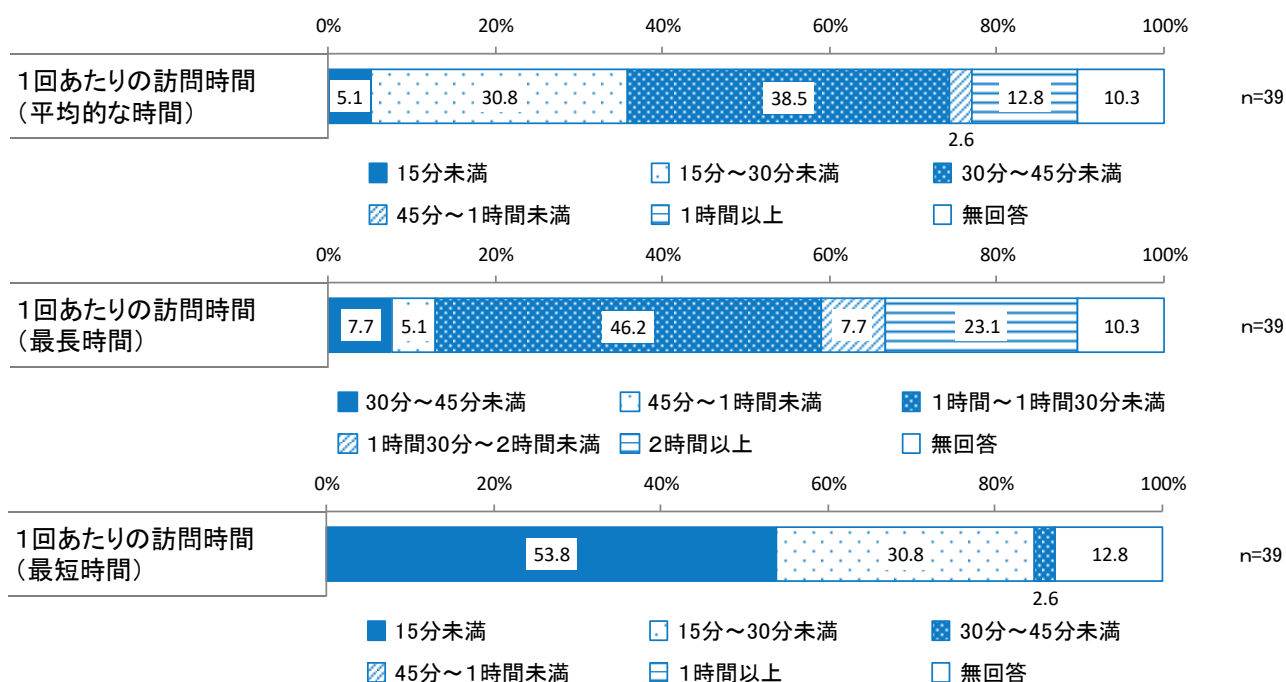
最多回数は、「2 ～ 3 回」「4 ～ 5 回」(ともに 38.5%) が最も高くなっています。

最少回数は、「1 回」(64.1%) が最も高く、次いで「0 回」(20.5%) となっています。



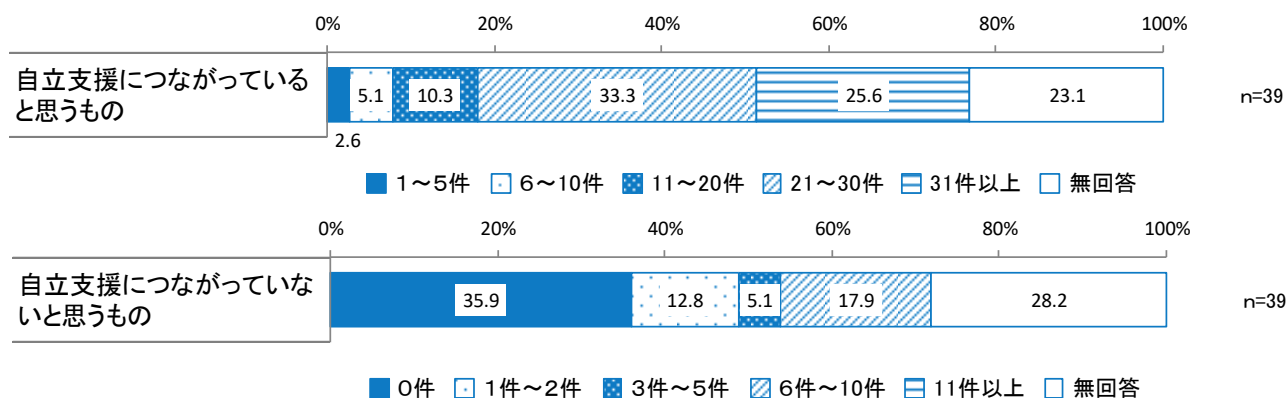
問 14 1 回あたりの訪問時間はどのくらいですか。11 月利用分において、お答えください。

1 か月の平均的な訪問時間は、「30 分～45 分未満」(38.5%) が最も高くなっています。
 最長時間は、「1 時間～1 時間 30 分未満」(46.2%) が最も高くなっています。
 最短時間は、「15 分未満」(53.8%) が最も高くなっています。



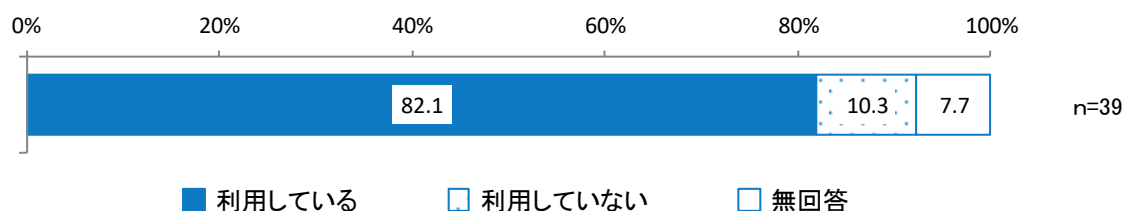
問 15 ケアプランが利用者の自立支援につながっていると思いますか。11 月利用分において、お答えください。

自立支援につながっていると思うものは、「21～30 件」(33.3%) が最も高くなっています。
 自立支援につながっていないと思うものは、「0 件」(35.9%) が最も高くなっています。



問 16 介護保険サービス以外のインフォーマルサービスを活用していますか。(○は1つ)

「利用している」が82.1%、「利用していない」が10.3%となっています。



問 16 で「1. 利用している」と回答された方におうかがいします。

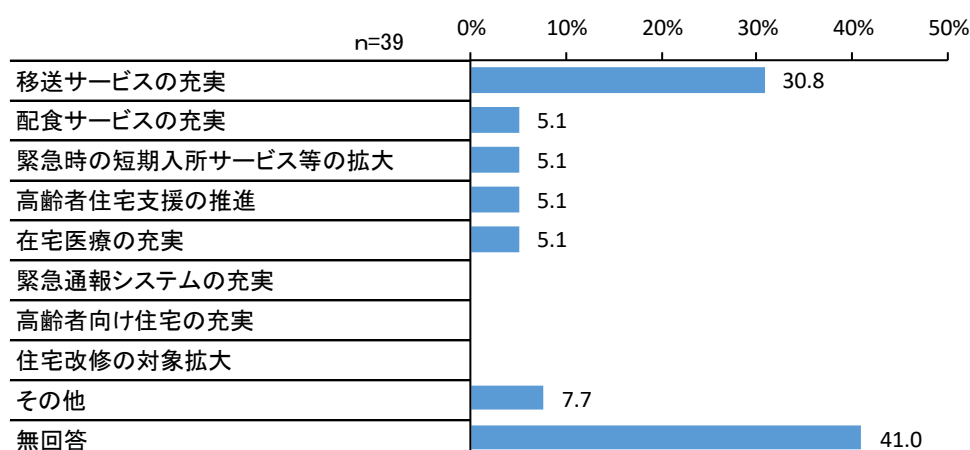
問 16-1 その内容はどのようなものですか。

利用しているインフォーマルサービスの内容の分類は、以下の通りです。

	分類回答	件数
1	配食サービス	17
2	支え愛リング	8
3	家族・親族等の支援（訪問、付き添い等）	4
4	地域、近隣の人	3
5	家事支援、生活支援	3
6	ゴミ出し	3
7	ボランティア	3
8	訪問マッサージ	2
9	民生委員	2
10	サロン	2
11	おたがいさま東部	2
12	その他（移動スーパー、緊急通報システム、シルバー人材センター、介護予防教室、ベッドのレンタル等）	9
合 計		58

問 17 介護保険サービス以外で、要介護認定者が自宅や地域で暮らし続けるためにはどのようなサービスや取り組みが必要だと思いますか。(〇は1つ)

「移送サービスの充実」(30.8%)が最も高く、次いで「配食サービスの充実」「緊急時の短期入所サービス等の拡大」「高齢者住宅支援の推進」「在宅医療の充実」(いずれも 5.1%)となっています。



問 18 ケアプラン作成の時にサービス担当者会議で工夫されていることをご記入ください。

工夫していることとしていただいたご意見は、下記の通りです。

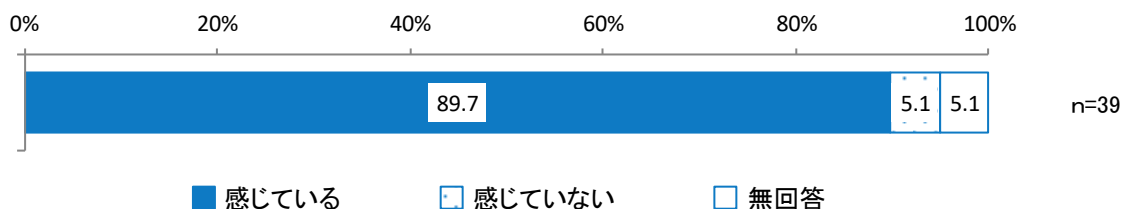
- ・本人、家族の意見・希望の周知。事前に聞き取りをしたことを担当者会議録に記載して、各事業所との認識の確認をする。
- ・コロナ禍のため、3密を防ぐ。必要に応じて文書での照会を活用している。
- ・本人・家族の思いを各事業所に代弁している。利用するにあたっての注意点、確認事項をご家族・本人に理解してもらえるように、わかりやすく説明するようにしている。
- ・認識の共有
- ・サービス事業者と連携をとり、課題を抽出していく。
- ・課題を抽出、サービス事業所との関係の工夫（コミュニケーションしやすいような環境づくり）
- ・「本人自身ができること」の確認を行う。
- ・できるだけご家族が質問したり意見を言えるような雰囲気を作るようにしています。
- ・本人の意識向上
- ・サービス提供事業所が家族と情報交換がとれない課題等を事前に情報を得て、開催時に意見交換、合意等ができやすくしている。
- ・コロナ禍であるため、短時間で情報が共有できること。
- ・事業所や係わる人のできること、役割をケアプランに具体的に記入をすること。ケアプランの優先順位を明らかにすること。家族も本人も役割があることを実感してもらうこと。

- ・本人の意向をしっかりと聞く。本人が必要に感じていなくても、専門的な見地から必要な支援ができるように多種職からの意見を聞く。
- ・多職種での情報共有時に「報告」にならないよう、掘り下げた質問をするようにしている。
- ・ご利用者様の状態の理解の共有。目標について話し合い、サービス事業者が対応するサービスについて話し合う。
- ・コロナの影響で担当者会議が開催できないことが多いが、本人や家族の思いや目標を明確にして意見照会をするようにしている。
- ・意見が言いやすい進行
- ・目標達成度、満足度。目標に対してのサービス内容の評価と次期のプレゼン。
- ・本人の1日のスケジュールなどの共有。コロナ禍でも必要な場合は感染対策をして実施。
- ・ご本人の小さな目標を拾い上げること。
- ・話し合う課題を明確にする
- ・本人の意見を話しやすいよう、雰囲気や和ますこと
- ・元気な方だとしても、急変時やもしもの時の話ができる話の持って行き方（医療の意向や看取りの考え方を都度聞いていく）。
- ・本人の意見を極力反映できるような環境設定
- ・本人のできること、できるようになりたいことが反映できるよう、本人、家族(客観的にみて)、事業所と話し合うこと。
- ・主治医からの意見をサービス事業所へ伝えること。ケアプラン原案の目標・支援内容について各事業所に意見をもらうこと。

(3) 業務について

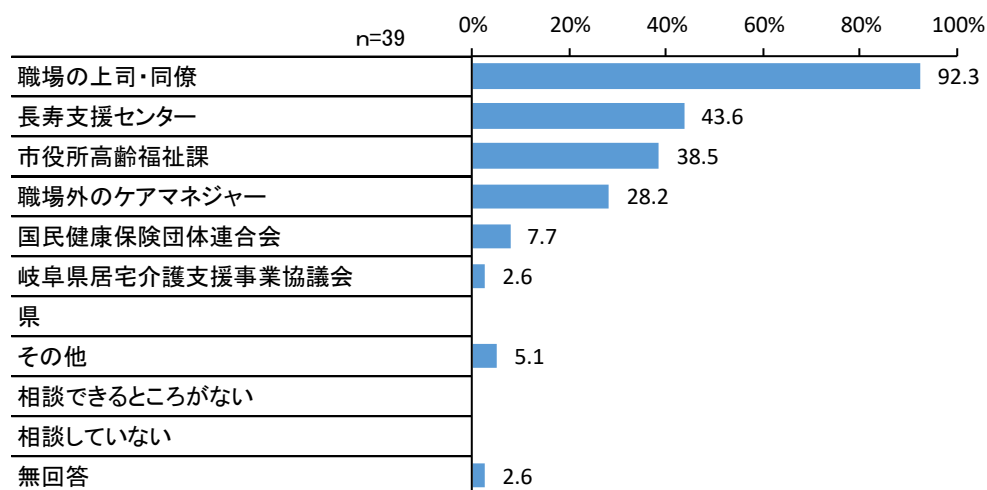
問 19 あなたは、現在の業務にやりがいを感じていますか。(○は1つ)

「感じている」が 89.7%、「感じていない」が 5.1%となっています。



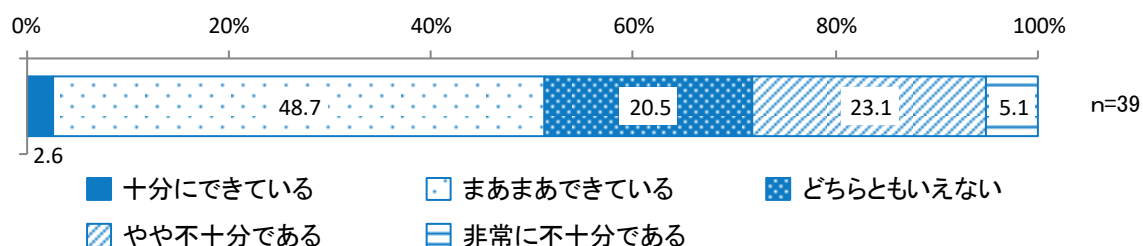
問 20 あなたが業務を進める上で困った時どこに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

「職場の上司・同僚」(92.3%) が最も高く、次いで「長寿支援センター」(43.6%)、「市役所高齢福祉課」(38.5%)、「職場外のケアマネジャー」(28.2%)となっています。



問 21 自分が担当するケアプランについて、モニタリングや評価・アセスメントがどの程度できていると思いますか。(○は1つ)

「まあまあできている」(48.7%) が最も高く、『ある程度できている』(「十分にできている」「まあまあできている」の計) は 51.3%、『不十分である』(「非常に不十分である」「やや不十分である」の計) は 28.2%となっています。

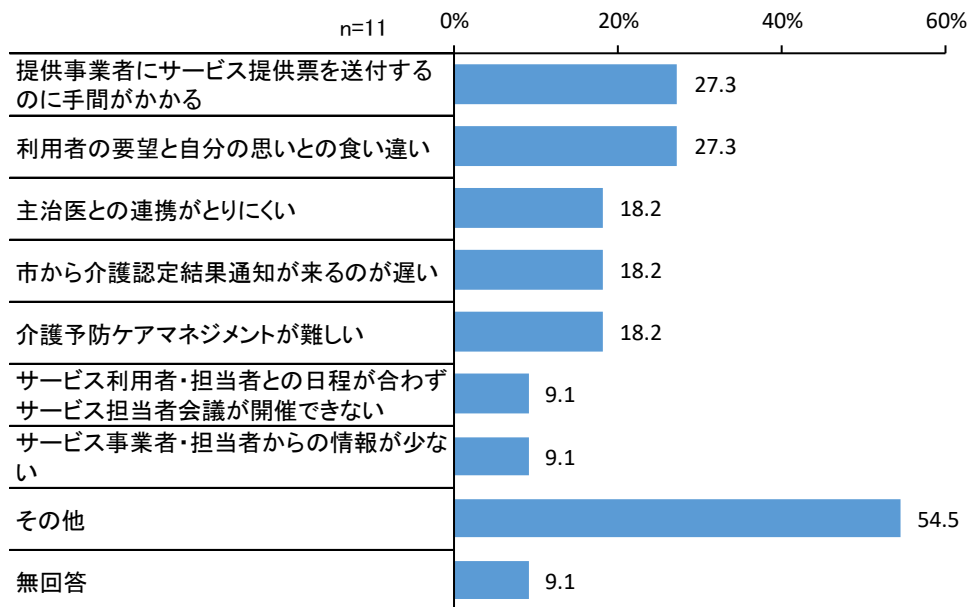


問 21 で「4. やや不十分である」または「5. 非常に不十分である」と回答された方におうかがいします。

問 21-1 その原因及びアセスメントの障害になると思われるものは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

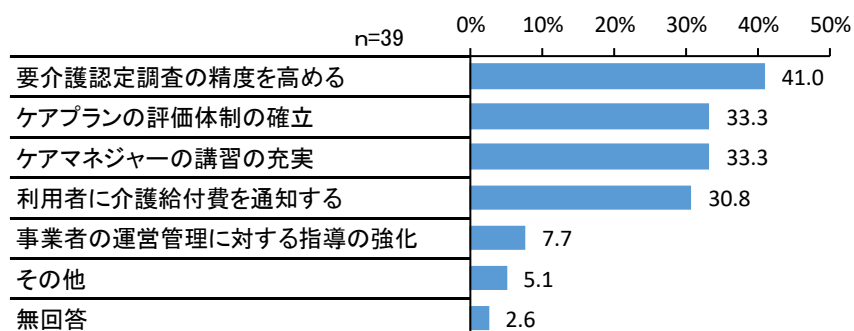
「提供事業者サービス提供票を送付するのに手間がかかる」「利用者の要望と自分の思いとの食い違い」(ともに 27.3%) が最も高く、次いで「主治医との連携がとりにくい」「市から介護認定結果通知が来るのが遅い」「介護予防ケアマネジメントが難しい」(いずれも 18.2%) となっています。



問 22 介護給付や予防給付の適正化に向けて、どのようなことが大切だと思いますか。

(あてはまるものすべてに○)

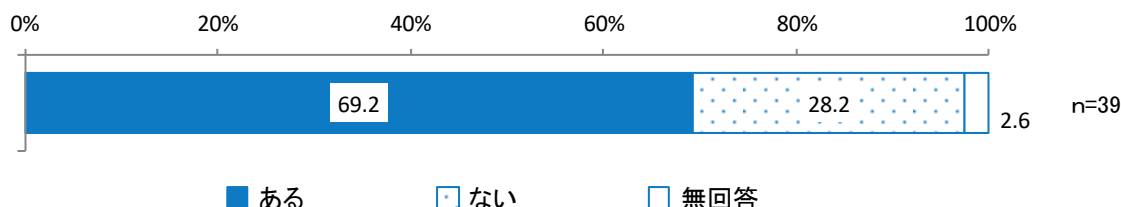
「要介護認定調査の精度を高める」(41.0%) が最も高く、次いで「ケアプランの評価体制の確立」「ケアマネジャーの講習の充実」(ともに 33.3%)、「利用者に介護給付費を通知する」(30.8%) となっています。



(4) 困難事例について

問 23 支援困難だと思う事例を経験したことがありますか。(○は1つ)

「ある」が 69.2%、「ない」が 28.2%となっています。



問 23 で「1. ある」と回答された方におうかがいします。

問 23-1 その内容と対応をお答えできる範囲内でお書きください。

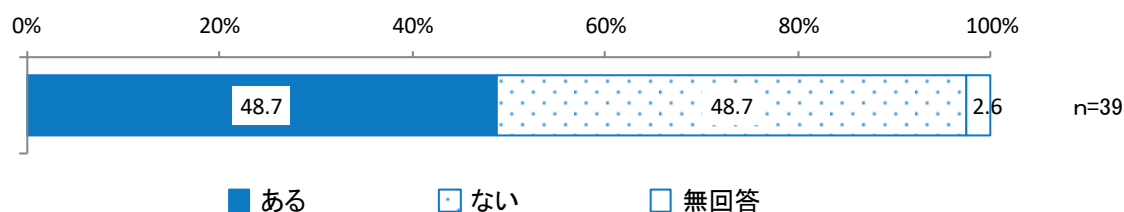
内容と対応は、下記の通りです。

- ・家族の要望がエスカレートする。こちらの提案を聞き入れない。必要だと思われるサービスの説明をしても、必要性を感じてもらえず利用できない。
- ・経済的な問題から、適切な介護がされていない。本人の性格的なことから、家族の関わりが難しく、ネグレクト傾向になっている。
- ・家族本意の考えが強く、本人の介護をどうするかということの話ができない。
- ・本人の意向、家族の意向の違い→事務所で相談
- ・施設入所がいいと思うが（介護力がないので）、料金のこともあり、在宅を希望される。
- ・母・息子2人暮らし、認知症状が進行し、日中独居の心配から通所介護（デイサービス）利用開始。しかし3か所の事業所を2か月ほどで拒絶してしまう。現在はモニタリング訪問で状況対応。
- ・独居→家族が遠方
- ・介護者が虐待をする。経済的に所得がほとんどない方の看取り。認知症がひどいが、専門医に受診してもらえない。
- ・本人・家族の本当の思い、希望がわからない。言うこともコロコロと変わり、本人・家族の方向性が違い、それぞれが不満を訴え大変であったが、相談することで支援が進んだ。
- ・必要だと思われるサービスを、利用者本人の拒否があり、状態が悪化してしまった。
- ・経済的に余裕のない利用者が多くのサービスを受けないと生活ができないケース。
- ・生活困窮、家族の支援拒否、ご本人の医療拒否等
- ・必要と思われる介護サービスを本人が拒否したり、使えたとしてもサービス事業所から断られる事例→介入できそうな部分からサービスを入れ、関わる人を増やした。
- ・介護者による虐待
- ・他者に菓子やミカンを配る→一度お話ししたが止められず。その他場にそぐわないことを行い、利用を断られたケースあり。

- ・必要なサービスの情報を提供しても、家族に却下される。
- ・家族関係の悪さ、経済的困窮のため、サービス調整が難しかった。
- ・介護力がなく、且つ経済的に困窮している。心と暮らしの相談窓口と連携して支援している
- ・家族が仲が悪く、対立しているケース。家族が遠方のケース
- ・本人が独居、特性があり、若い時から地域から孤立している。よくトラブルを起こし、警察沙汰になっている方。
- ・金銭的に生活困窮しており認知症・独居で身寄りがない、借金がある
- ・家族の介入がほとんどない事例。病院受診を勧めてもなかなか連れて行ってくれない家族がいる。
- ・ご本人には問題はないが、ご家族が問題を多く抱えており、ご家族への対応に困難を要した。

問 24 家庭内における高齢者虐待の事例を経験（担当）したことがありますか。（○は1つ）

「ある」が 48.7%、「ない」が 48.7%となっています。



問 24 で「1. ある」と回答された方におうかがいします。

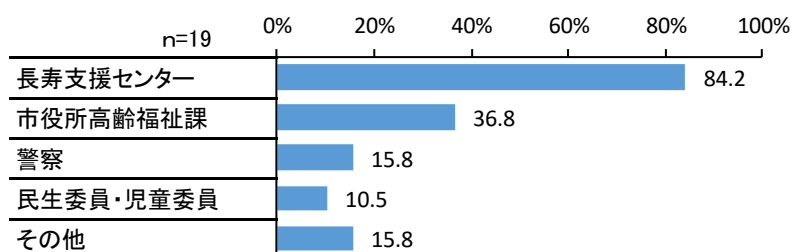
問 24-1 その内容と対応をお答えできる範囲内でお書きください。

内容と対応の分類は、以下の通りです（重複分類を含む）。

	分類回答	件数
1	身体的虐待	7
2	心理的虐待	1
3	経済的虐待	3
4	介護・世話の放棄・放任（ネグレクト）	3
5	その他	2
合 計		16

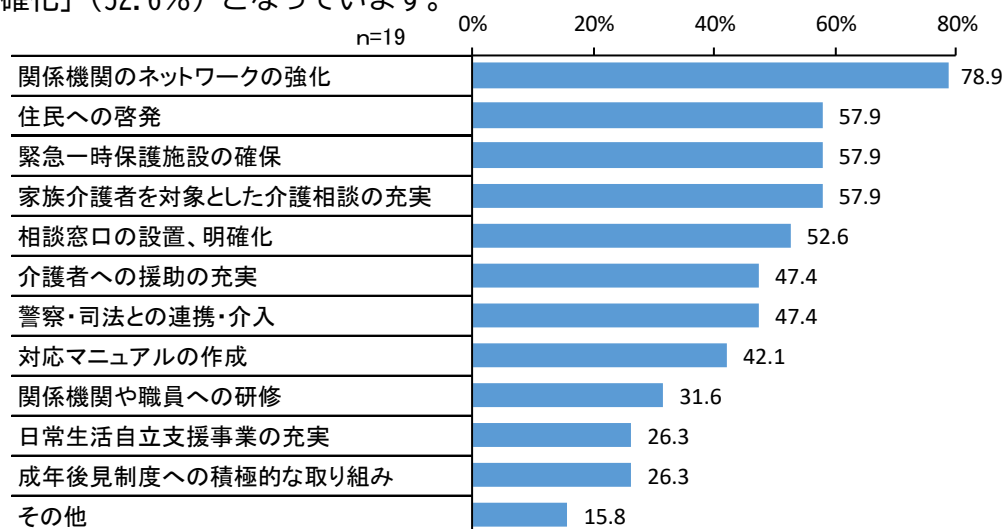
問 24-2 その時にどこに相談しましたか。(あてはまるものすべてに○)

「長寿支援センター」(84.2%)が最も高く、次いで「市役所高齢福祉課」(36.8%)、「警察」(15.8%)となっています。



問 24-3 高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「関係機関のネットワークの強化」(78.9%)が最も高く、次いで「住民への啓発」「緊急一時保護施設の確保」「家族介護者を対象とした介護相談の充実」(いずれも 57.9%)、「相談窓口の設置、明確化」(52.6%)となっています。



(5) ケアマネジメントの質の向上について

問 25 あなたが勤務する貴事業所において、ケアマネジャーの内部研修は実施していますか。

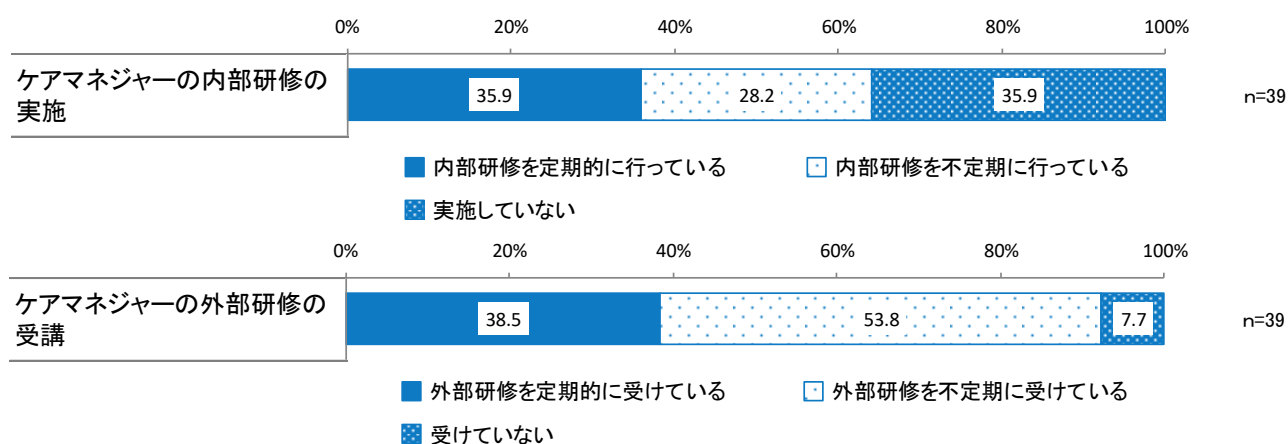
(○は1つ)

問 26 あなたが勤務する貴事業所において、ケアマネジャーの外部研修を受けていますか。

(○は1つ)

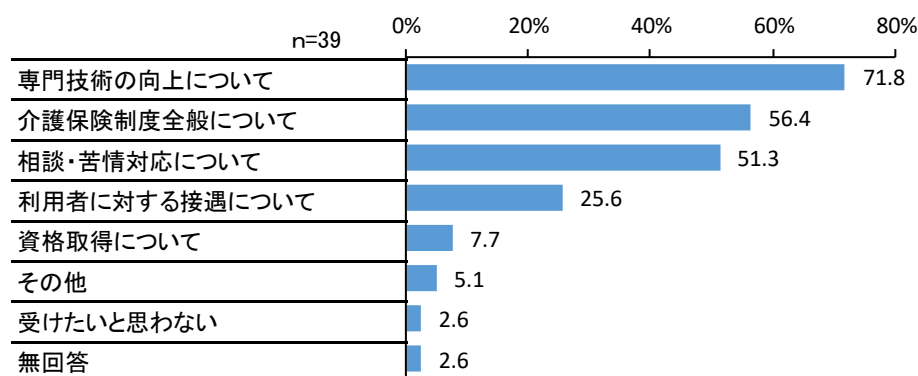
内部研修の実施は、『行っている』(「内部研修を定期的に行っている」「内部研修を不定期に行っている」の計)が64.1%、「実施していない」が35.9%となっています。

外部研修の受講は、『受けている』(「外部研修を定期的に受けている」「外部研修を不定期に受けている」の計)が92.3%、「受けていない」が7.7%となっています。



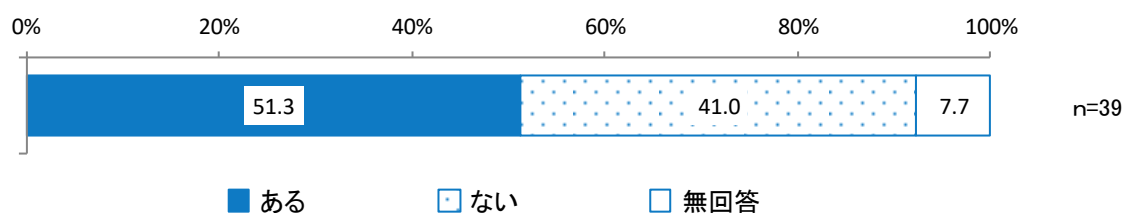
問 27 あなたが研修で受けた内容はどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「専門技術の向上について」(71.8%)が最も高く、次いで「介護保険制度全般について」(56.4%)、「相談・苦情対応について」(51.3%)、「利用者に対する接遇について」(25.6%)となっています。



問 28 利用者やその家族から苦情を受けたことがありますか。(○は1つ)

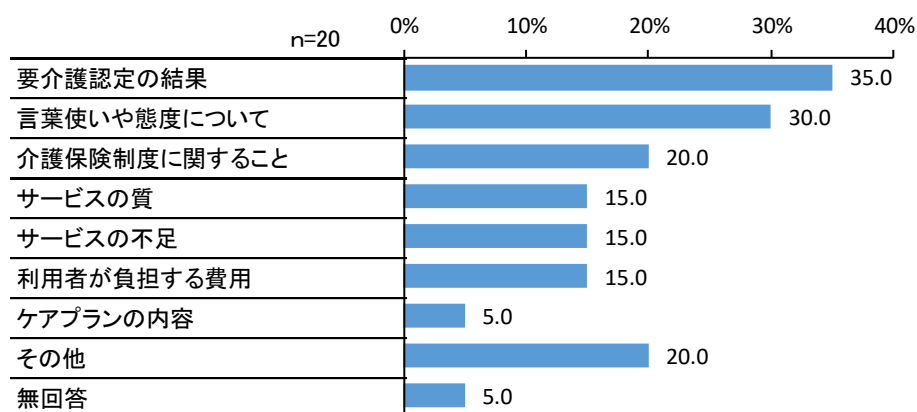
「ある」が51.3%、「ない」が41.0%となっています。



問 28 で「1. ある」と回答された方におうかがいします。

問 28-1 どのような内容でしたか。(あてはまるものすべてに○)

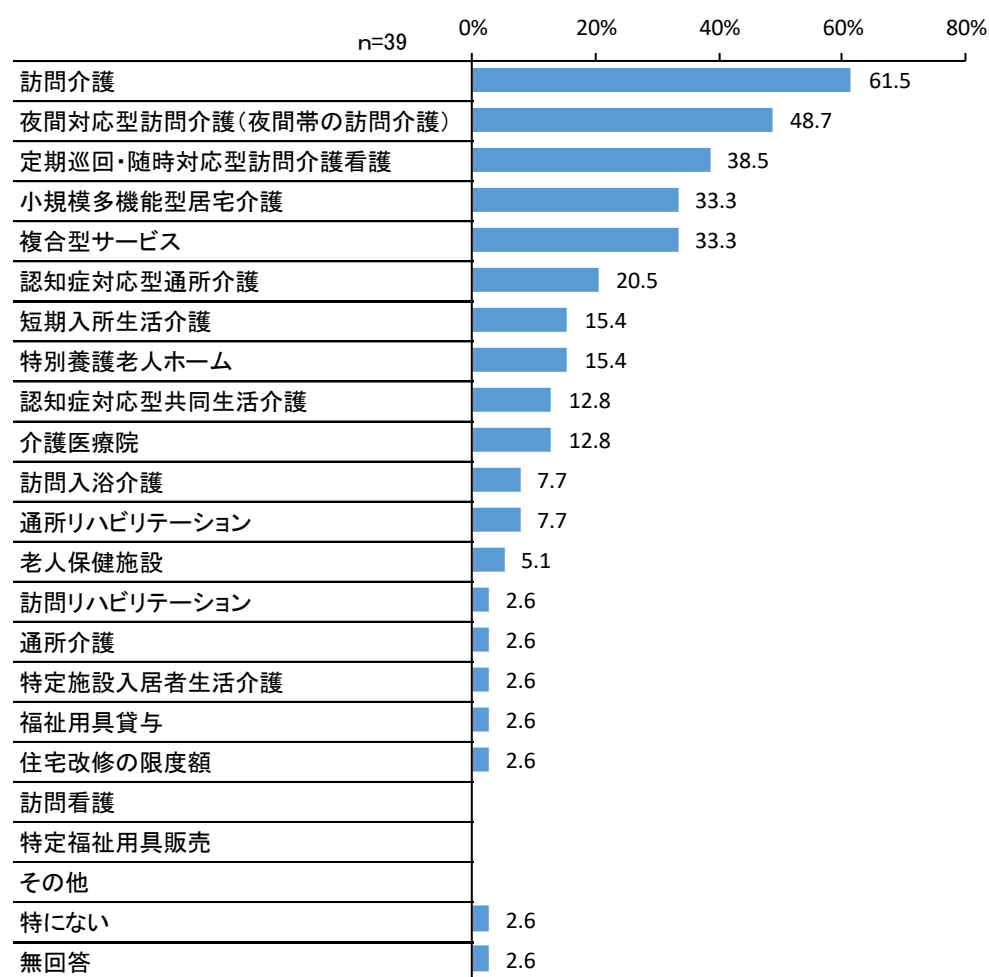
「要介護認定の結果」(35.0%) が最も高く、次いで「言葉使いや態度について」(30.0%)、「介護保険制度に関すること」(20.0%)、「サービスの質」「サービスの不足」「利用者が負担する費用」(いずれも 15.0%) となっています。



(6) 介護保険・高齢者施策について

問 29 介護保険対象のサービスの中で、供給が不足していると感じているサービスは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「訪問介護」(61.5%)が最も高く、次いで「夜間対応型訪問介護(夜間帯の訪問介護)」(48.7%)、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」(38.5%)、「小規模多機能型居宅介護」「複合型サービス」(ともに 33.3%)となっています。



問 30 市は介護離職及び介護職離職ゼロに向けた取り組みの必要性を感じています。あなた自身、あるいはあなたの周りの事業所の状況から、具体的に取り組むとよいと思われることをお書きください。

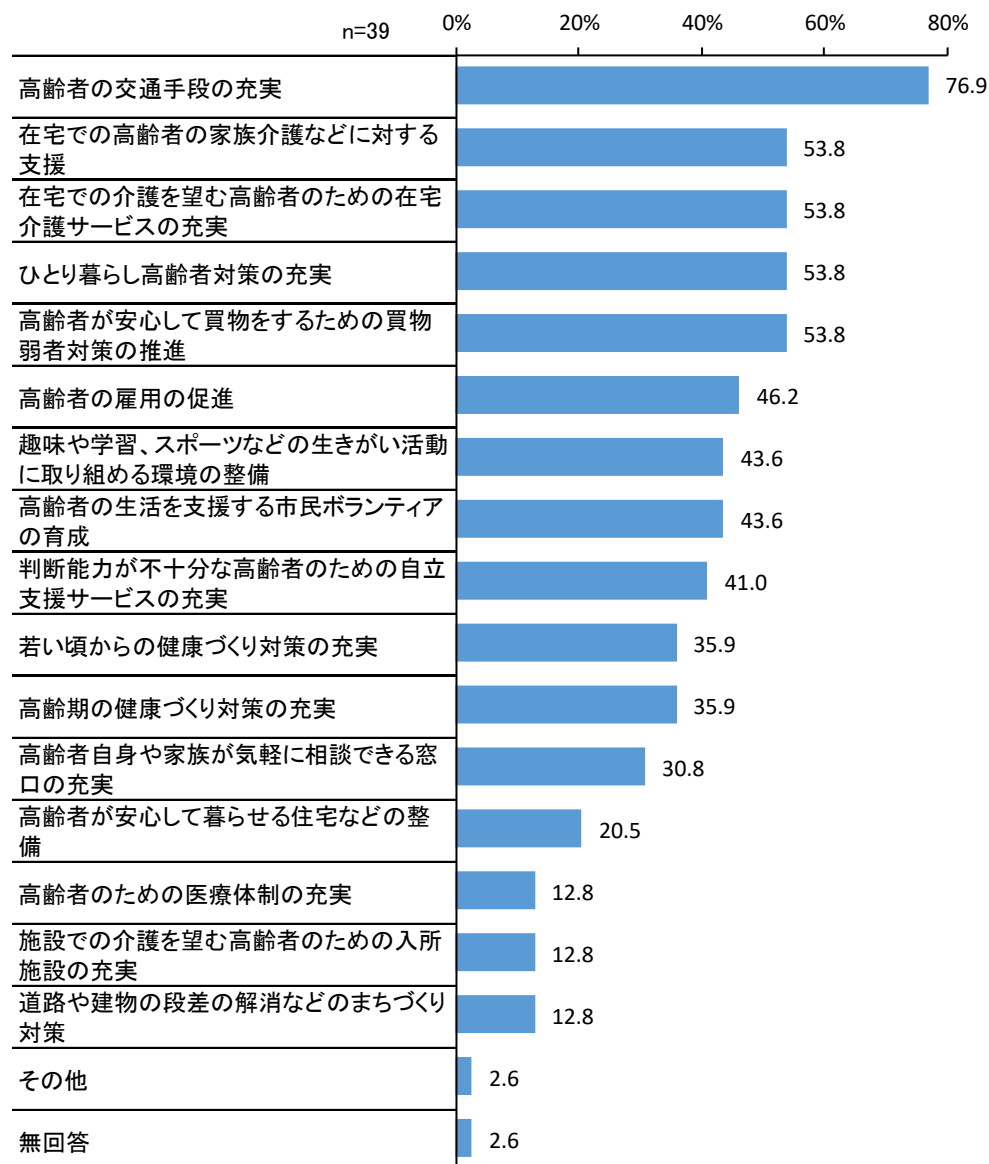
介護離職及び介護職離職ゼロに向けた具体的な取り組みについて、下記のような内容で、ご意見をいただきました。

- ・介護休暇の充実。職場の理解をしてもらえる体制。
- ・土日祝日や夜間の支援（サービス）がもっと充実すると良い。その時間帯の担い手がいらないことで、結局家族がやらざるを得ず、介護離職につながるため。
- ・ショートステイ、通所サービス事業所で介護だけでなく、看護職も不足している。処遇改善が介護職には手厚いが、看護や相談事業にはあてはまらないらしく、給料の逆転や相談員は対談交渉で苦労しているのに報われない（私の勘違いならすいません）。
- ・介護職についてはずいぶん処遇が改善されてきているのにも関わらず、定着しません。金銭ではなく職場環境とかやりがい、達成感などモチベーションアップに働きかけが必要と考えます。
- ・ケアマネの仕事を理解していただき、仕事量の軽減ができるように書類の見直しをしてもらいたい。
- ・ケアマネの仕事の内容を理解してほしい。どんどん仕事内容が増えている。内容が多い割に賃金安い。
- ・処遇加算がない（現場の人があるのに）。
- ・介護職員について世間に周知し、現場の職員がどのような思いで働いているのか、安い給料でも働き、それでも苦情を言われている現実を認識してもらう。
- ・コロナが終息しない中、高齢者と接する職業の方は、どのような思いで、どのように生活して、どのように働いているか世間に周知し、コロナを広めてはいけないと再認識してもらう。
- ・給料を UP することや、定時に帰宅できるということが大切だと思います。介護職の方は、休み時間も十分とれずに（忙しくて）現場に戻ることも多いので、本当に忙しいと思います。
- ・職員のストレス、メンタル面の軽減・改善
- ・もらえる手当てに不平等さがある。介護職はもらえる。ケアマネ、看護師はないとか。事業所や職種に偏りがある（県や市からは是正してほしい）。処遇改善を見直してほしい。介護職は介護福祉士だけではない。
- ・介護職員の意識の向上。警察沙汰など不祥事を起こすと「介護職の人って多いよね」と言われたことがあり、非常に悔しい思いをしたことがあります。誰でもウェルカムな仕事にせず、十分なモラルの教育、意識の向上を望みます。もっとプライドを持ってやってほしい。その対価に見合った給料の充実。集中力継続のため、短時間の勤務、リフレッシュ休暇の増加など。
- ・できない、時間がないなどのネガティブ発言がよく聞かれる。また、上司が話を十分に聞いてくれないなどの意見も聞く。具体的な取り組みとしては、悪いところ探しから、良いところ探しに意識を変えていくことが必要と考える。その中でできそうなこと、工夫できそうなことを現場に考えてもらおうと、人任せではなくなるのでは。
- ・まずは離職の理由などの分析が必要だと思われる。

- ・事業所内のコミュニケーションが重要と思います。
- ・定年になった時の身分保障
- ・賃金の見直し
- ・ヘルパーさんの教育体制、給料等の管理の面でのバックアップを希望します。通所リハビリテーション（デイケア）や通所介護（デイサービス）が充実していても、送り出しや準備、帰宅時の対応などが人手不足で困っている。結局家族が仕事を辞めるケースが出てきている。
- ・休みやすい環境づくり
- ・働く人材の確保
- ・居宅や、長寿支援センターが、土日も営業すると、介護のために仕事を休まなくていいので、介護離職は減るかもしれない。が、介護職離職は増えるかも？
- ・横の繋がりが現在ないため、繋がれる場があると良い。
- ・イメージアップ、給料アップ
- ・有給休暇の短時間利用
- ・負担のない研修体制、待遇改善
- ・職員のモチベーション維持向上について
 - 第三者機関（職場外かつ相談内容が漏れない）による相談窓口の設置
 - 定期的な情報交換および研修を行う機会（以前のサービスネットワーク会議のような形式）
 - 世界アルツハイマーデー（9月21日）や介護の日（11月11日）の時期に合わせて市広報やCCNet、FMらら等を活用した啓発キャンペーン。活き活きと活動している介護職員のインタビューなどで介護職のイメージアップ作戦。
- ・各種制度の学習の機会
 - 介護休暇制度やワークライフバランスに関する最新の情報提供
- ・休業補償資金支給制度
- ・急な対応による時間休取得
- ・自己啓発、人権尊重、自立支援、介護保険制度の概要、アンガーマネジメント

問 31 高齢社会に対して、今後何に重点をおくべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢者の交通手段の充実」(76.9%) が最も高く、次いで「在宅での高齢者の家族介護などに対する支援」「在宅での介護を望む高齢者のための在宅介護サービスの充実」「ひとり暮らし高齢者対策の充実」「高齢者が安心して買物をするための買物弱者対策の推進」(いずれも 53.8%) となっています。



問 32 介護保険を取り巻く法律や制度など目まぐるしく変化する介護保険制度を背景に現場で困っていることがあれば、ご自由にお書きください。

現場で困っていることについて、下記のような内容で、ご意見等をいただきました。

- ・書類が多い。
- ・ケアプラン作成の有料化：反対です。必要なサービス利用にハードルが上がってしまう。
- ・日常生活自立支援事業の適正化利用：現在この制度の必要性のある方が利用できない状況で待たされている。担い手不足や予算の都合があるようだが、真に必要としている人が利用できない現状は、利用希望者の自立を阻害する状況で（この状況が続くとするならば）施策側による権利侵害とも言えかねない。
- ・身寄りのない方、家族と疎遠となられている方のサービス利用時、不測の事態が起こった時など、家族の代わりに支援できる適正な仕組みが欲しい。特に金銭的に余裕のない方。
- ・制度改正時には事務量が増える。その際、請求システムのバージョンアップが追いつかず、月末に仕事量が増える。サービスコード多すぎ。※処遇改善加算・特定処遇改善加算・ベースアップ等支援加算、1つにまとめられないか。
- ・インフォーマルサービスを利用することを、国や市町村は言われますが、もっと使いやすいようなアプリやソフトを開発してくださると、ケアマネも自らインフォーマルを探すことがないので、大変助かります。利用者の地域のインフォーマルを探すのはかなり難しいですし、そこまでの余裕がなかなかありません。
- ・目まぐるしく変化する介護保険制度と分かっているなら、どうにかしてほしいです。
- ・法律や制度が変わることで方針や書類、記載内容が変わることで書類整備に時間を割く必要がある。介護費用を削減する流れが強く、困る。
- ・本人・家族の意向、地域によってサービス事業所に偏りが出ることもあるが、集中減算もあり、意向に沿えないことが心配される。
- ・3年ごとに介護保険制度が見直され、理解し、利用者に説明できるようになるまでにとても時間を要す。
- ・独居で身寄りのない方の通院介助
- ・保険内で利用できるサービスに当てはまらないニーズの多様化で、インフォーマルなサービスの種類があるといいと感じる。問の返答ではないですが、いまだに医療との連携がとりにくいことがある（一部分の医師を感じる）。在宅で生活される方の支援をチームで行うという概念をしっかり持ってもらいたいと感じる。
- ・介護保険でのサービスはあっても、コロナで利用を止められる。結局、通所介護（デイサービス）、通所リハビリテーション（デイケア）の事業所の意見が優先され、満足なケアもできていないのに利用者が泣き寝入りすることはおかしい。緊急の短期入所（ショートステイ）体制や、介助がいる人でも入院できる環境は作れないだろうか。
- ・介護保険の適切な利用、利用の仕方など説明するが、聞き入れない家族もいる。市からもアプローチしてもらえるとありがたい。
- ・生活困窮者（身寄りがいない）の緊急対応について（介護保険制度を超えた対応）

- ・入浴のみ支払い可能な通所サービスがあると良い
- ・包括が予防支援業務に時間を取られ、本来の包括業務にまで手が回らない。
居宅に予防プランを少しでも担ってもらえるような働きかけを、市に求めたい。
- ・訪問介護に買い物支援を頼んだ時に、酒類、薬は対象外、規制が厳しすぎる。一人暮らし高齢者の方の、介護保険でのヘルパー支援の制限。
- ・障がい者サービスとの関連性。障がい福祉制度から介護保険制度に移行するにあたり、情報共有やサービス利用が円滑に進まない。
- ・地域共生社会を目指した各種相談体制との関連性。現在、市では重層的支援体制整備事業へ向け取り組んでおられるが、地域ケア会議や支援会議、多領域学習会などの会議が多くあり、もったいない気がする。
- ・権利擁護に関する窓口が分かりにくい。成年後見制度に関する中核機関の位置づけが見えてこない。
- ・介護保険制度改正等の内容をじっくりと読み込む時間が無い。
- ・認定者の年齢層が若年化傾向であり、精神障害者が増えている。障害サービスから介護保険サービス移行で出来ること出来ないことのサービス内容の違いに戸惑い困惑している。障害福祉課や障害サービス事業所相談支援員との移行時の連携を強化。また年を重ねてからの自立支援への切替について疑問が湧く。介護保険の訪問介護、生活援助の利用に対するケアマネジメントツールを作成しガイドブック化する。

問 33 令和5年度策定する高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に向けて、ご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

次期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に向けて、下記のような内容で、ご提案・ご意見をいただきました。

- ・重度化予防・介護予防の考え方は必須だが、それに取り組むための予防教室を行うための場所確保が難しい。会場の有料もネックである。
- ・支援の担い手をボランティアに期待するのモどうかと思う。ボランティア育成というが、無報酬やわずかな報酬で託すことのできる支援ではないため、ボランティアにも責任感とやりがいの持てる報酬が予算立てされると良いと思う。
- ・今後ますます財源不足になり、利用者負担が増加すると想定される中、果たしてどのような介護保険サービスが、どれほどの量が必要とされ、人材確保はどの程度必要なのか、美濃加茂市として数値予想を出してほしい。
- ・SV方式のケアプラン点検は自身の研鑽になり、バイザーの方々も親近感が持てて意欲が出た。今後モ取り入れてほしい。
- ・独居の方への支援、感染対策（特に独居）
- ・外国の方の介護保険利用が増えてきているが、保険料を支払っておられない方がサービスを必要とする状況になった場合の取り組みや、期限（在留期限、パスポート、介護保険の期限など）をあわせると、いつまでは「特別」の対応が可能かわかりやすく相手に説明もしやすい。
- ・今後の身寄りのない方への支援体制の強化
- ・地域共生社会の根底となる権利擁護支援について、地域の総合的な権利擁護体制整備の強化
- ・地域での（認知症）独居老人に対する支援の強化
- ・ミニタクシー（移動手段）の充実をお願いします。
- ・居宅、長寿の計 50 人程度のアンケートの統計を取っても、その結果に何の意味もありません。統計を取って分析するのであれば、最低でも 400 件のサンプルが必要です。この市町村規模で事業を進めるのであれば、アンケートよりも、関係機関との意見交換や議論を交わすなど、話し合いの場を多く設けた方が有意義だと思います。
- ・高齢者の移送サービスや移動スーパーなどの拡充をして欲しい。
- ・小規模多機能を増やす。65 歳以下の方対象のデイサービス。
- ・現場スタッフへアンケートの機会を頂きありがとうございます。統計や国の指針に基づく数値目標も大事ですが、現場との波長合わせの機会があるとありがたいです。策定した計画をどのように遂行していくか、保険者と専門職の共通認識のもと市民への啓発を一緒に考える機会が年に数回でもあればよいと思います。
- ・ICTや介護ロボットなど先進的な取り組みにより、高齢者も家族も負担が軽減されるような施策が盛り込まれるとよいと思います。
- ・地域包括ケアシステムと地域共生社会づくりが一体となって進められるような連携体制が促進されるとよいです。
- ・各地域に移動支援の充実を図ってほしい、特に団地など高齢化しつつある地域に補助金を出して

移動支援立ち上げの支援をしてほしい。

- ・障害、疾病による認定者の若年化がみられる。住民全体に早期からの健康への意識付けの啓発が必要。市全体で市民が健康意識が高まる活動に取り組むことを習慣化できる工夫(ポイント制で生活に還元する)。認知症予防についても同様。
- ・認知症であっても家族介護に限らないで支援できる体制づくり。
- ・現在の高齢者の移動支援の強化できる仕組みづくり。

.....

美濃加茂市
介護に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和5年3月
美濃加茂市 市民福祉部 高齢福祉課
〒505-8606 美濃加茂市太田町 3431-1
TEL (0574) 25-2111

.....